

**伊奈町のまちづくりに関する
アンケート調査
結果報告書**

令和5年3月

伊奈町

目 次

I	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査概要	1
3.	回収結果	1
4.	報告書の見方	2
II	アンケート調査の結果	3
1.	あなた自身について	3
2.	あなたの暮らしを取り巻く環境について	26
3.	伊奈町の将来像や今後のまちづくりについて	39
4.	まちづくりへの参加と協力について	57
5.	就労の様子について	69
6.	デジタル化の推進について	76
7.	新型コロナウイルス感染症の影響について	79
8.	SDGsについて	80
9.	自由回答	83
III	総評	91

I 調査の概要

1. 目的

次期伊奈町総合振興計画の策定にあたり、町民の皆様より、生活環境や町の様々な取り組みに対する評価と、今後のまちづくりに対する意向を把握するとともに、就労についての動向及び意向、デジタル化の推進についての意向、新型コロナウイルス感染症の影響についての動向及び意向、SDGsについての意向を把握するため実施しました。

2. 調査概要



対象	町内にお住まいの16歳以上の方から無作為抽出した1,500名
方法	郵送配布・郵送回収
期間	令和4年11月17日(木)～12月7日(水)回収分まで
内容	1. あなたご自身について 2. あなたの暮らしを取り巻く環境について 3. 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについて 4. まちづくりへの参加と協力について 5. 就労の様子について 6. デジタル化の推進について 7. 新型コロナウイルス感染症の影響について 8. SDGsについて 9. 自由回答

3. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,500件	724件	48.3%

4. 報告書の見方

- 集計は、回答者本人の記載の結果に基づいています。
- 設問文中の（○は1つ）とは、選択肢の中から1つのみ選ぶ方式です。また、設問文中の（あてはまるものすべてに○）とは、複数の選択肢からあてはまる回答すべてを選ぶ方式、設問文中の（○は3つ）とは、複数の選択肢からあてはまる回答3つまでを選ぶ方式です。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 図表中において、クロス集計（例：年代別）の選択肢ごとのnを合計しても、全体のnとは一致しないことがあります。また、回答割合は小数点第2位を四捨五入しているため、回答割合を合計しても100.0%にならないことがあります。
- 見やすさ等を考慮して、実際の調査票の選択肢から表現を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計表は、横に見て「不明・無回答」を除いて1番目に多い項目に濃い網掛け、2番目に多い項目に薄い網掛けをつけています。

: 1位回答 : 2位回答

- クロス集計表の中で、前回（平成31年実施調査）と比較可能な場合は、上の段に「今回」、下の段に「前回」と結果を記載しています。
- 見やすさ等を考慮して、一部の設問では、選択肢の順番を、降順（結果の%が大きい順）に並び替えています。

参考

本調査の有効性について

調査結果の有効性を考えるにあたり、はじめに、今回の調査では、実施方法が異なることを念頭に置く必要があります。

まず、町民アンケートは、対象年齢である16歳以上の町民全員の中から、無作為に町で抽出した1,500人の方を対象に、郵送にて調査票をお配りしています。調査結果の有効性について考えるため、仮に16歳以上の町民全員に配った場合を仮定するとします。そうすると、本調査の結果は、16歳以上の町民全員に聞いた場合の結果とは若干異なる結果となると考えられ、両結果の間には、統計学上の誤差があると考えます。統計学上、この誤差が、3～5%未満に収まっていれば、本調査の結果は町民意見を代表している、つまり「十分に有効である」といえます。本調査の誤差は、調査票の中で誤差が最大になる設問でも±3.6%となり*、調査結果の有効性は確保されているといえます。

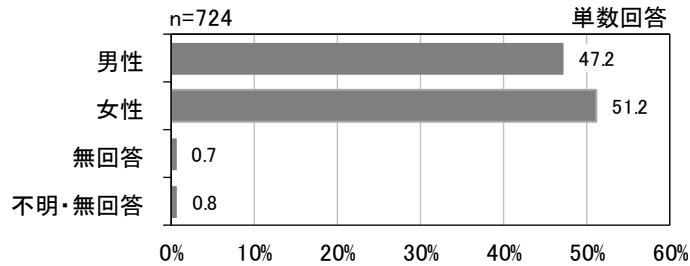
II アンケート調査の結果

1. あなた自身について

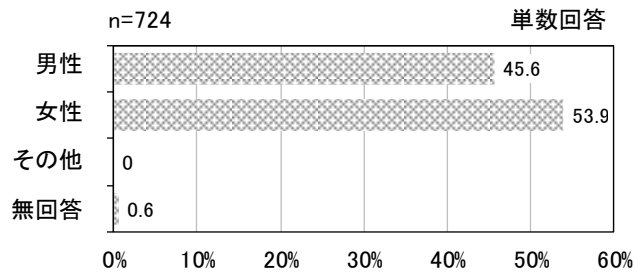
問1 あなたの性別はどれですか。(〇は1つ)

性別については、「女性」が51.2%、「男性」が47.2%となっています。

前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、概ね同様の傾向となっています。



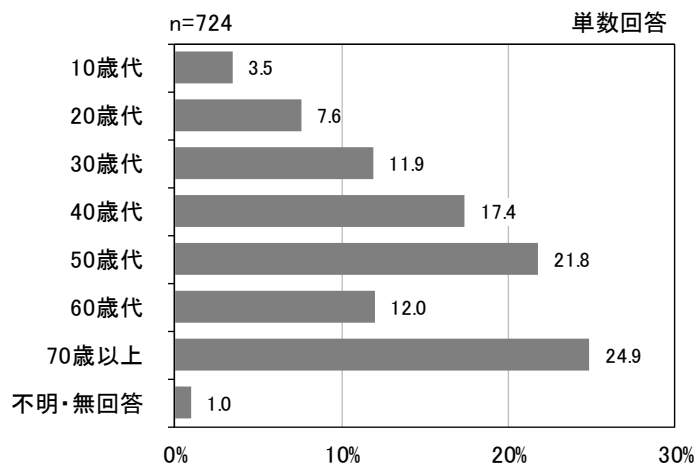
■参考：前回（平成31年実施調査）結果



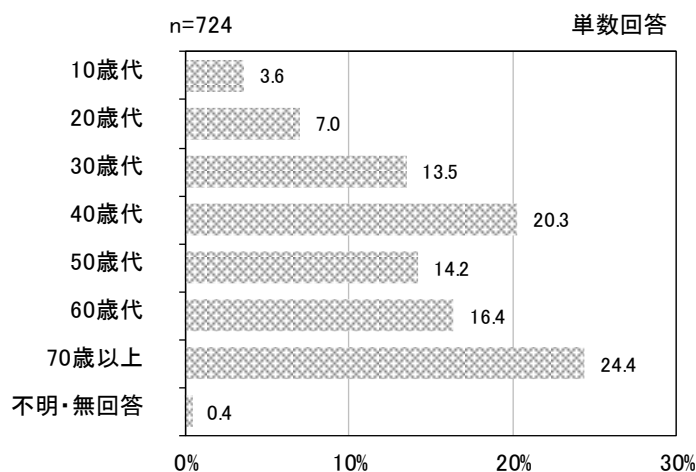
問2 あなたは何歳ですか。(〇は1つ)

年齢については、「70歳以上」が24.9%と最も多く、次いで「50歳代」が21.8%、「40歳代」が17.4%となっています。10歳代と20歳代の合計は11.1%、30歳代と40歳代の合計は29.3%、50歳代以上は58.7%となっています。

前回と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



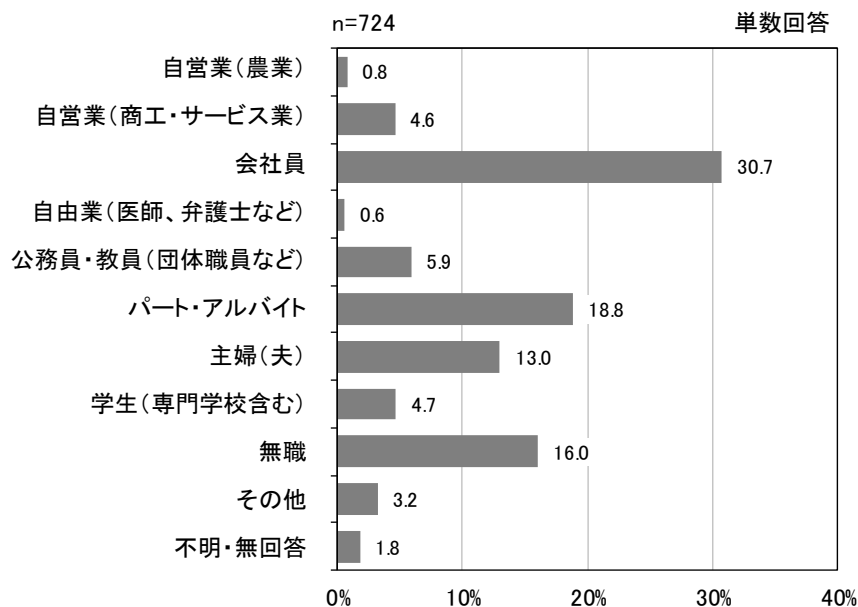
■参考：前回（平成31年実施調査）結果



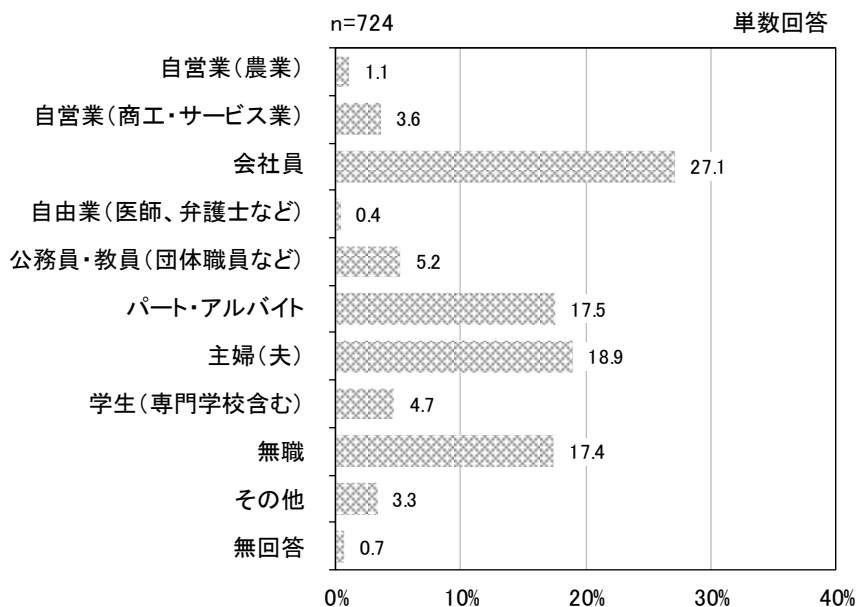
**問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。
(〇は1つ)**

職業については、「会社員」が30.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が18.8%、「無職」が16.0%となっています。

前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、「主婦(夫)」は5.9ポイント減少しています。



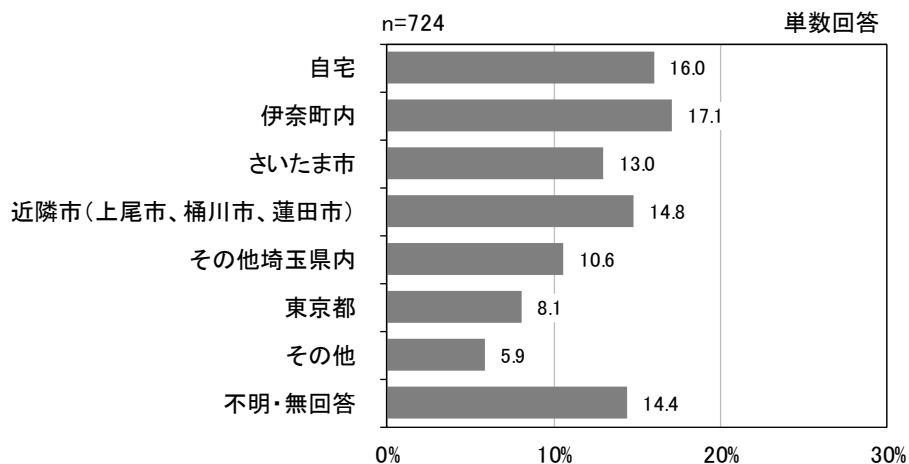
■参考：前回（平成31年実施調査）結果



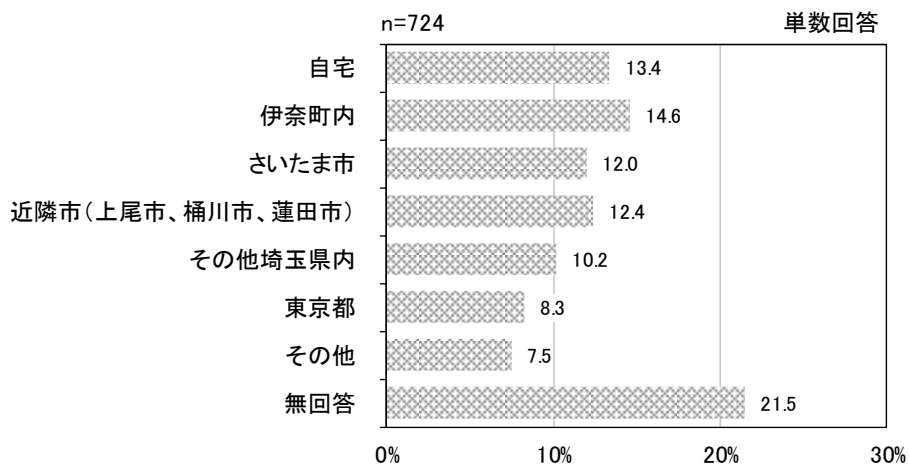
問4 あなたの通勤先または通学先はどこですか。(〇は1つ)

通勤先または通学先については、「伊奈町内」が17.1%と最も多く、次いで「自宅」が16.0%、「近隣市(上尾市、桶川市、蓮田市)」が14.8%となっています。

前回と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



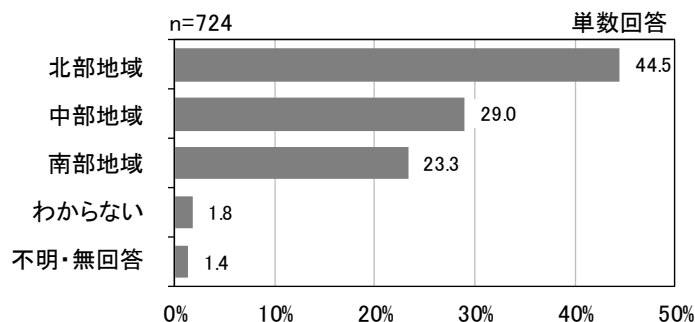
■参考：前回(平成31年実施調査)結果



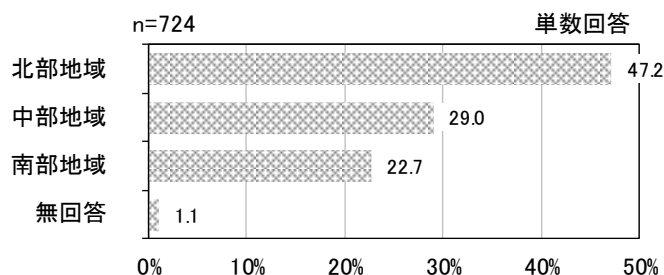
問5 あなたの住んでいる地域はどこですか。(〇は1つ)

居住地域については、「北部地域」が44.5%と最も多く、次いで「中部地域」が29.0%、「南部地域」が23.3%となっています。

前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、概ね同様の傾向となっています。



■参考：前回（平成31年実施調査）結果



■居住地域について

本アンケートにおいては、以下のように表記します。

北部地域：(大針区、学園中央区、細田山区、羽貫区、小針新宿区、小針内宿区、光ヶ丘区)

中部地域：(志久区、南本区、北本区、中央区、小貝戸区、柴中荻区、若榎区、大山区)

南部地域：(丸山区、下郷区、綾瀬東区、綾瀬南区、綾瀬北区、栄南区、栄中央区、栄北区)

■問5×年代別／前回との比較

年代別にみると、10歳代から60歳代では「北部地域」の割合が最も多くなっていますが、70歳以上では「南部地域」の割合が最も多くなっています。

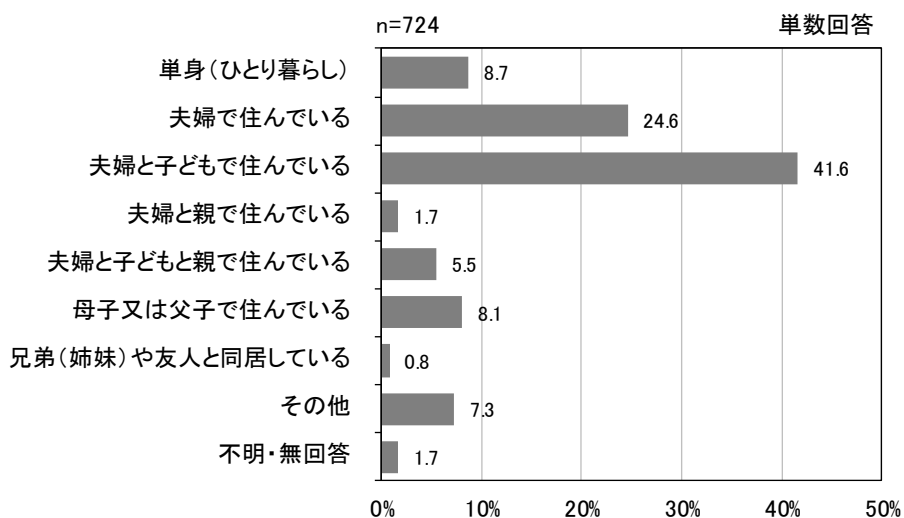
前回と比較すると、概ね同様の傾向となっています。

単位：%			北部地域	中部地域	南部地域	無回答
全体	今回(n=717)	44.9	29.1	23.4	0.7	
	前回(n=724)	47.2	29.0	22.7	1.1	
年代別	10歳代	今回(n=25)	60.0	24.0	8.0	0.0
		前回(n=26)	69.2	26.9	3.8	0.0
	20歳代	今回(n=55)	50.9	30.9	12.7	1.8
		前回(n=51)	45.1	37.3	17.6	0.0
	30歳代	今回(n=86)	39.5	32.6	25.6	0.0
		前回(n=98)	50.0	26.5	21.4	2.0
	40歳代	今回(n=126)	54.8	24.6	17.5	0.0
		前回(n=147)	59.2	25.9	13.6	1.4
	50歳代	今回(n=158)	50.0	28.5	19.6	0.6
		前回(n=103)	52.4	29.1	17.5	1.0
	60歳代	今回(n=87)	44.8	26.4	28.7	0.0
		前回(n=119)	40.3	34.5	24.4	0.8
	70歳以上	今回(n=180)	32.2	32.8	32.8	1.7
		前回(n=177)	34.5	27.7	37.3	0.6

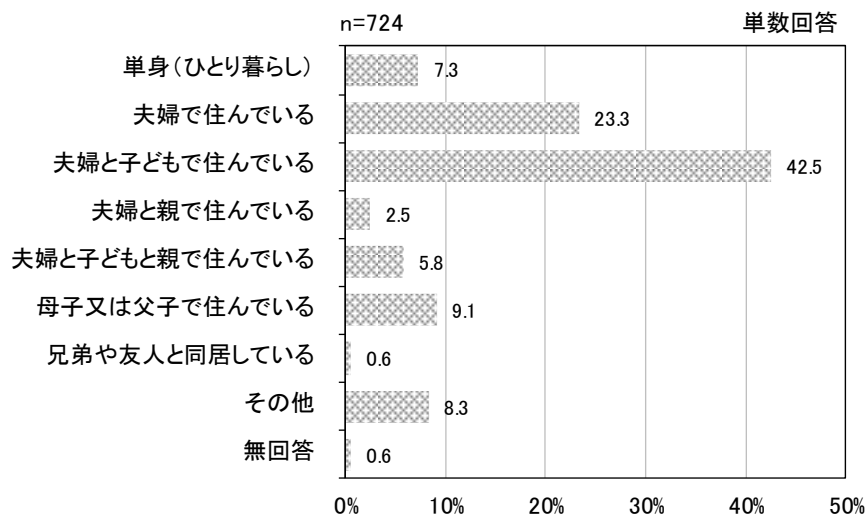
問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(〇は1つ)

家族構成については、「夫婦と子どもで住んでいる」が41.6%と最も多く、次いで「夫婦で住んでいる」が24.6%、「単身(ひとり暮らし)」が8.7%となっています。

前回と比較すると、概ね同様の傾向となっています。



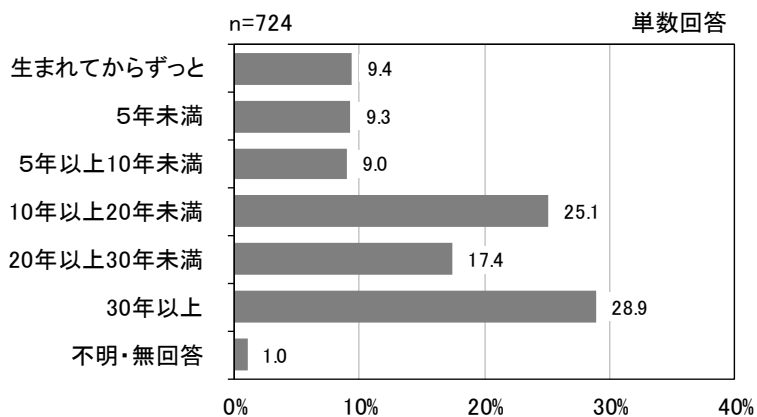
■参考：前回（平成31年実施調査）結果



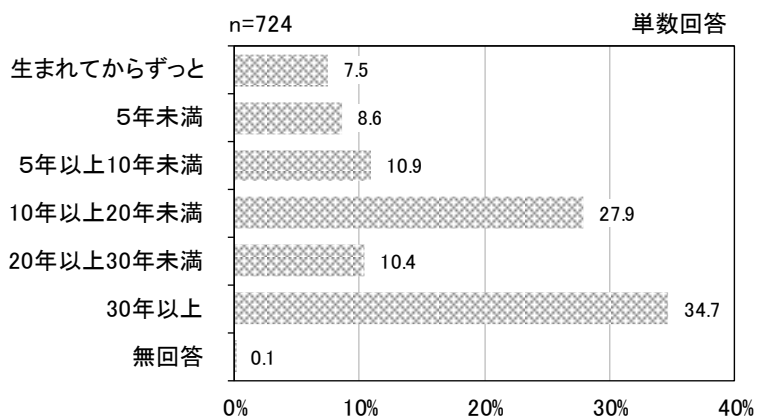
問7 あなたは伊奈町に何年住んでいますか。(〇は1つ)

町内での居住件数については、「30年以上」が28.9%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が25.1%、「20年以上30年未満」が17.4%となっています。

前回と比較すると、「20年以上30年未満」が7.0ポイント増加し、「30年以上」が5.8ポイント減少しています。



■参考：前回（平成31年実施調査）結果



■問7×年代別、地域別／前回との比較

年代別にみると、10歳代、40歳代、50歳代は「10年以上20年未満」、20歳代は「生まれてからずっと」「5年未満」、30歳代は「5年未満」、60歳以上は「30年以上」が最も多くなっています。

年代別に前回と比較すると、10歳代の「10年以上20年未満」は25.4ポイント減少しています。60歳代の「20年以上30年未満」は19.9ポイント増加しています。

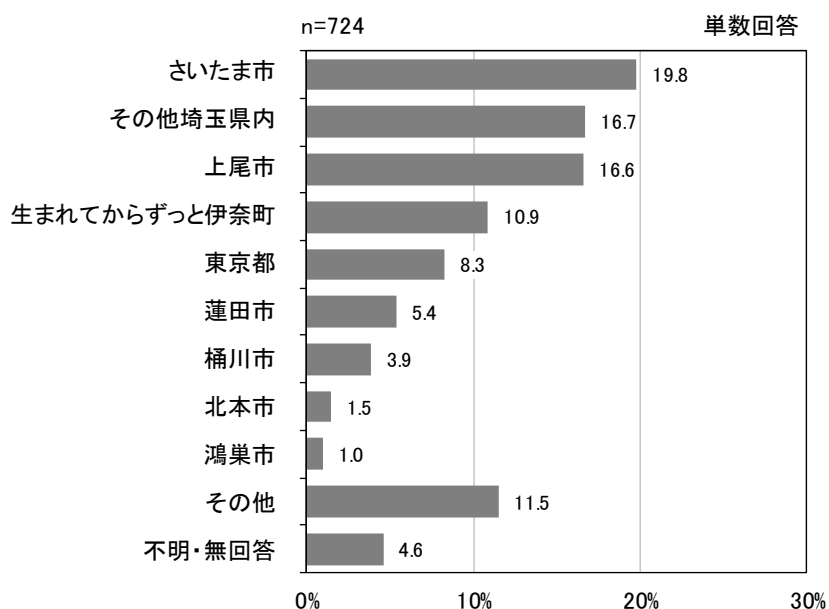
地域別にみると、北部地区は「10年以上20年未満」、中部地区と南部地区は「30年以上」が最も多くなっています。

単位：%		生まれてからずっと	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	9.4	9.3	9.0	25.1	17.4	28.9	1.0	
	前回(n=724)	7.3	15.4	13.4	18.9	14.4	29.4	1.2	
年代別	10歳代	今回(n=25)	36.0	8.0	16.0	40.0	0.0	0.0	0.0
		前回(n=26)	34.6	0.0	0.0	65.4	0.0	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=55)	29.1	29.1	10.9	14.5	16.4	0.0	0.0
		前回(n=51)	29.4	21.6	17.6	23.5	7.8	0.0	0.0
	30歳代	今回(n=86)	7.0	37.2	25.6	17.4	7.0	5.8	0.0
		前回(n=98)	8.2	24.5	22.4	25.5	9.2	10.2	0.0
	40歳代	今回(n=126)	11.1	3.2	12.7	50.8	11.9	10.3	0.0
		前回(n=147)	3.4	6.8	19.0	51.0	7.5	12.2	0.0
	50歳代	今回(n=158)	6.3	2.5	5.7	36.1	29.7	19.6	0.0
		前回(n=103)	4.9	5.8	5.8	34.0	19.4	30.1	0.0
	60歳代	今回(n=87)	5.7	3.4	2.3	9.2	33.3	46.0	0.0
		前回(n=119)	5.0	3.4	6.7	16.8	13.4	54.6	0.0
	70歳以上	今回(n=180)	4.4	3.3	3.3	10.6	11.1	66.7	0.6
		前回(n=177)	3.4	3.4	2.8	10.2	8.5	71.8	0.0
地域別	北部地区	今回(n=322)	6.5	9.6	9.9	36.3	16.8	20.8	0.0
		前回(n=342)	7.9	7.9	12.6	38.3	6.7	26.6	0.0
	中部地区	今回(n=210)	12.4	10.0	7.6	20.0	20.5	28.6	1.0
		前回(n=210)	8.1	8.6	9.5	21.0	17.1	35.7	0.0
	南部地区	今回(n=169)	10.7	8.3	7.1	13.6	14.2	46.2	0.0
		前回(n=164)	6.1	9.1	7.9	15.9	9.1	51.8	0.0

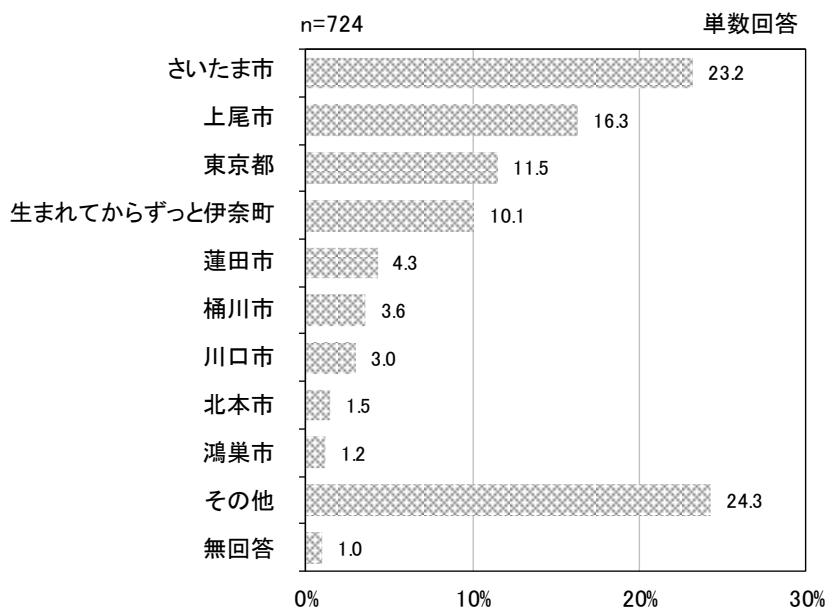
問8 現在の場所に住まれる前はどちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

以前住んでいた場所については、「さいたま市」が19.8%と最も多く、次いで「その他の埼玉県内」16.7%「上尾市」が16.6%、「生まれてからずっと伊奈町」は10.9%「東京都」が8.3%となっています。

前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、概ね同様の傾向となっています。

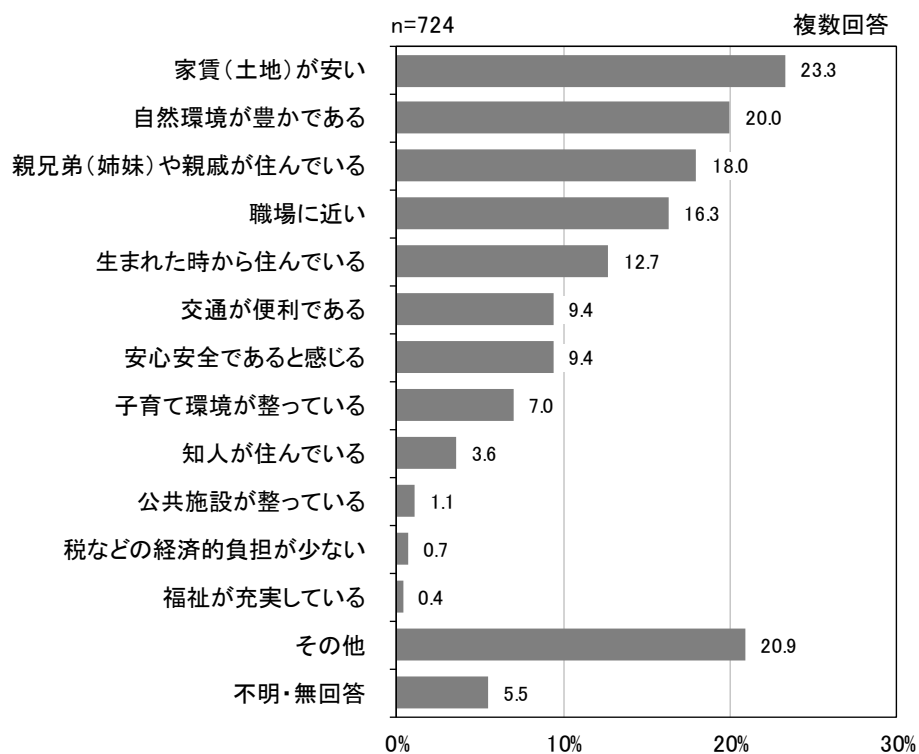


■参考：前回（平成31年実施調査）結果



問9 なぜ、伊奈町に住もうと思いましたか。(〇は3つまで)

伊奈町に住もうと思った理由については、「その他」を除くと、「家賃(土地)が安い」が23.3%と最も多く、次いで「自然環境が豊かである」が20.0%、「親兄弟(姉妹)や親戚が住んでいる」が18.0%となっています。



■問9×年代別／前回との比較

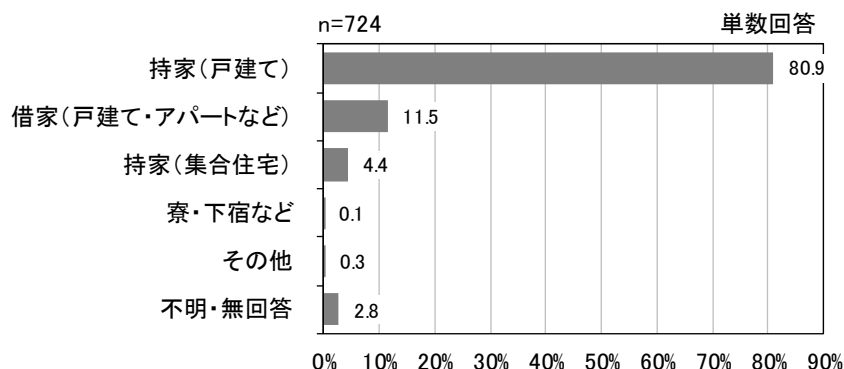
年代別にみると、10歳代、20歳代は「生まれたときから住んでいる」、30歳代、40歳代、50歳代は「家賃（土地）が安い」、60歳代、70歳以上では「自然環境が豊かである」が最も多くなっています。

前回と比較すると、10歳代の「親兄弟（姉妹）や親戚が住んでいる」、30歳代の「生まれたときから住んでいる」で10ポイント以上減少しています。

単位：%		家賃（土地）が安い	自然環境が豊かである	親兄弟（姉妹）や親戚が住んでいる	職場に近い	生まれた時から住んでいる	交通が便利である	安心安全であると感じる	子育て環境が整っている	知人が住んでいる	公共施設が整っている	税などの経済的負担が少ない	福祉が充実している	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	23.3	20.0	18.0	16.3	12.7	9.4	9.4	7.0	3.6	1.1	0.7	0.4	20.9	5.5	
	前回(n=724)	24.2	20.6	17.4	14.1	12.8	9.5	9.8	7.3	2.9	1.0	1.0	0.3	25.0	1.8	
年代別	10歳代	今回(n=25)	12.0	8.0	20.0	4.0	44.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0
		前回(n=26)	7.7	0.0	30.8	7.7	42.3	11.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	20歳代	今回(n=55)	10.9	7.3	10.9	25.5	41.8	5.5	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	12.7	1.8
		前回(n=51)	13.7	7.8	17.6	15.7	37.3	3.9	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	25.5	0.0
	30歳代	今回(n=86)	30.2	14.0	23.3	23.3	7.0	12.8	10.5	11.6	1.2	2.3	0.0	0.0	19.8	0.0
		前回(n=98)	23.5	10.2	19.4	17.3	17.3	10.2	7.1	8.2	3.1	3.1	0.0	1.0	25.5	2.0
	40歳代	今回(n=126)	28.6	19.0	20.6	19.8	13.5	7.1	19.0	8.7	2.4	1.6	0.0	0.0	24.6	1.6
		前回(n=147)	33.3	25.2	20.4	20.4	7.5	8.2	12.2	13.6	3.4	0.0	2.0	0.0	17.0	1.4
	50歳代	今回(n=158)	27.2	20.9	20.3	17.1	10.8	11.4	7.0	9.5	2.5	0.0	0.6	0.0	20.9	4.4
		前回(n=103)	30.1	17.5	21.4	12.6	5.8	11.7	7.8	5.8	3.9	0.0	1.0	0.0	34.0	1.9
	60歳代	今回(n=87)	18.4	27.6	20.7	14.9	6.9	9.2	11.5	5.7	4.6	2.3	0.0	1.1	17.2	11.5
		前回(n=119)	23.5	29.4	16.8	10.1	12.6	7.6	10.9	7.6	1.7	0.0	0.8	0.8	25.2	0.8
	70歳以上	今回(n=180)	21.7	25.0	11.1	10.0	6.1	8.9	6.1	3.9	6.7	1.1	2.2	1.1	23.9	10.6
		前回(n=177)	19.2	25.4	10.2	10.7	7.9	11.3	11.9	4.5	4.0	1.7	1.1	0.0	28.8	2.8

問 10 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(〇は1つ)

現在お住まいの住宅の種類については、「持家（戸建て）」が 80.9%と最も多く、次いで「借家（戸建て・アパートなど）」が 11.5%、「持家（集合住宅）」が 4.4%となっています。



問 10×年代別／前回との比較

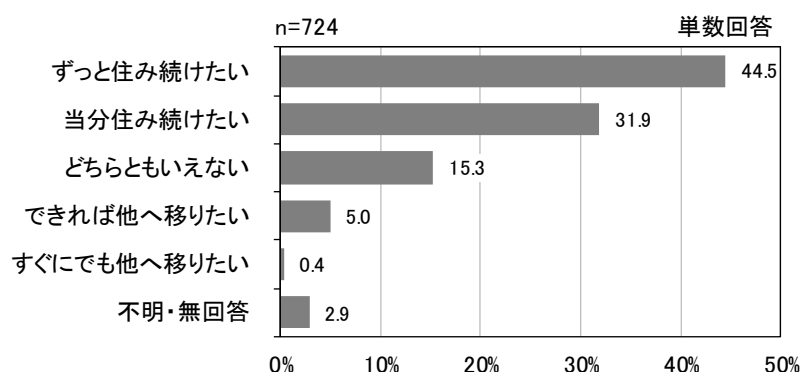
年代別にみると、すべての年代で「持家（戸建て）」が最も多くなっています。20歳代から60歳代においては、年代が上がるにつれて「持家（戸建て）」が多くなっています。

前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、10歳代の「持家（戸建て）」が 20.2ポイント減少し、「借家（戸建て・アパートなど）」が 16.0ポイント増加しています。

単位：%		持家（戸建て）	借家（戸建て・アパートなど）	持家（集合住宅）	寮・下宿など	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	80.9	11.5	4.4	0.1	0.3	2.8	
	前回(n=724)	84.8	9.3	4.1	0.6	1.0	0.3	
年代別	10歳代	今回(n=25)	76.0	16.0	4.0	4.0	0.0	0.0
		前回(n=26)	96.2	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=55)	67.3	27.3	5.5	0.0	0.0	0.0
		前回(n=51)	68.6	19.6	3.9	3.9	2.0	2.0
	30歳代	今回(n=86)	70.9	26.7	2.3	0.0	0.0	0.0
		前回(n=98)	74.5	22.4	2.0	0.0	1.0	0.0
	40歳代	今回(n=126)	84.1	12.7	1.6	0.0	0.8	0.8
		前回(n=147)	87.8	8.8	2.7	0.7	0.0	0.0
	50歳代	今回(n=158)	81.6	10.8	3.8	0.0	0.0	3.8
		前回(n=103)	80.6	10.7	6.8	0.0	1.9	0.0
	60歳代	今回(n=87)	88.5	4.6	5.7	0.0	0.0	1.1
		前回(n=119)	92.4	3.4	2.5	0.8	0.8	0.0
	70歳以上	今回(n=180)	83.9	2.2	7.2	0.0	0.6	6.1
		前回(n=177)	89.3	3.4	6.2	0.0	1.1	0.0

問 11 あなたは今後も伊奈町に住み続けたいですか。(〇は1つ)

今後も伊奈町に住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」が44.5%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が31.9%、「どちらともいえない」が15.3%となっています。「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は76.4%となっています。



問 11×年代別／前回との比較

年代別にみると、10歳代から40歳代は「当分住み続けたい」、50歳以上は「ずっと住み続けたい」が最も多くなっています。

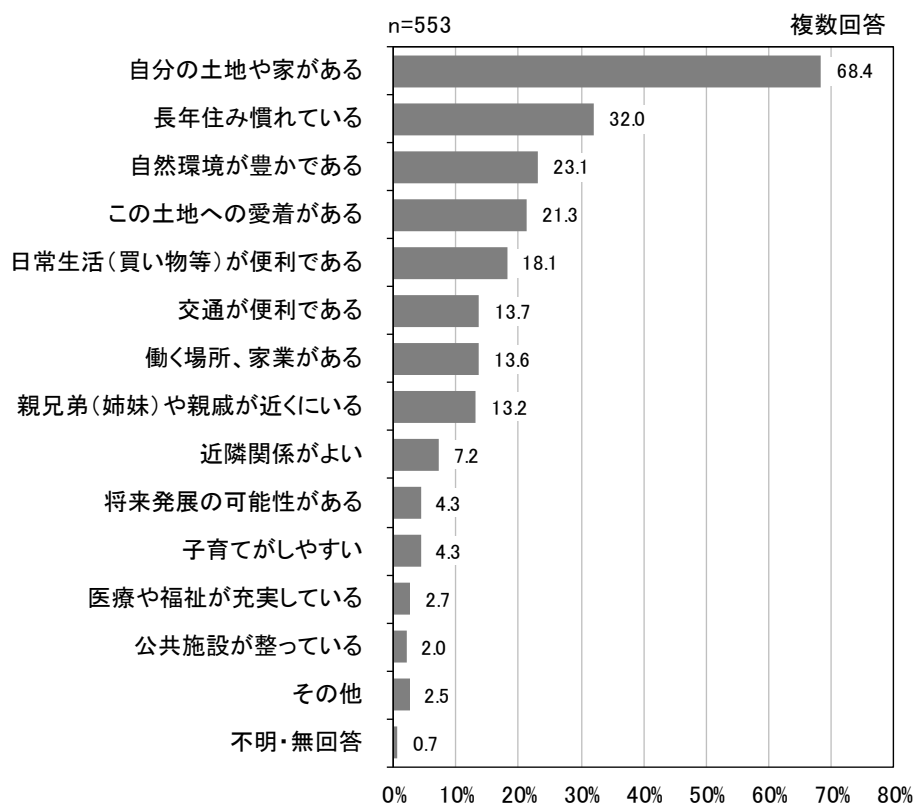
前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、10歳代、20歳代、60歳代の「ずっと住み続けたい」は10ポイント以上減少し、10歳代の「どちらともいえない」、20歳代の「当分住み続けたい」は10ポイント以上増加しました。

単位: %		ずっと住み続けたい	当分住み続けたい	どちらともいえない	できれば他へ移りたい	すぐにでも他へ移りたい	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	44.5	31.9	15.3	5.0	0.4	2.9	
	前回(n=724)	48.8	28.9	15.5	6.1	0.7	0.1	
年代別	10歳代	今回(n=25)	8.0	40.0	36.0	16.0	0.0	0.0
		前回(n=26)	26.9	30.8	23.1	19.2	0.0	0.0
	20歳代	今回(n=55)	16.4	50.9	21.8	9.1	1.8	0.0
		前回(n=51)	27.5	39.2	21.6	11.8	0.0	0.0
	30歳代	今回(n=86)	33.7	44.2	18.6	3.5	0.0	0.0
		前回(n=98)	31.6	40.8	16.3	10.2	1.0	0.0
	40歳代	今回(n=126)	38.1	38.9	15.9	6.3	0.0	0.8
		前回(n=147)	44.2	31.3	17.7	6.1	0.7	0.0
	50歳代	今回(n=158)	40.5	34.2	17.7	2.5	1.3	3.8
		前回(n=103)	41.7	33.0	19.4	4.9	1.0	0.0
	60歳代	今回(n=87)	46.0	27.6	19.5	4.6	0.0	2.3
		前回(n=119)	58.0	26.9	10.9	2.5	1.7	0.0
	70歳以上	今回(n=180)	71.1	13.9	5.0	3.9	0.0	6.1
		前回(n=177)	70.1	15.3	11.3	3.4	0.0	0.0

問 11 で「ずっと住みたい」または「当分住みたい」を選択された方

問 12 住みたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

住みたいと思う理由については、「自分の土地や家がある」が68.4%と最も多く、次いで「長年住み慣れている」が32.0%、「自然環境が豊かである」が23.1%となっています。



■問 12×年代別／前回との比較

年代別にみると、10歳代では「この土地への愛着がある」が、20歳代以上では「自分の土地や家がある」が最も多くなっています。

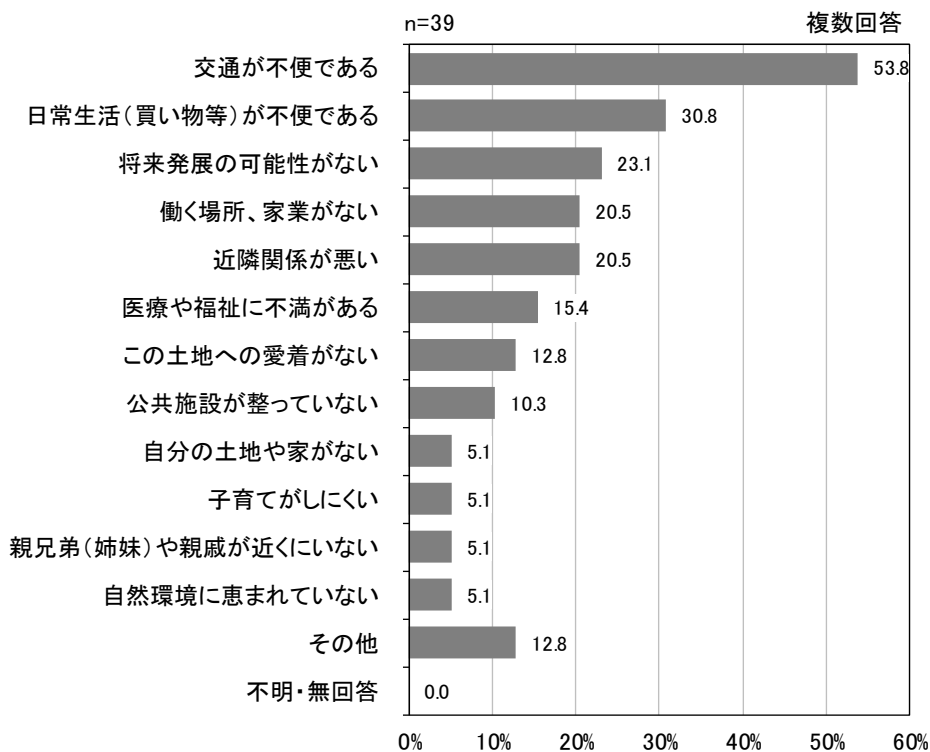
前回と比較すると、10歳代では「親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいる」、20歳代では「長年住み慣れている」がそれぞれ大幅に減少しています。

単位：%		自分の土地や家がある	長年住み慣れている	自然環境が豊かである	この土地への愛着がある	日常生活（買い物等）が便利である	交通が便利である	働く場所、家業がある	親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいる	近隣関係がよい	将来発展の可能性はある	子育てがしやすい	医療や福祉が充実している	公共施設が整っている	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=553)	68.4	32.0	23.1	21.3	18.1	13.7	13.6	13.2	7.2	4.3	4.3	2.7	2.0	2.5	0.7	
	前回(n=562)	65.3	38.3	22.8	23.0	13.2	14.1	11.4	15.8	8.2	4.8	5.0	1.8	1.6	2.3	0.7	
年代別	10歳代	今回(n=12)	33.3	41.7	16.7	58.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
		前回(n=15)	26.7	46.7	6.7	46.7	6.7	13.3	6.7	53.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	20歳代	今回(n=37)	35.1	29.7	10.8	21.6	16.2	13.5	29.7	18.9	2.7	10.8	8.1	5.4	0.0	2.7	0.0
		前回(n=34)	35.3	50.0	2.9	26.5	26.5	8.8	23.5	20.6	2.9	5.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0
	30歳代	今回(n=67)	58.2	14.9	13.4	14.9	25.4	7.5	17.9	23.9	7.5	6.0	17.9	1.5	0.0	3.0	0.0
		前回(n=71)	63.4	16.9	19.7	21.1	19.7	12.7	16.9	19.7	11.3	4.2	9.9	1.4	4.2	4.2	2.8
	40歳代	今回(n=97)	70.1	21.6	22.7	26.8	14.4	15.5	23.7	12.4	6.2	2.1	4.1	1.0	1.0	3.1	0.0
		前回(n=111)	69.4	27.9	22.5	20.7	12.6	8.1	12.6	18.0	9.0	7.2	11.7	0.9	0.0	1.8	0.0
	50歳代	今回(n=118)	75.4	29.7	24.6	19.5	20.3	16.9	16.1	11.9	6.8	5.1	4.2	0.0	1.7	2.5	0.0
		前回(n=77)	70.1	35.1	24.7	19.5	10.4	18.2	13.0	15.6	5.2	5.2	3.9	0.0	1.3	6.5	0.0
	60歳代	今回(n=64)	67.2	42.2	37.5	18.8	23.4	15.6	4.7	12.5	3.1	6.3	0.0	4.7	0.0	0.0	3.1
		前回(n=101)	69.3	48.5	31.7	19.8	12.9	15.8	11.9	12.9	8.9	2.0	1.0	3.0	1.0	2.0	0.0
	70歳以上	今回(n=153)	76.5	43.6	24.8	20.9	13.7	12.4	3.3	8.5	11.8	2.6	0.0	5.2	5.2	2.6	1.3
		前回(n=151)	69.5	47.7	23.8	25.8	9.9	16.6	4.0	9.9	9.3	4.6	0.7	3.3	2.0	0.0	1.3

問 11 で「できれば他へ移りたい」または「すぐにでも他へ移りたい」を選択された方

問 13 他へ移りたいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

町外へ移りたいと思う理由については、「交通が不便である」が 53.8%と最も多く、次いで「日常生活(買い物等)が不便である」が 30.8%、「将来発展の可能性がない」が 23.1%となっています。



■問 13×年代別、地域別／前回との比較

年代別にみると、10歳代、50歳代、60歳代では「交通が不便である」が他の年代に比べて多くなっています。

地域別にみると、北部地区では「交通が不便である」が、中部地区と南部地区では「日常生活が不便である」が他の地域に比べて多くなっています。

地域別に前回と比較すると、北部地区と中部地区では「交通が不便である」、南部地区では「日常生活が不便である」が最も多くなっています。

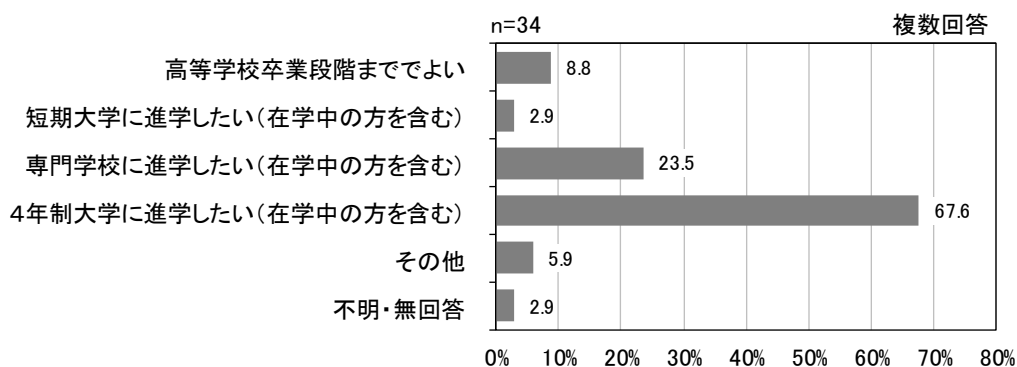
単位：%		交通が不便である	日常生活（買い物等）が不便である	将来発展の可能性がない	働く場所、家業がない	近隣関係が悪い	医療や福祉に不満がある	この土地への愛着がない	公共施設が整っていない	自分の土地や家がない	子育てがしにくい	親兄弟（姉妹）や親戚が近くにいない	自然環境に恵まれていない	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=39)	53.8	30.8	23.1	20.5	20.5	15.4	12.8	10.3	5.1	5.1	5.1	5.1	12.8	0.0	
	前回(n=49)	42.9	22.4	26.5	12.2	12.2	2.0	20.4	14.3	0.0	4.1	8.2	0.0	26.5	6.1	
年代別	10歳代	今回(n=4)	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
		前回(n=5)	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	20歳代	今回(n=6)	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
		前回(n=6)	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	30歳代	今回(n=3)	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		前回(n=11)	63.6	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0
	40歳代	今回(n=8)	50.0	37.5	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	25.0	0.0
		前回(n=10)	50.0	40.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	50歳代	今回(n=6)	66.7	33.3	16.7	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
		前回(n=6)	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
	60歳代	今回(n=4)	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		前回(n=5)	20.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	70歳以上	今回(n=7)	28.6	57.1	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
		前回(n=6)	33.3	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
地域別	北部地区	今回(n=14)	64.3	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1	14.3	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0
		前回(n=17)	47.1	23.5	35.3	5.9	11.8	0.0	11.8	17.6	0.0	11.8	11.8	0.0	41.2	5.9
	中部地区	今回(n=15)	46.7	26.7	13.3	20.0	20.0	20.0	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	20.0	0.0
		前回(n=19)	42.1	21.1	21.1	15.8	15.8	5.3	26.3	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5
	南部地区	今回(n=8)	37.5	62.5	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
		前回(n=12)	41.7	25.0	25.0	16.7	8.3	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0

問 14～問 16 は現在在学中の方のみ（問3で「学生（専門学校含む）」を選択された方）

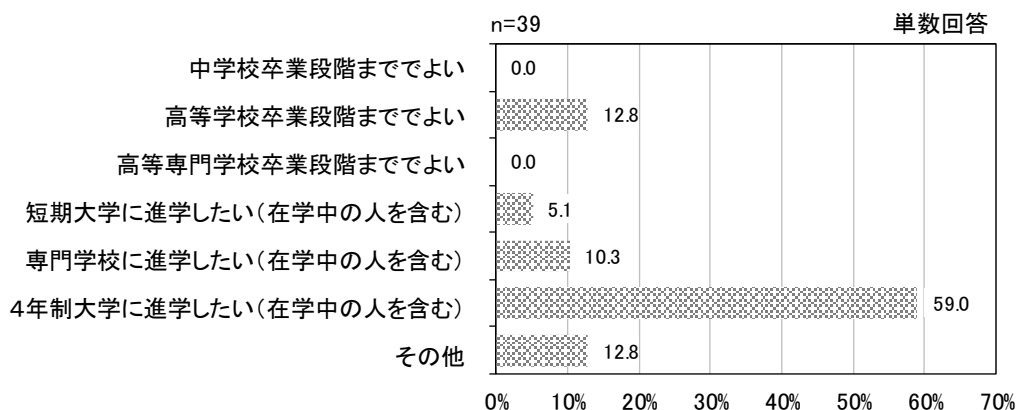
問 14 あなたは、今後どの段階まで進学したいですか。（〇は3つまで）

今後どの段階まで進学したいかについては、「4年制大学に進学したい（在学中の人を含む）」が67.6%と最も多く、次いで「専門学校に進学したい（在学中の人を含む）」が23.5%、「高等学校卒業段階まででよい」が8.8%となっています。

前回と比較すると、設問の形式や選択肢が異なるため一概には比較できないものの、「専門学校に進学したい（在学中の人を含む）」と「4年制大学に進学したい（在学中の人を含む）」が増加しています。



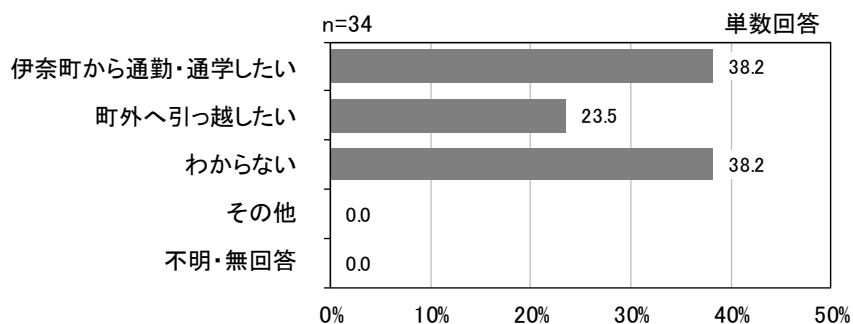
■参考：前回（平成 31 年実施調査）結果



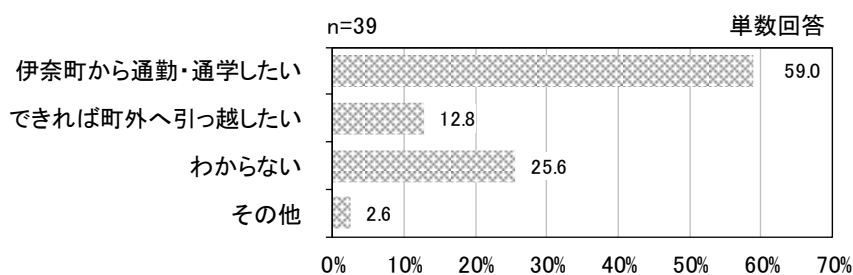
※無回答を除いて集計

**問 15 あなたは、今後進学・就職した際の通勤・通学についてどのように考えていますか。
(○は1つ)**

今後進学・就職した際の通勤・通学についての考えについては、「伊奈町から通勤・通学したい」「わからない」が38.2%と最も多く、次いで「町外へ引っ越したい」が23.5%となっています。前回と比較すると、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、「伊奈町から通勤・通学したい」が大幅に減少し、「(できれば) 町外へ引っ越ししたい」と「わからない」が大幅に増加しました。



■参考：前回（平成 31 年実施調査）結果



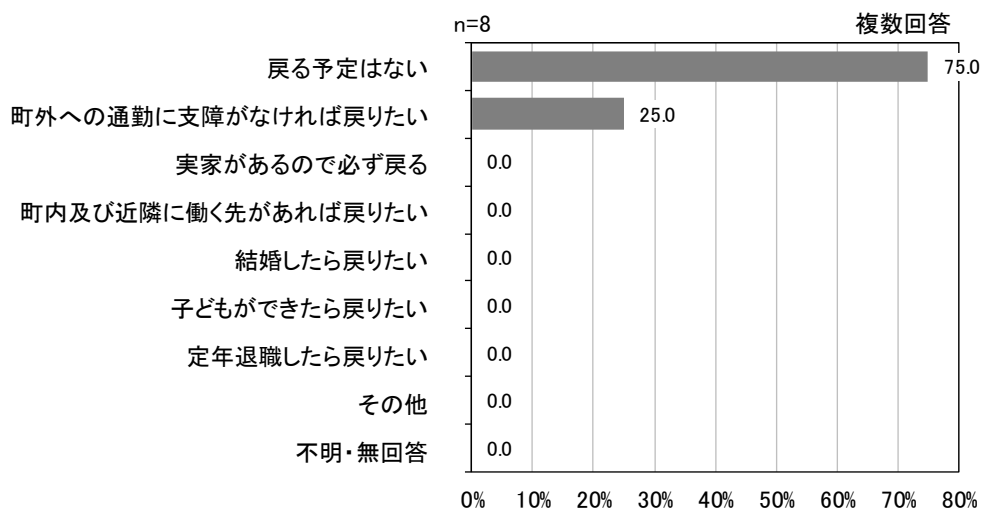
※無回答を除いて集計

問 15 で「町外へ引っ越したい」を選択された方

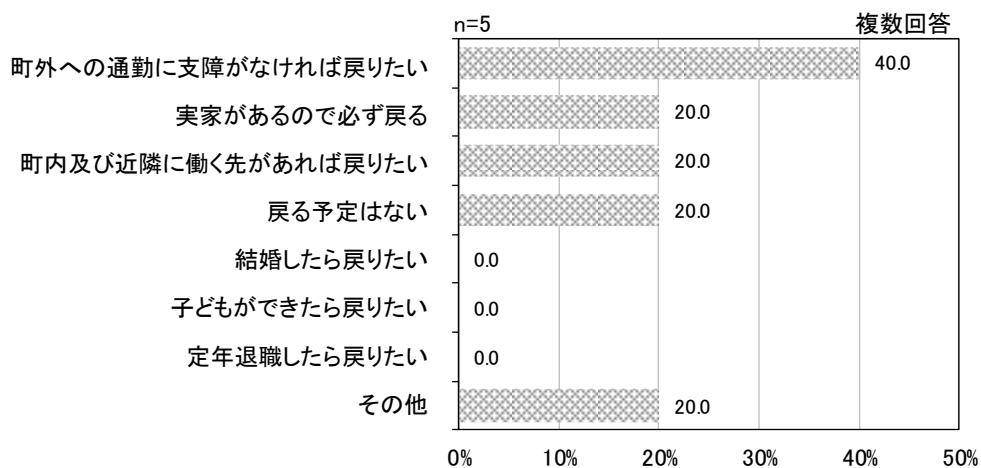
問 16 一度町外へ引っ越した後に、再び伊奈町に戻って住むことは考えられますか。
(あてはまるものすべてに○)

一度町外へ引っ越した後に、再び伊奈町に戻って住む意向については、「戻る予定はない」が 75.0%と最も多く、次いで「町外への通勤に支障がなければ戻りたい」が 25.0%となりました。

前回と比較すると、「戻る予定はない」が大幅増加し、「町外への通勤に支障がなければ戻りたい」が減少しました。



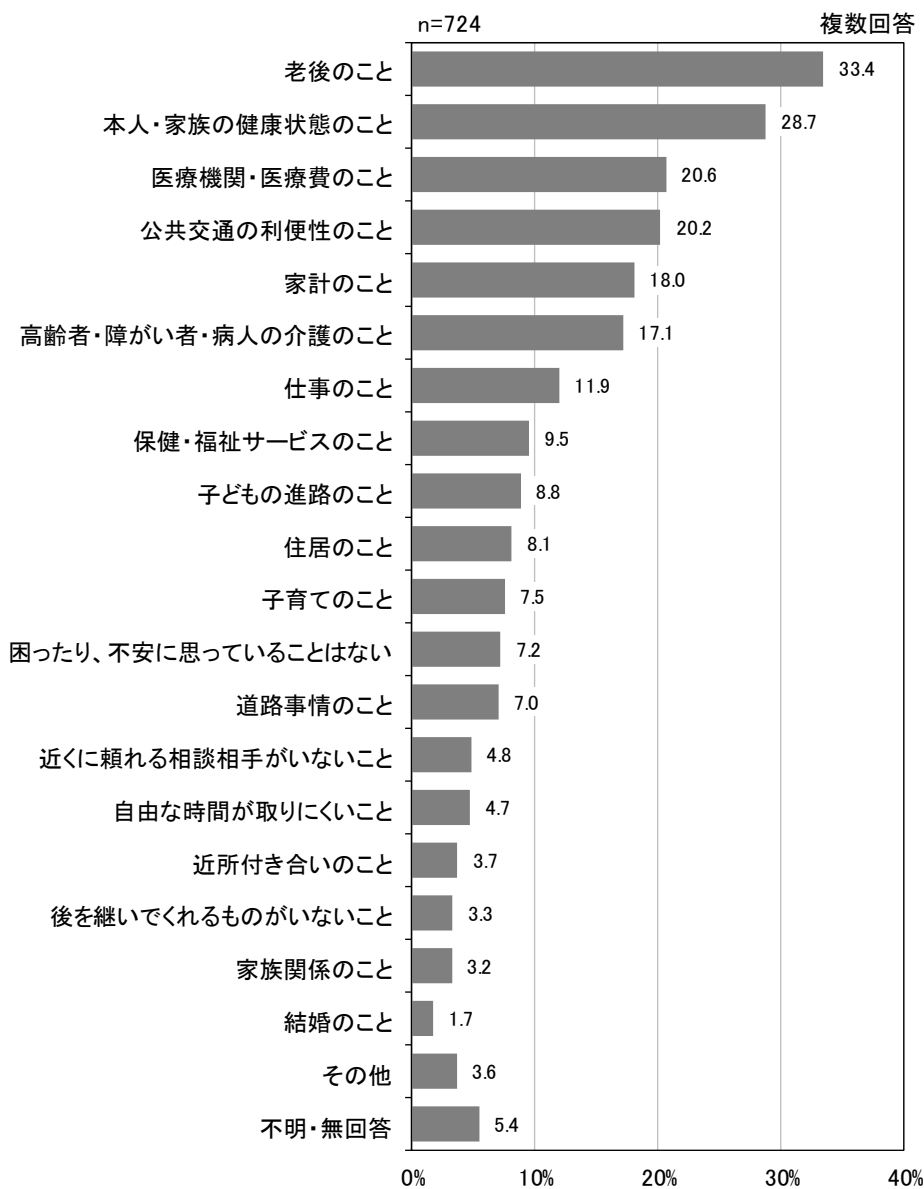
■参考：前回（平成 31 年実施調査）結果



※無回答を除いて集計

問 17 あなたが日常生活の中で困ったり、不安に思ったりすることはありますか。
(〇は3つまで)

日常の中で困ったり、不安に思ったりすることについては、「老後のこと」が33.4%と最も多く、次いで「本人・家族の健康状態のこと」が28.7%、「医療機関・医療費のこと」が20.6%となっています。



■問 17×年代別、地域別

年代別にみると、10歳代、20歳代は「公共交通の利便性のこと」、30歳代は「子育てのこと」、40歳代以上は「老後のこと」が最も多くなっています。

地域別にみると、すべての地域で「老後のこと」が最も多くなっています。

単位：%		老後のこと	本人・家族の健康状態のこと	医療機関・医療費のこと	公共交通の利便性のこと	家計のこと	高齢者・障がい者・病人の介護のこと	仕事のこと	保健・福祉サービスのこと	子どもの進路のこと	住居のこと	子育てのこと
全体	(n=724)	33.4	28.7	20.6	20.2	18.0	17.1	11.9	9.5	8.8	8.1	7.5
年代別	10歳代 (n=25)	8.0	24.0	12.0	28.0	12.0	4.0	24.0	0.0	0.0	4.0	0.0
	20歳代 (n=55)	14.5	21.8	16.4	34.5	18.2	9.1	14.5	1.8	1.8	10.9	18.2
	30歳代 (n=86)	16.3	15.1	29.1	23.3	27.9	5.8	18.6	4.7	15.1	9.3	33.7
	40歳代 (n=126)	33.3	22.2	16.7	20.6	21.4	13.5	17.5	4.8	23.0	10.3	7.9
	50歳代 (n=158)	39.9	29.1	13.9	22.2	25.3	22.8	16.5	6.3	12.0	8.2	2.5
	60歳代 (n=87)	46.0	40.2	21.8	16.1	13.8	19.5	5.7	17.2	1.1	13.8	0.0
	70歳以上 (n=180)	39.4	36.7	27.8	13.3	7.2	22.2	1.1	17.8	0.6	2.8	0.0
地域別	北部地区 (n=322)	31.7	28.0	19.6	19.9	18.3	16.8	15.8	8.1	12.4	8.4	7.8
	中部地区 (n=210)	35.2	30.5	20.5	21.4	17.1	16.7	11.4	9.5	4.8	8.6	7.6
	南部地区 (n=169)	36.1	29.0	23.7	18.9	17.2	19.5	5.9	13.0	7.1	7.1	7.1

単位：%		て困ったり、不安に思うこと	道路事情のこと	が近くに頼れる相談相手	いこと	自由な時間が取りにく	近所付き合いのこと	後を継いでくれるもの	家族関係のこと	結婚のこと	その他	不明・無回答
全体	(n=724)	7.2	7.0	4.8	4.7	3.7	3.3	3.2	1.7	3.6	5.4	
年代別	10歳代 (n=25)	12.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	
	20歳代 (n=55)	14.5	9.1	3.6	10.9	7.3	0.0	1.8	5.5	1.8	3.6	
	30歳代 (n=86)	2.3	14.0	3.5	15.1	4.7	0.0	4.7	2.3	1.2	0.0	
	40歳代 (n=126)	7.1	10.3	5.6	6.3	6.3	2.4	4.8	2.4	3.2	1.6	
	50歳代 (n=158)	5.7	4.4	3.8	3.2	2.5	1.3	4.4	1.9	4.4	4.4	
	60歳代 (n=87)	4.6	5.7	5.7	0.0	2.3	10.3	0.0	1.1	3.4	3.4	
	70歳以上 (n=180)	8.9	3.3	6.1	0.6	2.8	5.6	2.2	0.0	5.0	13.3	
地域別	北部地区 (n=322)	7.1	5.6	5.9	6.2	3.7	1.9	3.4	1.9	4.0	5.3	
	中部地区 (n=210)	8.6	6.7	3.3	2.4	2.4	5.2	2.9	1.0	2.4	5.2	
	南部地区 (n=169)	4.1	10.1	5.3	4.1	4.7	4.1	3.6	2.4	4.1	5.3	

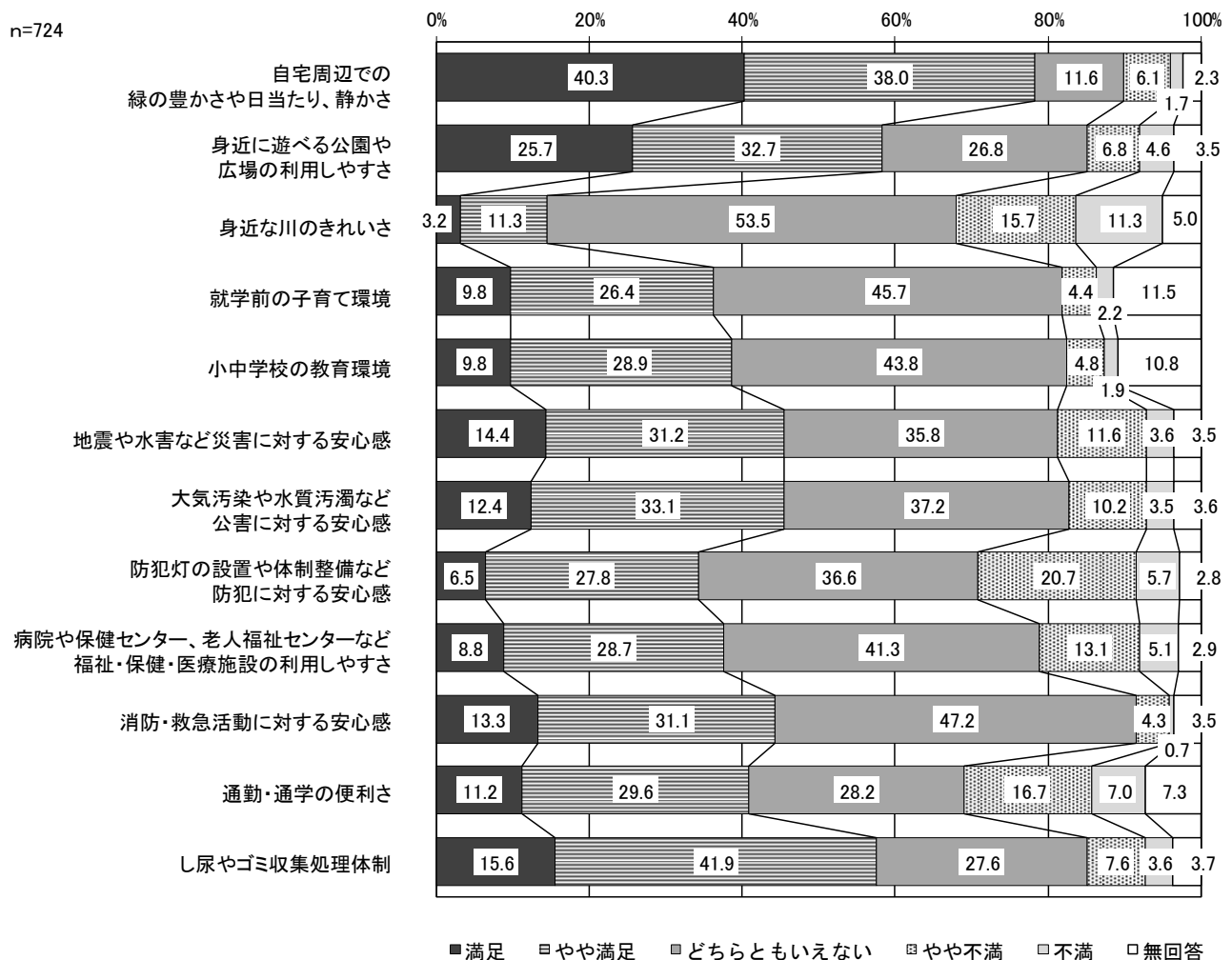
2. あなたの暮らしを取り巻く環境について

問18 日常生活を送る上で、あなたは次の項目について日ごろどのように感じていますか。
(それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ)

1. 住みやすさ

住みやすさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が78.3%と最も多く、次いで「身近で遊べる公園や広場の利用しやすさ」が58.4%、「し尿やゴミ収集処理体制」の57.5%となっています。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「身近な川のきれいさ」が27.0%と多くなっています。



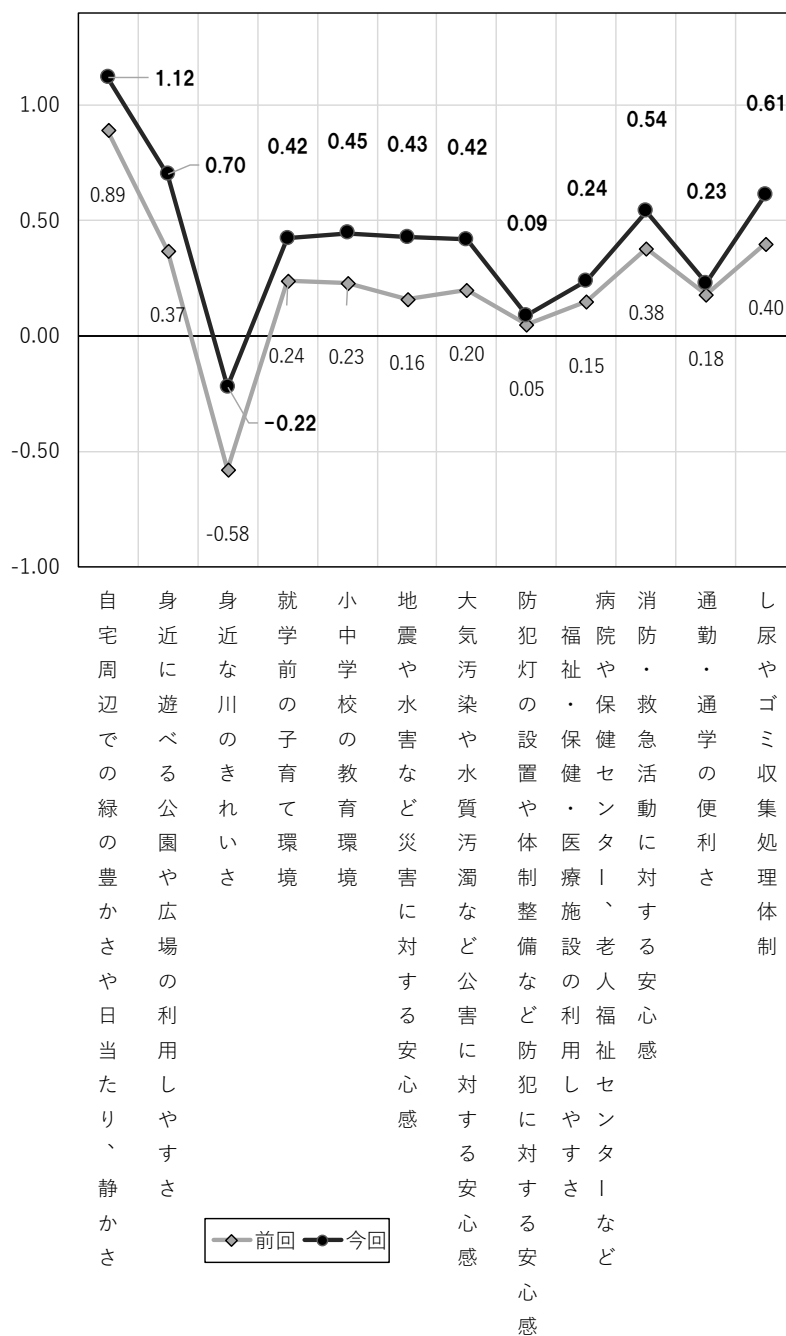
以下、問 18 についての集計においては、それぞれの項目における満足度をみるため、皆様の回答に下記の得点を与え平均することで、「平均評価点」を算出しました。

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
2 点	1 点	0 点	-1 点	-2 点

■問 18— 1 × 平均評価点の算出 / 前回との比較

住みやすさについての満足度（平均評価点）は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」が 1.12 と最も高く、次いで「身近で遊べる公園や広場の利用しやすさ」が 0.70、「し尿やゴミ収集処理体制」が 0.61 となっています。

また、前回と比較すると、すべての項目で平均評価点が上がっています。



■問 18— I ×年代別、地域別でみる平均評価点

年代別にみると、40歳代と60歳代で全体を下回る平均評価点となった項目が多くなっています。特に40歳代と50歳代では「防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感」「病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ」といった項目で、60歳代以上では「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ」「身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ」といった項目で、平均評価点が全体に比べて低くなっています。

地域別にみると、北部地区では他の地域に比べて全体の平均評価点を上回っている項目が多くなっています。

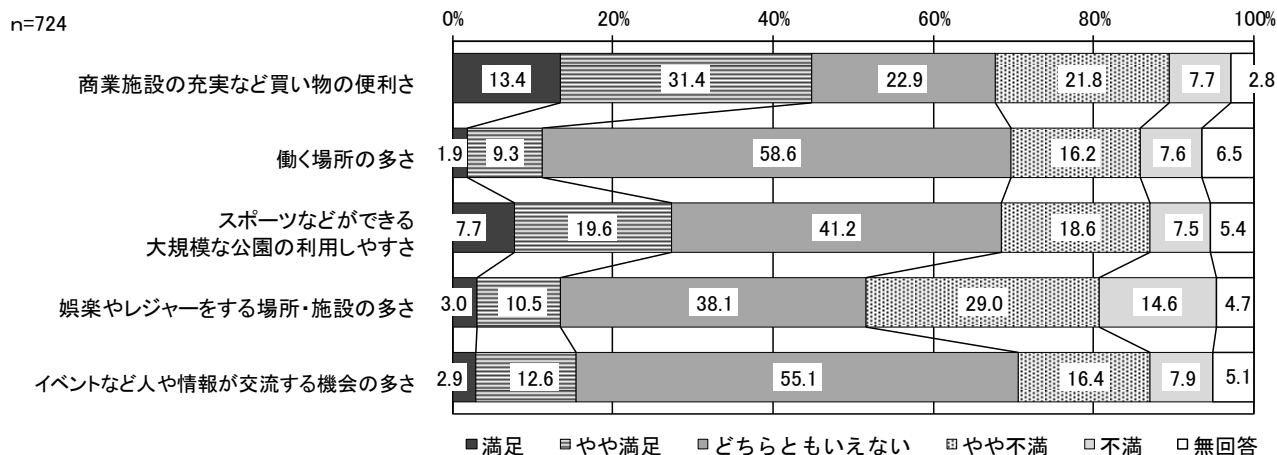
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静かさ	1.12	1.12	1.31	1.20	1.10	1.15	1.07	1.03	1.26	1.03	1.02
身近に遊べる公園や広場の利用しやすさ	0.70	1.12	0.87	0.70	0.80	0.78	0.54	0.54	1.05	0.46	0.41
身近な川のきれいさ	-0.22	0.16	-0.14	-0.24	-0.28	-0.09	-0.35	-0.28	-0.10	-0.28	-0.34
就学前の子育て環境	0.42	0.57	0.27	0.48	0.42	0.44	0.30	0.48	0.56	0.35	0.28
小中学校の教育環境	0.45	1.04	0.50	0.27	0.41	0.43	0.38	0.53	0.58	0.36	0.33
地震や水害など災害に対する安心感	0.43	0.88	0.40	0.31	0.41	0.53	0.31	0.40	0.55	0.54	0.06
大気汚染や水質汚濁など公害に対する安心感	0.42	0.76	0.47	0.49	0.39	0.43	0.39	0.36	0.53	0.40	0.28
防犯灯の設置や体制整備など防犯に対する安心感	0.09	0.24	0.07	0.16	-0.05	0.04	0.02	0.22	0.13	0.02	0.14
病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ	0.24	0.60	0.49	0.01	0.04	0.22	0.21	0.40	0.21	0.28	0.22
消防・救急活動に対する安心感	0.54	0.64	0.51	0.44	0.43	0.61	0.52	0.62	0.45	0.64	0.63
通勤・通学の利便さ	0.23	0.16	0.25	0.28	0.05	0.30	0.17	0.34	0.19	0.21	0.34
し尿やゴミ収集処理体制	0.61	0.88	0.49	0.52	0.49	0.62	0.53	0.80	0.70	0.49	0.61

※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

II. 賑やかさ

賑やかさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」が44.8%と最も多く、次いで「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」が27.3%となっています。

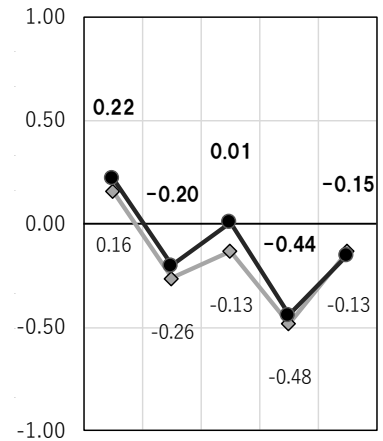
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」が43.6%と多くなっています。



■問 18—II × 平均評価点の算出／前回との比較

賑やかさについての満足度（平均評価点）は、「商業施設の充実など買い物の便利さ」が0.22と最も高く、次いで「スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ」が0.01となっています。

また、前回と比較すると、平均評価点はほぼ横ばいとなりました。「イベントなど人や情報が交流する機会の多さ」については平均評価点が下がっています。



項目	前回	今回
商業施設の充実など買い物の便利さ	0.16	0.22
働く場所の多さ	-0.26	-0.20
スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	-0.13	0.01
娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	-0.48	-0.44
イベントなど人や情報が交流する機会の多さ	-0.13	-0.15

■問 18—II × 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別にみると、40歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っている一方、10歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っています。

地域別にみると、北部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、中部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

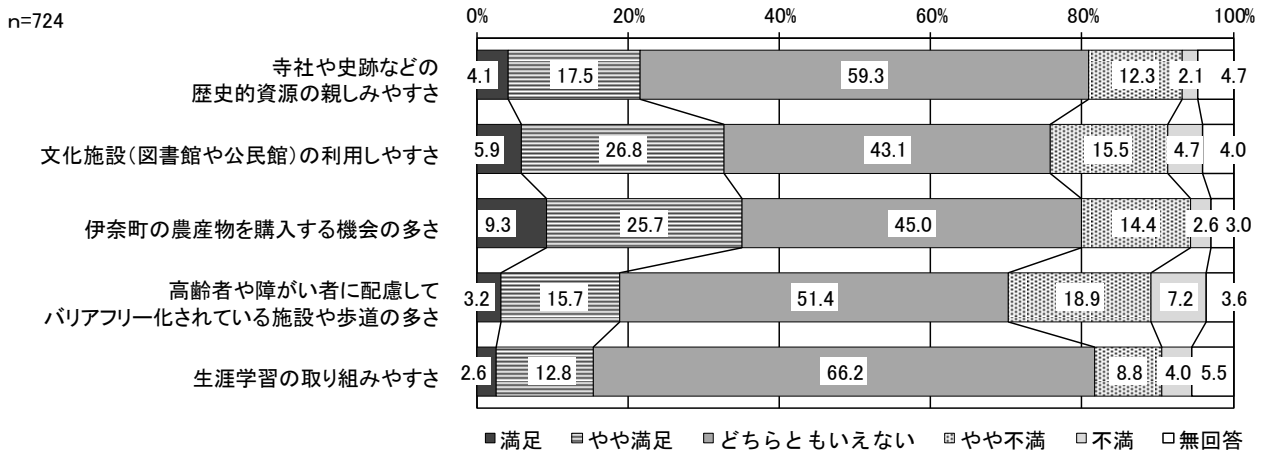
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
商業施設の充実など買い物の便利さ	0.22	0.60	0.31	0.12	0.07	0.35	0.16	0.20	0.49	-0.12	0.14
働く場所の多さ	-0.20	0.00	0.02	-0.19	-0.28	-0.21	-0.25	-0.16	-0.11	-0.25	-0.28
スポーツなどができる大規模な公園の利用しやすさ	0.01	0.67	0.20	0.08	-0.10	0.01	-0.04	-0.06	0.13	-0.12	-0.01
娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ	-0.44	-0.40	-0.53	-0.62	-0.64	-0.36	-0.39	-0.23	-0.41	-0.48	-0.41
イベントなど人や情報が交流する機会の多さ	-0.15	0.32	0.04	-0.20	-0.30	-0.09	-0.19	-0.17	-0.01	-0.26	-0.23

※マーカー部分は、全体の平均評価点を上回っている部分

Ⅲ. 豊かさ

豊かさについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が35.0%と最も多く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が32.7%となっています。

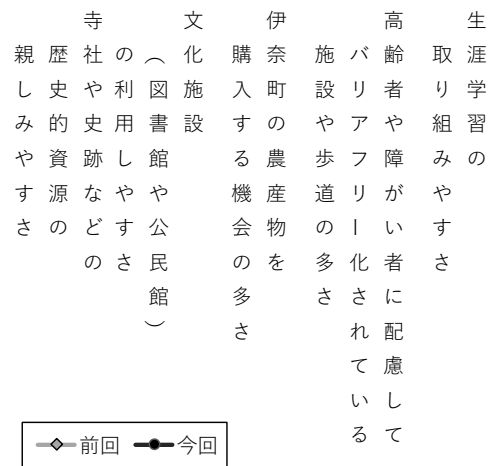
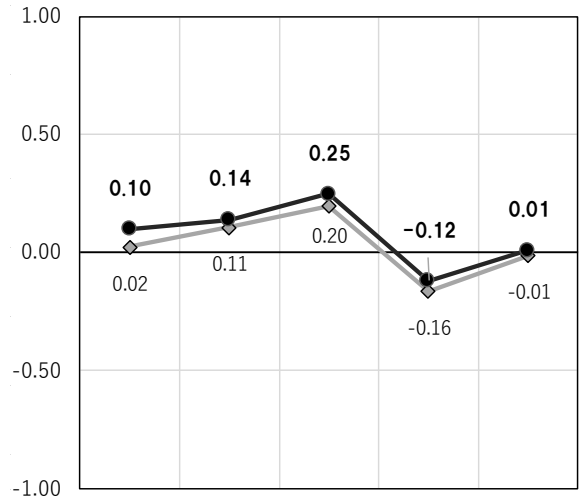
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」が26.1%と多くなっています。



■問 18—Ⅲ×平均評価点の算出／前回との比較

豊かさについての満足度（平均評価点）は、「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が0.25と最も高く、次いで「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が0.14、「寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ」が0.10となっています。

また、前回と比較すると、平均評価点はほぼ横ばいとなりました。すべての項目で平均評価点が上がっています。



■問 18—Ⅲ×年代別、地域別でみる平均評価点

年代別にみると、10歳代、20歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、30歳代、40歳代ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

地域別にみると、北部地区では「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」が、中部地区では「文化施設（図書館や公民館）の利用しやすさ」が、南部地区では「伊奈町の農産物を購入する機会の多さ」が全体の平均評価点を特に上回っています。

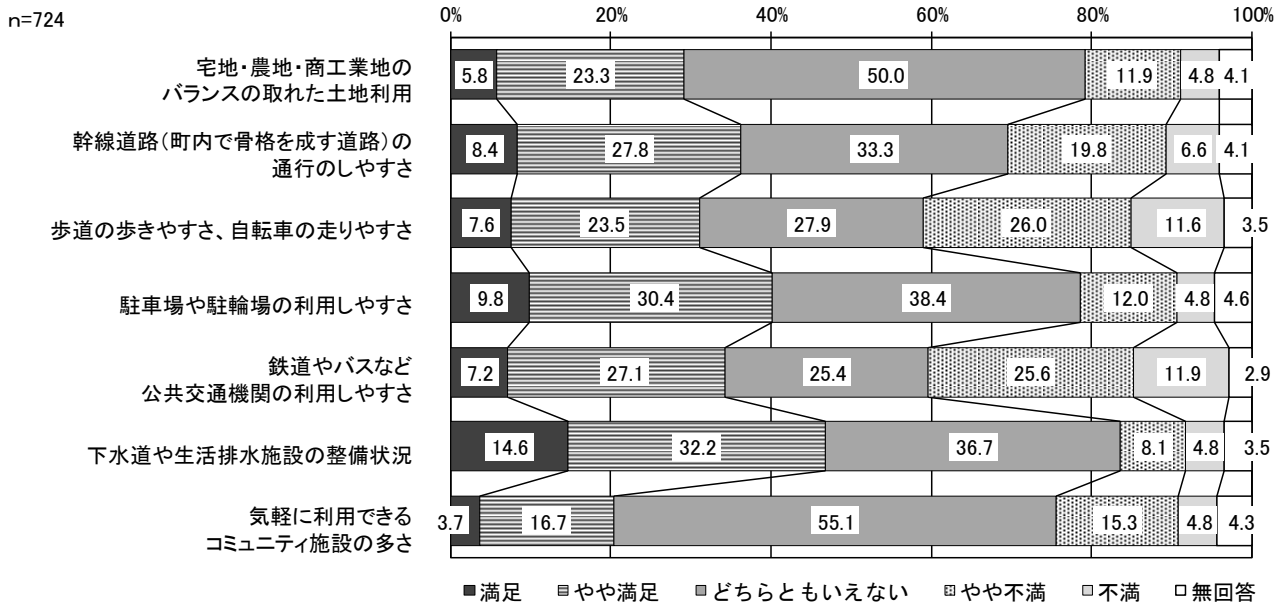
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
寺社や史跡などの歴史的資源の親しみやすさ	0.10	0.44	0.25	0.09	0.05	0.14	-0.01	0.05	0.10	0.09	0.07
文化施設(図書館や公民館)の利用しやすさ	0.14	0.24	0.31	0.13	-0.07	0.16	0.11	0.26	0.11	0.16	0.19
伊奈町の農産物を購入する機会の多さ	0.25	0.44	0.56	0.20	0.04	0.32	0.22	0.27	0.25	0.17	0.38
高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ	-0.12	0.52	0.31	-0.16	-0.14	-0.18	-0.26	-0.17	0.06	-0.29	-0.22
生涯学習の取り組みやすさ	0.01	0.67	0.18	0.01	-0.08	0.00	-0.08	0.00	0.10	-0.08	-0.01

※マーカーは、全体の平均評価点を上回っている部分

IV. 快適さ

快適さについては、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が46.8%と最も多く、次いで「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」が40.2%となっています。

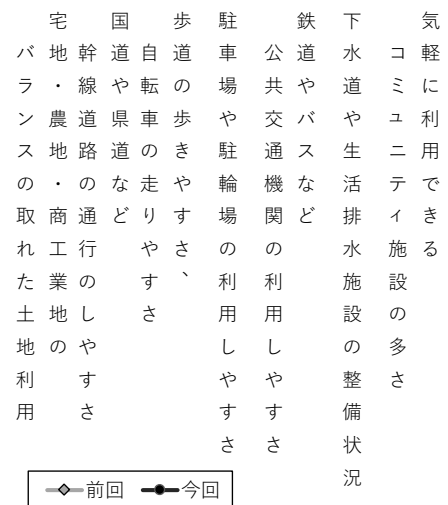
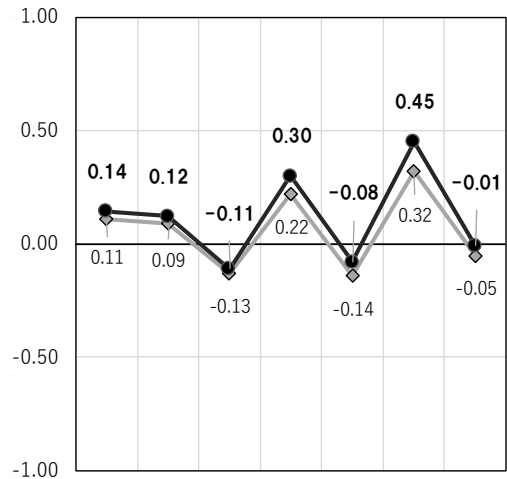
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ」が37.6%と多くなっています。



■問 18—Ⅳ×平均評価点の算出／前回との比較

快適さについての満足度（平均評価点）は、「下水道や生活排水施設の整備状況」が0.45と最も高く、次いで「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」が0.30、「宅地・農地・商工業地のバランスのとれた土地利用」が0.14となっています。

前回と比較すると、平均評価点はほぼ横ばいとなりました。すべての項目で平均評価点が上がっています。



■問 18—Ⅳ×年代別、地域別でみる平均評価点

年代別にみると、若い世代ほど「駐車場や駐輪場の利用しやすさ」の平均評価点が高くなっており、10歳代から40歳代までで全体を上回っています。その他の項目については、全体的に10歳代から50歳代までが全体の平均評価点を上回っている傾向がみられます。

地域別にみると、北部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を上回っている一方、中部地区と南部地区ではすべての項目で全体の平均評価点を下回っています。

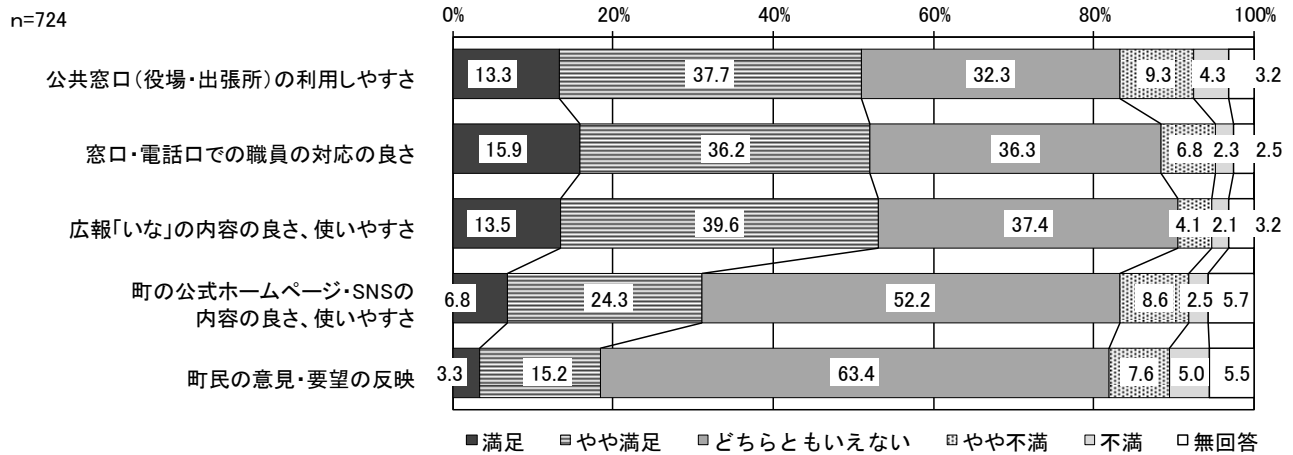
全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
宅地・農地・商工業地のバランスの取れた土地利用	0.14	0.76	0.38	0.10	0.10	0.20	0.06	0.01	0.28	0.04	0.05
国道や県道など幹線道路の通行のしやすさ	0.12	0.60	0.38	0.03	0.15	0.16	-0.17	0.09	0.29	-0.08	0.04
歩道の歩きやすさ、自転車の走りやすさ	-0.11	0.28	0.22	-0.02	-0.02	-0.18	-0.41	-0.14	0.26	-0.43	-0.38
駐車場や駐輪場の利用しやすさ	0.30	0.84	0.56	0.54	0.42	0.30	0.09	-0.01	0.53	0.20	-0.01
鉄道やバスなど公共交通機関の利用しやすさ	-0.08	0.20	-0.04	-0.14	-0.21	-0.20	-0.07	0.12	-0.01	-0.16	-0.11
下水道や生活排水施設の整備状況	0.45	0.92	0.78	0.55	0.53	0.52	0.23	0.22	0.70	0.19	0.32
気軽に利用できるコミュニティ施設の多さ	-0.01	0.48	0.26	-0.08	-0.12	0.06	-0.14	-0.04	0.08	-0.12	-0.04

※マーカーは、全体の平均評価点を上回っている部分

V. 町政について

町政については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、「広報「いな」の内容の良さ、使いやすさ」が53.1%と最も多く、次いで「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が52.1%となっています。

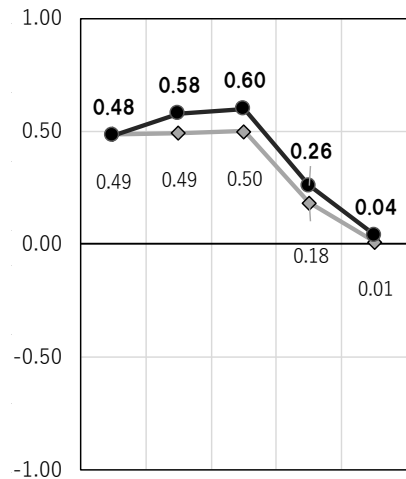
また、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満である』は、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」が13.6%と他と比べて多くなっています。



■問 18—V × 平均評価点の算出／前回との比較

町政についての満足度（平均評価点）は、「広報『いな』の内容の良さ、使いやすさ」が 0.60 と最も高く、次いで「窓口・電話口での職員の対応の良さ」が 0.58、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」0.48 となっています。

また、前回と比較すると、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」については平均評価点が下がりましたが、他の4項目については平均評価点が上がっています。



公 窓 広 町 町
利 共 職 口 内 報 内 の 民
用 窓 員 ・ 容 ー 容 公 の 意
し 口 の 電 の い の 式 の 見
や ー 対 話 良 な さ し ・ 要
す 役 応 口 さ ー さ ー ム 望
さ 場 の で 、 の 、 ム 望
・ 良 の 使 使 べ の 反
出 さ い い し の 映
張 や や し ジ 映
所 す す す の 映
の さ さ さ

◆ 前回 ● 今回

■問 18—V × 年代別、地域別でみる平均評価点

年代別にみると、10歳代と70歳以上では多くの項目で全体の平均評価点を上回っている一方、40歳代では多くの項目で全体の平均評価点を下回っています。

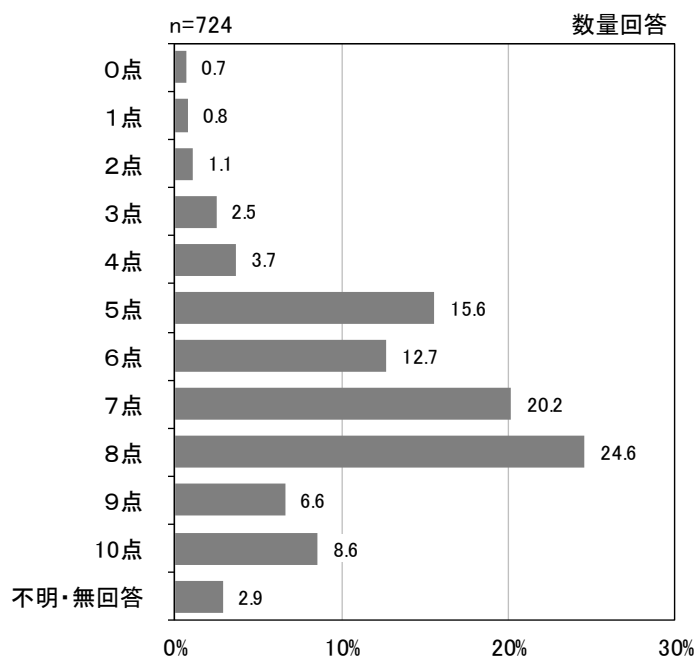
地域別にみると、北部地域では全体の平均評価点を上回っている傾向があり、中部地域と南部地域では平均評価点が低い傾向がみられました。

全体平均との比較(単位:点)	全体	年代別							地域別		
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	北部地区	中部地区	南部地区
公共窓口(役場・出張所)の利用しやすさ	0.48	0.48	0.31	0.53	0.28	0.45	0.54	0.66	0.48	0.46	0.54
窓口・電話口での職員の対応の良さ	0.58	0.56	0.31	0.59	0.51	0.51	0.67	0.76	0.63	0.55	0.52
広報『いな』の内容の良さ、使いやすさ	0.60	0.96	0.60	0.49	0.55	0.72	0.39	0.67	0.72	0.49	0.57
町の公式ホームページの内容の良さ、使いやすさ	0.26	0.56	0.27	0.11	0.34	0.37	0.08	0.21	0.32	0.19	0.22
町民の意見・要望の反映	0.04	0.33	0.20	0.01	-0.05	0.02	0.00	0.12	0.12	-0.01	-0.01

※マーカーは、全体の平均評価点を上回っている部分

問 19 現在、あなたはどのくらい幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸せ」を 0 点とすると、何点くらいになるとお思いますか。(0 点～10 点のうち 1 つに○)

あなたはどのくらい幸せかについては、「8 点」が 24.6%と最も多く、次いで「7 点」が 20.2%、「5 点」が 15.6%となっています。



問 19×年代別

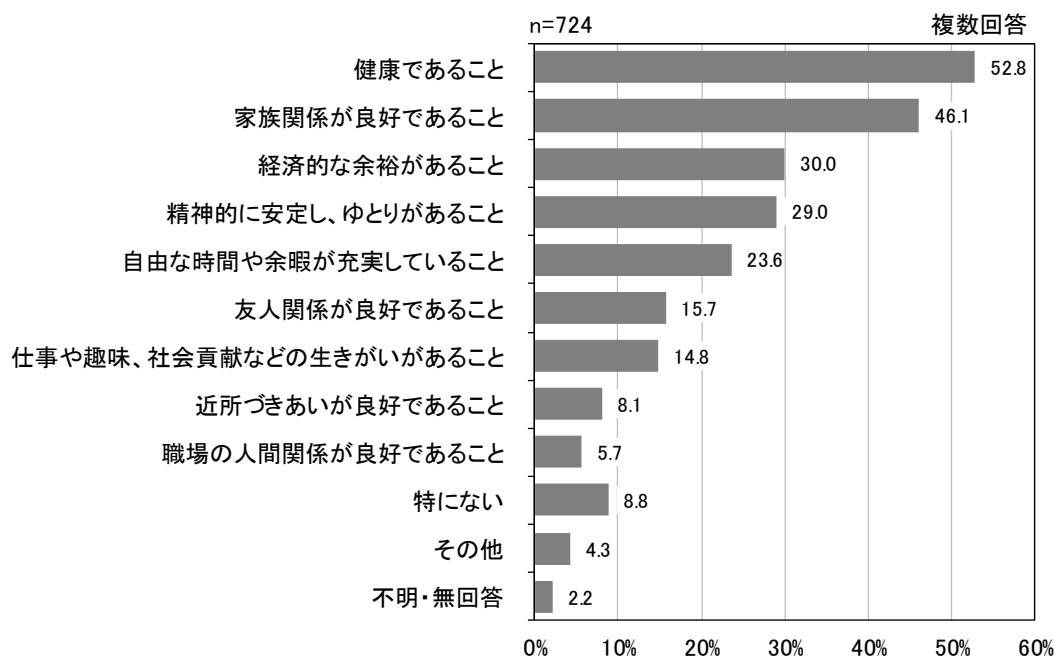
年代別にみると、40 歳代を除いた全年代で「8 点」が最も多くなっていますが、20 歳代、60 歳代では「5 点」、30 歳代では「7 点」が、それぞれ「8 点」と同率になっています。

また、10 歳代から 30 歳代は「10 点」が 10%以上となっている一方、40 歳代以上は 10%未滿となっています。

単位: %		0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	不明・無回答
全体	(n=724)	0.7	0.8	1.1	2.5	3.7	15.6	12.7	20.2	24.6	6.6	8.6	2.9
年代別	10歳代 (n=25)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	12.0	24.0	28.0	4.0	12.0	4.0
	20歳代 (n=55)	0.0	0.0	1.8	7.3	7.3	18.2	12.7	14.5	18.2	5.5	14.5	0.0
	30歳代 (n=86)	0.0	2.3	0.0	4.7	3.5	7.0	9.3	25.6	25.6	7.0	14.0	1.2
	40歳代 (n=126)	1.6	0.8	1.6	0.8	4.0	12.7	20.6	21.4	19.0	8.7	7.1	1.6
	50歳代 (n=158)	1.3	0.0	2.5	2.5	3.8	14.6	10.1	22.8	27.8	4.4	9.5	0.6
	60歳代 (n=87)	0.0	0.0	1.1	1.1	2.3	23.0	17.2	18.4	23.0	9.2	3.4	1.1
	70歳以上 (n=180)	0.6	1.7	0.0	2.2	3.9	17.8	9.4	16.7	27.2	6.7	6.1	7.8

問 20 問 19 において幸せの度数を判断する際に、重視した事項を下記からお選びください。（〇は3つまで）

幸せの度数を判断する際に、重視した事項については、「健康であること」が52.8%と最も多く、次いで「家族関係が良好であること」が46.1%、「経済的な余裕があること」が30.0%となっています。



問 20×年代別

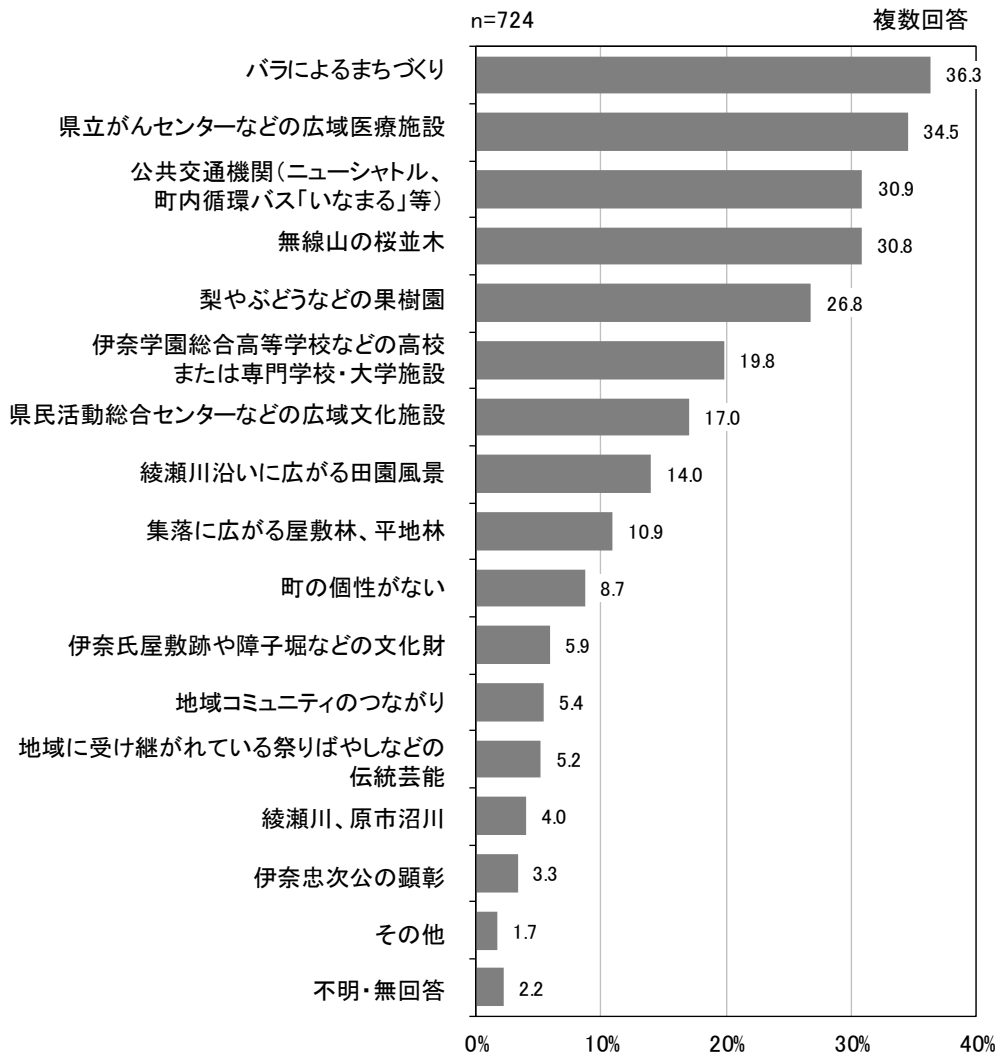
年代別にみると、10歳代と40歳代以上では「健康であること」、20歳代では「精神に安定し、ゆとりがあること」、30歳代では「家族関係が良好であること」が最も多くなっています。また、10歳代では「経済的な余裕があること」、20歳代では「健康であること」「家族関係が良好であること」が他の年代と比べて少なくなっています。

単位：%		健康であること	家族関係が良好であること	経済的な余裕があること	精神的に安定し、ゆとりがあること	自由な時間や余暇が充実していること	友人関係が良好であること	仕事や趣味、社会貢献など生きがいがあること	特になし	近所づきあいが良好であること	職場の人間関係が良好であること	その他	不明・無回答	
全体	(n=724)	52.8	46.1	30.0	29.0	23.6	15.7	14.8	8.8	8.1	5.7	4.3	2.2	
年代別	10歳代	(n=25)	44.0	32.0	16.0	20.0	36.0	16.0	16.0	8.0	0.0	4.0	8.0	4.0
	20歳代	(n=55)	30.9	21.8	29.1	47.3	32.7	27.3	20.0	14.5	0.0	9.1	3.6	0.0
	30歳代	(n=86)	54.7	59.3	43.0	33.7	19.8	16.3	14.0	5.8	3.5	9.3	2.3	0.0
	40歳代	(n=126)	49.2	45.2	34.1	38.1	23.0	7.9	13.5	8.7	4.8	9.5	5.6	0.8
	50歳代	(n=158)	54.4	50.6	29.7	29.1	20.9	13.9	20.9	5.7	9.5	5.1	6.3	0.6
	60歳代	(n=87)	65.5	48.3	28.7	25.3	26.4	9.2	13.8	8.0	3.4	5.7	2.3	2.3
	70歳以上	(n=180)	53.9	44.4	23.9	17.8	23.3	21.7	10.0	12.2	17.2	1.1	3.3	5.6

3. 伊奈町の将来像や今後のまちづくりについて

問 21 あなたは将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性は何だと思いますか。
(〇は3つまで)

将来に向けて生かしていくべき伊奈町の個性については、「バラによるまちづくり」が36.3%と最も多く、次いで「県立がんセンターなどの広域医療施設」が34.5%、「公共交通機関（ニューシャトル、町内循環バス「いなまる」等）」が30.9%となっています。



■問 21×年代別、地域別／前回との比較

年代別にみると、10歳代から50歳代では「バラによるまちづくり」が、60歳代、70歳以上では「県立がんセンターなどの広域医療施設」が最も多くなっています。

年代別に前回と比較すると、すべての年代で、「公共交通機関（ニューシャトル、町内循環バス「いなまる」等）」の割合が減少した一方、「梨やぶどうなどの果樹園」の割合が20歳以上で増加しました。

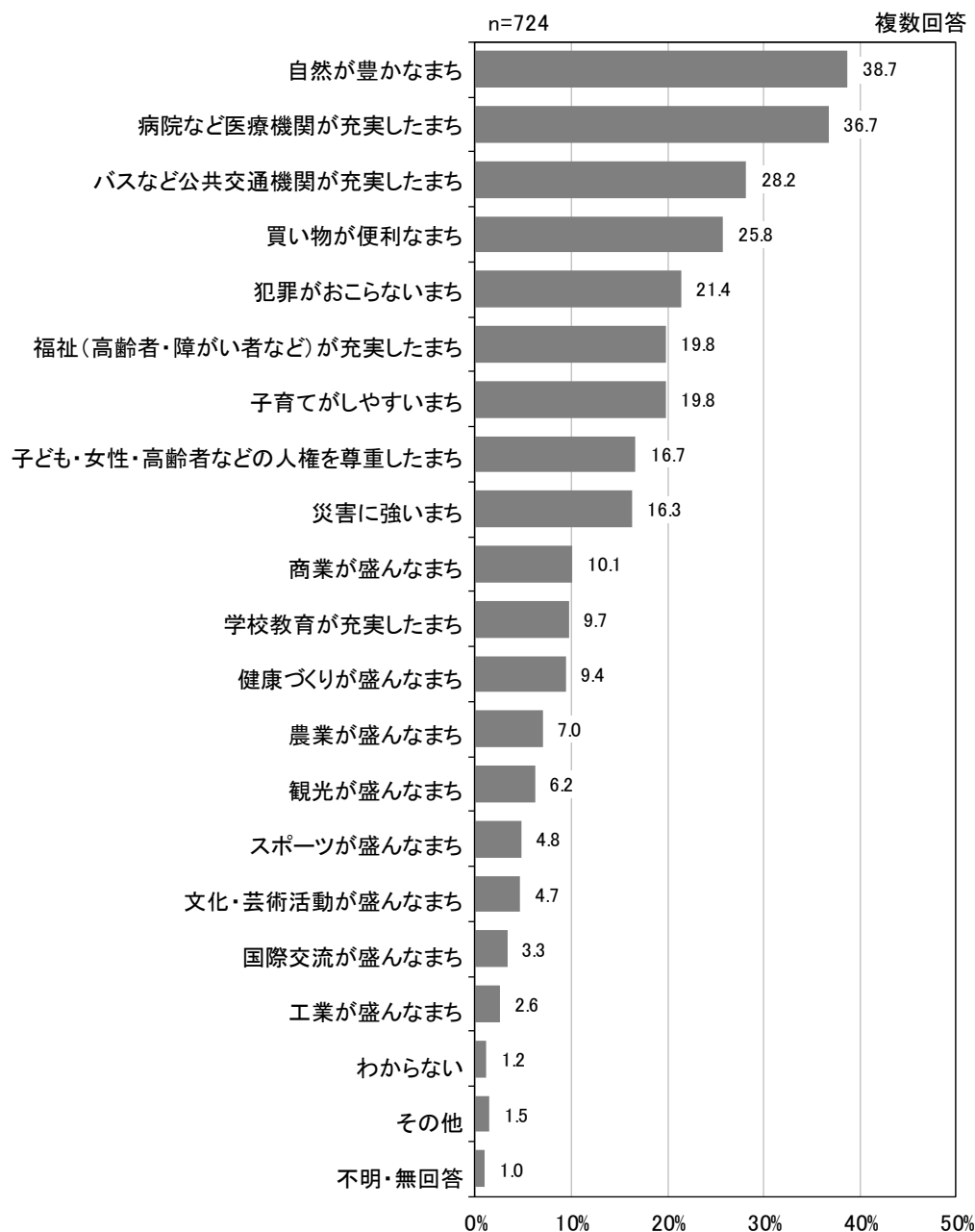
地域別にみると、北部地区は「バラによるまちづくり」、中部地区では「無線山の桜並木」、南部地区では「県立がんセンターなどの広域医療施設」が最も多くなっています。

地域別に前回と比較すると、北部地区では「県民活動総合センターなどの広域文化施設」が10ポイント以上減少しています。

単位：%		バラによるまちづくり	県立がんセンターなどの広域医療施設	公共交通機関（ニューシャトル、町内循環バス「いなまる」等）	無線山の桜並木	梨やぶどうなどの果樹園	伊奈学園総合高等学校などの高校または専門学校・大学施設	県民活動総合センターなどの広域文化施設	綾瀬川沿いに広がる田園風景	集落に広がる屋敷林、平地林	町の個性がない	伊奈氏屋敷跡や障子堀などの文化財	地域コミュニティのつながり	地域の受け継がれている祭りばやしなどの伝統芸能	綾瀬川、原市沼川	伊奈忠次公の顕彰	その他	不明・無回答		
全体	今回(n=724)	36.3	34.5	30.9	30.8	26.8	19.8	17.0	14.0	10.9	8.7	5.9	5.4	5.2	4.0	3.3	1.7	2.2		
	前回(n=724)	40.3	36.3	45.7	28.0	18.8	23.3	23.9	17.4	10.8	12.8	9.8	8.1	6.5	4.8	2.1	1.4			
年代別	10歳代	今回(n=25)	44.0	8.0	16.0	28.0	32.0	24.0	4.0	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0	16.0	0.0	4.0	4.0	4.0	
		前回(n=26)	42.3	26.9	50.0	38.5	26.9	11.5	19.2	3.8	7.7	3.8	3.8	0.0	7.7	3.8	0.0			
	20歳代	今回(n=55)	38.2	16.4	36.4	27.3	32.7	21.8	3.6	10.9	5.5	14.5	7.3	0.0	5.5	3.6	3.6	1.8	3.6	
		前回(n=51)	33.3	27.5	54.9	23.5	25.5	19.6	17.6	13.7	2.0	11.8	11.8	9.8	2.0	3.9	0.0			
	30歳代	今回(n=86)	47.7	23.3	37.2	22.1	38.5	25.6	12.8	9.3	11.6	7.0	7.0	3.5	5.8	2.3	2.3	1.2	0.0	
		前回(n=98)	42.9	42.9	45.9	22.4	33.7	26.5	11.2	7.1	6.1	4.1	11.2	5.1	3.1	3.1	1.0			
	40歳代	今回(n=126)	39.7	35.7	26.2	28.6	31.0	25.4	23.8	8.7	11.9	7.1	4.8	5.6	2.4	1.6	4.0	2.4	0.0	
		前回(n=147)	44.9	32.0	50.3	21.1	26.5	19.7	16.3	11.6	12.9	6.8	5.4	4.1	1.4	1.4	1.4			
	50歳代	今回(n=158)	39.9	38.0	36.7	36.1	28.5	17.7	17.1	12.0	10.1	7.6	4.4	3.8	3.8	1.9	3.8	0.6	0.6	
		前回(n=103)	39.8	24.3	41.7	16.5	28.2	34.0	12.6	13.6	15.5	14.6	7.8	4.9	2.9	4.9	0.0			
	60歳代	今回(n=87)	27.6	34.5	25.3	26.4	25.3	21.8	17.2	19.5	17.2	9.2	10.3	8.0	8.0	6.9	0.0	3.4	2.3	
		前回(n=119)	34.5	37.0	47.1	19.3	16.8	24.4	19.3	10.9	15.1	15.1	9.2	8.4	6.7	0.8	1.7			
	70歳以上	今回(n=180)	28.9	46.1	29.4	35.6	14.4	12.2	18.9	21.7	8.9	10.0	5.0	8.3	5.6	7.8	4.4	1.1	5.0	
		前回(n=177)	41.8	47.5	39.5	11.3	14.7	23.2	23.2	10.7	17.5	9.6	7.9	9.0	9.0	0.6	2.3			
	地域別	北部地区	今回(n=322)	44.1	32.3	36.3	27.3	24.8	24.2	18.3	13.4	8.4	7.1	5.6	4.3	3.4	1.9	3.7	2.2	1.9
			前回(n=342)	45.9	31.9	50.6	19.6	25.1	28.7	14.6	8.8	12.6	8.8	7.0	5.8	3.2	2.0	1.2		
		中部地区	今回(n=210)	29.5	34.3	31.0	35.7	29.0	18.6	15.2	12.4	14.8	10.0	5.2	5.7	7.1	4.3	2.9	1.4	2.4
			前回(n=210)	32.4	37.6	53.8	17.6	23.8	20.5	16.7	15.7	13.8	10.5	6.7	6.2	2.9	1.9	1.4		
南部地区		今回(n=169)	31.4	40.8	20.7	31.4	28.4	13.0	17.2	16.6	11.8	9.5	6.5	7.1	5.9	7.7	3.0	1.2	1.2	
		前回(n=164)	39.0	42.7	26.2	18.9	19.5	17.7	24.4	9.1	12.8	11.6	12.2	8.5	10.4	2.4	1.2			

問 22 今後、伊奈町には、どのようなまちになってほしいですか。(〇は3つまで)

伊奈町には、どのようなまちになってほしいかについては、「自然が豊かなまち」が38.7%と最も多く、次いで「病院など医療機関が充実したまち」が36.7%、「バスなど公共交通機関が充実したまち」が28.2%となっています。



■問 22×年代別／前回との比較

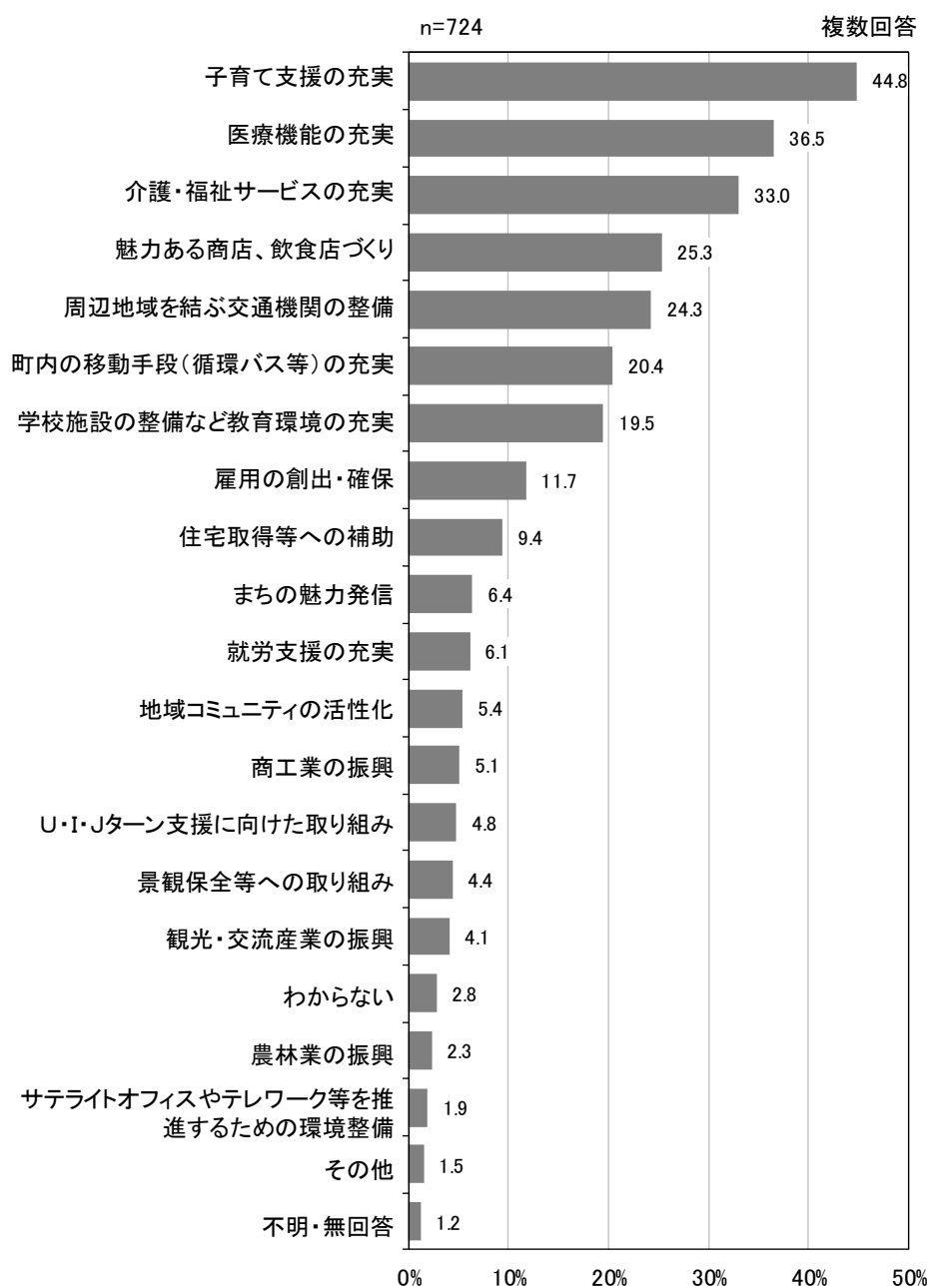
年代別にみると、10歳代では「自然が豊かなまち」、20歳代、30歳代では「子育てがしやすいまち」、40歳代から50歳代では「病院など医療機関が充実したまち」、60歳代、70歳以上では「自然が豊かなまち」が最も多くなっています。

前回と比較すると、10歳代では「自然が豊かなまち」「学校教育が充実したまち」が10ポイント以上増加し、20歳代では「子育てがしやすいまち」が20ポイント以上増加しています。

単位：%		自然が豊かなまち	病院など医療機関が充実したまち	バスなど公共交通機関が充実したまち	買い物しやすいまち	犯罪がおこらないまち	福祉（高齢者・障がい者など）が充実したまち	子育てしやすいまち	子ども・女性・高齢者などの人権を尊重したまち	災害に強いまち	商業が盛んなまち	学校教育が充実したまち	
全体	今回(n=724)	38.7	36.7	28.2	25.8	21.4	19.8	19.8	16.7	16.3	10.1	9.7	
	前回(n=724)	31.2	37.2	32.0	26.0	30.1	25.6	20.6	17.7	20.6	4.8	11.3	
年代別	10歳代	今回(n=25)	48.0	20.0	24.0	32.0	12.0	4.0	20.0	8.0	8.0	0.0	20.0
		前回(n=26)	30.8	26.9	42.3	50.0	26.9	3.8	26.9	30.8	11.5	11.5	3.8
	20歳代	今回(n=55)	30.9	20.0	32.7	29.1	10.9	5.5	43.6	21.8	7.3	18.2	5.5
		前回(n=51)	33.3	25.5	29.4	29.4	27.5	15.7	23.5	11.8	21.6	7.8	11.8
	30歳代	今回(n=86)	34.9	23.3	18.6	27.9	27.9	8.1	47.7	23.3	12.8	11.6	16.3
		前回(n=98)	23.5	23.5	39.8	20.4	30.6	13.3	45.9	13.3	19.4	5.1	19.4
	40歳代	今回(n=126)	31.7	36.5	31.7	29.4	23.8	11.9	22.2	11.9	17.5	16.7	11.9
		前回(n=147)	22.4	42.2	34.0	32.7	37.4	15.6	27.9	11.6	20.4	4.8	15.6
	50歳代	今回(n=158)	39.9	44.3	28.5	27.2	20.3	20.3	13.9	14.6	17.7	10.8	7.0
		前回(n=103)	33.0	38.8	24.3	20.4	32.0	35.0	20.4	15.5	25.2	4.9	12.6
	60歳代	今回(n=87)	44.8	43.7	20.7	17.2	23.0	26.4	10.3	12.6	19.5	9.2	12.6
		前回(n=119)	33.6	43.7	29.4	20.2	27.7	36.1	10.9	18.5	30.3	4.2	5.9
	70歳以上	今回(n=180)	42.2	41.1	32.8	23.9	22.2	32.8	7.8	20.6	17.8	3.9	5.6
		前回(n=177)	40.1	40.1	32.2	25.4	26.0	34.5	5.6	25.4	13.6	3.4	6.2
単位：%		健康づくりが盛んなまち	農業が盛んなまち	観光が盛んなまち	スポーツが盛んなまち	文化・芸術活動が盛んなまち	国際交流が盛んなまち	工業が盛んなまち	わからない	その他	不明・無回答		
全体	今回(n=724)	9.4	7.0	6.2	4.8	4.7	3.3	2.6	1.2	1.5	1.0		
	前回(n=724)	10.4	4.7	3.0	5.8	3.9	2.6	1.0	1.0	1.4	0.7		
年代別	10歳代	今回(n=25)	8.0	12.0	16.0	0.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	
		前回(n=26)	3.8	0.0	11.5	7.7	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	1.8	10.9	10.9	5.5	5.5	0.0	3.6	1.8	1.8	1.8	
		前回(n=51)	5.9	9.8	7.8	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	4.7	7.0	10.5	3.5	0.0	2.3	4.7	0.0	2.3	0.0	
		前回(n=98)	6.1	3.1	3.1	6.1	5.1	2.0	0.0	0.0	2.0	1.0	
	40歳代	今回(n=126)	6.3	6.3	2.4	7.1	4.0	4.8	3.2	0.8	2.4	0.0	
		前回(n=147)	6.8	3.4	3.4	7.5	3.4	2.7	0.0	0.0	1.4	0.0	
	50歳代	今回(n=158)	13.9	8.2	7.0	3.2	5.7	2.5	0.6	0.6	0.6	0.6	
		前回(n=103)	8.7	6.8	1.9	6.8	4.9	1.0	1.9	3.9	1.0	0.0	
	60歳代	今回(n=87)	8.0	3.4	8.0	8.0	9.2	4.6	1.1	0.0	2.3	0.0	
		前回(n=119)	13.4	5.0	3.4	3.4	4.2	2.5	0.8	0.0	0.8	0.8	
	70歳以上	今回(n=180)	13.3	6.1	2.8	4.4	4.4	2.8	3.9	2.8	1.1	1.7	
		前回(n=177)	16.9	4.5	0.6	5.1	4.0	2.3	2.3	0.0	2.3	1.1	

問 23 今後、伊奈町への定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取り組みにどのようなものがありますか。(〇は3つまで)

今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取り組みについては、「子育て支援の充実」が44.8%と最も多く、次いで「医療機能の充実」が36.5%、「介護・福祉サービスの充実」が33.0%となっています。



■問 23×年代別

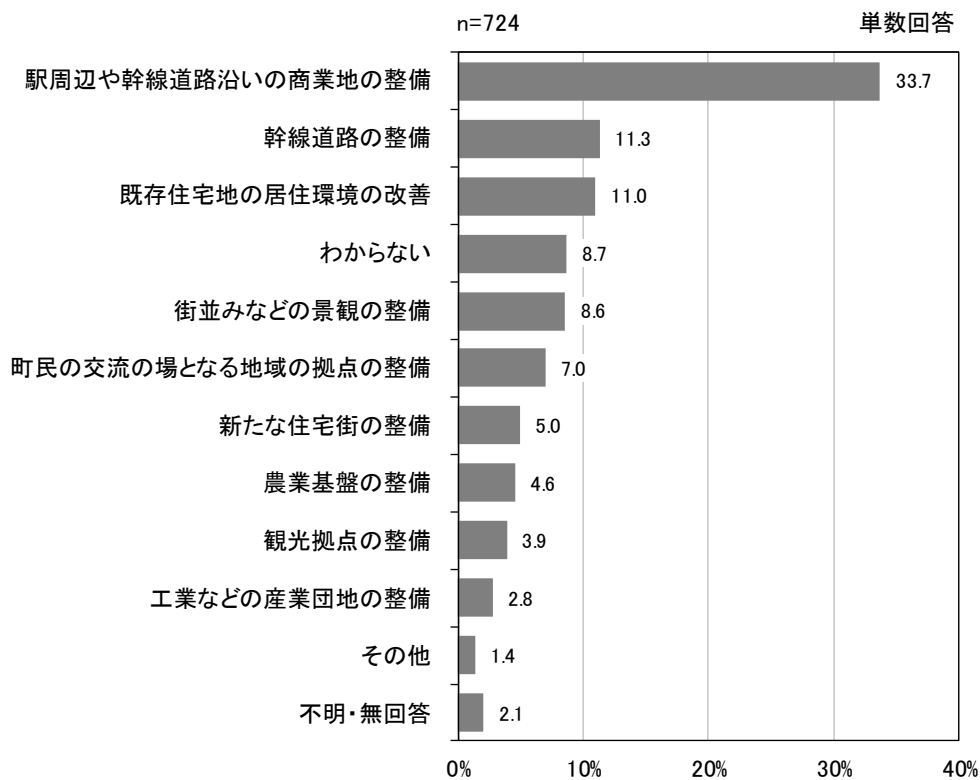
年代別にみると、10歳代から40歳代、60歳代では「子育て支援の充実」、50歳代では「医療機能の充実」、70歳以上では「介護・福祉サービスの充実」が最も多くなっています。また、70歳以上では「介護・福祉サービスの充実」が他の年代と比べて特に多くなっています。

単位：%		子育て支援の充実	医療機能の充実	介護・福祉サービスの充実	魅力ある商店、飲食店づくり	周辺地域を結ぶ交通機関の整備	町内の移動手段（循環バス等）の充実	学校施設の整備など教育環境の充実	雇用の創出・確保	住宅取得等への補助	まちの魅力発信	就労支援の充実	
全体	(n=724)	44.8	36.5	33.0	25.3	24.3	20.4	19.5	11.7	9.4	6.4	6.1	
年代別	10歳代	(n=25)	40.0	32.0	24.0	16.0	12.0	16.0	12.0	0.0	4.0	12.0	
	20歳代	(n=55)	56.4	30.9	12.7	30.9	27.3	12.7	27.3	5.5	18.2	1.8	5.5
	30歳代	(n=86)	69.8	31.4	17.4	33.7	24.4	10.5	34.9	5.8	12.8	5.8	4.7
	40歳代	(n=126)	49.2	38.9	23.8	26.2	27.0	21.4	25.4	14.3	9.5	4.8	7.1
	50歳代	(n=158)	39.9	45.6	35.4	21.5	28.5	22.8	16.5	12.0	10.8	5.7	8.9
	60歳代	(n=87)	36.8	33.3	35.6	26.4	23.0	10.3	13.8	19.5	8.0	10.3	6.9
	70歳以上	(n=180)	36.1	32.8	51.1	22.8	19.4	29.4	11.1	11.1	6.1	7.8	2.8
単位：%		地域コミュニティの活性化	商工業の振興	U・I・Jターン支援に向けた取り組み	景観保全等への取り組み	観光・交流産業の振興	わからない	農林業の振興	サテライトオフィスの環境整備	その他	不明・無回答		
全体	(n=724)	5.4	5.1	4.8	4.4	4.1	2.8	2.3	1.9	1.5	1.2		
年代別	10歳代	(n=25)	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	16.0	4.0	0.0	0.0	4.0	
	20歳代	(n=55)	1.8	12.7	3.6	3.6	9.1	1.8	3.6	1.8	7.3	1.8	
	30歳代	(n=86)	7.0	5.8	3.5	3.5	4.7	1.2	4.7	4.7	1.2	0.0	
	40歳代	(n=126)	2.4	4.0	4.8	2.4	4.0	1.6	1.6	3.2	1.6	0.0	
	50歳代	(n=158)	3.2	3.8	5.1	3.8	3.8	1.3	2.5	2.5	0.6	0.6	
	60歳代	(n=87)	10.3	4.6	4.6	6.9	4.6	1.1	3.4	1.1	3.4	0.0	
	70歳以上	(n=180)	8.3	5.0	6.1	6.1	2.8	5.0	0.6	0.0	0.0	2.8	

問 24 伊奈町のこれからのまちづくりの中で何を重点的に整備していくことが望まれますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 町の発展基盤の整備

町の発展基盤の整備については、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が33.7%と最も多く、次いで「幹線道路の整備」が11.3%、「既存住宅地の居住環境の改善」が11.0%となっています。



■問 24 (1) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別でみると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別にみると、すべての年代で「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が最も多くなっています。

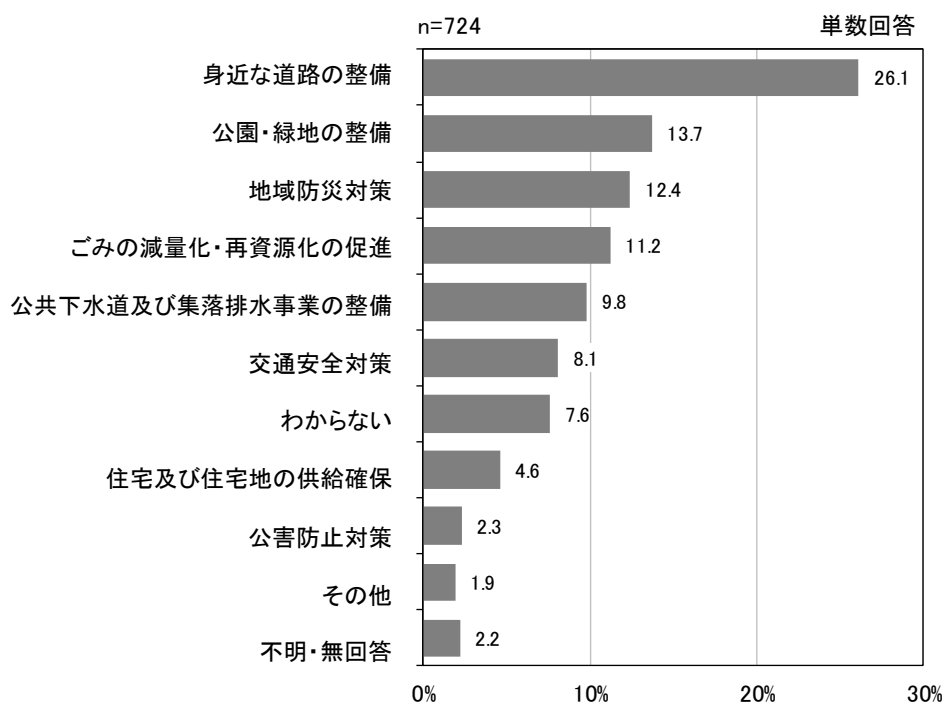
地域別にみると、北部地区と中部地区は概ね同様の傾向となっていますが、「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」が、南部地区に比べて多くなっています。

前回と比較すると、10歳代と40歳代では「駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備」、70歳以上では「既存住宅地の居住環境の改善」が10ポイント以上減少しています。また、10歳代では「幹線道路の整備」が10ポイント以上増加しています。

単位：%		駅周辺や幹線道路沿いの商業地の整備	幹線道路の整備	既存住宅地の居住環境の改善	わからない	街並みなどの景観の整備	拠点の整備	町民の交流の場となる地域の新たな住宅街の整備	農業基盤の整備	観光拠点の整備	工業などの産業団地の整備	その他	不明・無回答		
全体	今回(n=724)	33.7	11.3	11.0	8.7	8.6	7.0	5.0	4.6	3.9	2.8	1.4	2.1		
	前回(n=724)	33.1	14.2	13.1		7.9	8.8	4.7	2.8	5.9	3.2	3.6	2.6		
性別	男性	今回(n=342)	33.9	12.9	10.8	5.8	8.8	6.7	5.8	5.0	4.4	2.6	1.8	1.5	
		前回(n=330)	31.5	14.5	14.2		7.9	6.7	6.4	2.1	6.4	3.9	3.6	2.7	
	女性	今回(n=371)	33.4	10.0	11.6	11.3	8.4	7.5	4.0	4.3	3.2	3.0	0.8	2.4	
		前回(n=390)	34.6	14.1	12.3		7.7	10.8	3.1	3.3	5.6	2.6	3.6	2.3	
年代別	10歳代	今回(n=25)	24.0	24.0	4.0	20.0	12.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	
		前回(n=26)	50.0	7.7	11.5		7.7	0.0	0.0	3.8	11.5	0.0	7.7	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	34.5	9.1	14.5	12.7	5.5	3.6	5.5	3.6	5.5	1.8	1.8	1.8	
		前回(n=51)	43.1	9.8	7.8		2.0	3.9	7.8	2.0	11.8	3.9	7.8	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	46.5	9.3	10.5	3.5	9.3	4.7	4.7	5.8	4.7	0.0	1.2	0.0	
		前回(n=98)	39.8	16.3	13.3		8.2	7.1	2.0	0.0	7.1	0.0	4.1	2.0	
	40歳代	今回(n=126)	34.9	9.5	14.3	6.3	7.9	4.8	4.8	6.3	5.6	2.4	2.4	0.8	
		前回(n=147)	46.9	12.2	6.8		11.6	6.8	1.4	3.4	5.4	1.4	2.7	1.4	
	50歳代	今回(n=158)	41.1	12.0	12.7	7.6	7.6	5.7	4.4	3.8	2.5	1.3	0.6	0.6	
		前回(n=103)	35.9	16.5	12.6		7.8	6.8	2.9	2.9	4.9	1.0	7.8	1.0	
	60歳代	今回(n=87)	27.6	14.9	10.3	5.7	9.2	5.7	5.7	5.7	6.9	6.9	1.1	0.0	
		前回(n=119)	21.8	16.0	15.1		11.8	8.4	5.9	5.0	4.2	5.9	1.7	4.2	
	70歳以上	今回(n=180)	24.4	9.4	8.3	12.2	9.4	13.9	5.6	3.3	1.7	4.4	1.7	5.6	
		前回(n=177)	18.6	14.7	18.6		4.0	15.8	9.0	2.3	5.1	6.2	1.1	4.5	
	地域別	北部地区	今回(n=322)	40.1	9.9	9.0	9.0	6.2	7.5	4.0	4.0	5.0	3.1	1.2	0.9
			前回(n=342)	38.6	14.6	11.7		6.4	7.9	3.5	3.5	5.8	2.9	2.6	2.3
中部地区		今回(n=210)	32.4	11.0	12.4	7.1	10.5	4.8	5.7	4.3	4.3	3.8	0.5	3.3	
		前回(n=210)	31.9	16.2	13.8		10.0	7.6	4.8	2.4	2.9	2.4	4.8	3.3	
南部地区		今回(n=169)	24.3	14.2	14.2	8.3	10.7	8.9	6.5	5.9	1.8	1.2	2.4	1.8	
		前回(n=164)	22.6	11.6	15.9		7.9	12.8	6.7	1.8	9.8	4.9	4.3	1.8	

(2) 生活環境の整備

生活環境の整備については、「身近な道路の整備」が26.1%と最も多く、次いで「公園・緑地の整備」が13.7%、「地域防災対策」が12.4%となっています。



■問 24 (2) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別で見ると、男女ともに「身近な道路の整備」が最も多く、次いで「公園・緑地の整備」となっています。

年代別にみると、30 歳代では「公園・緑地の整備」、その他の年代では「身近な道路の整備」が最も多くなっています。

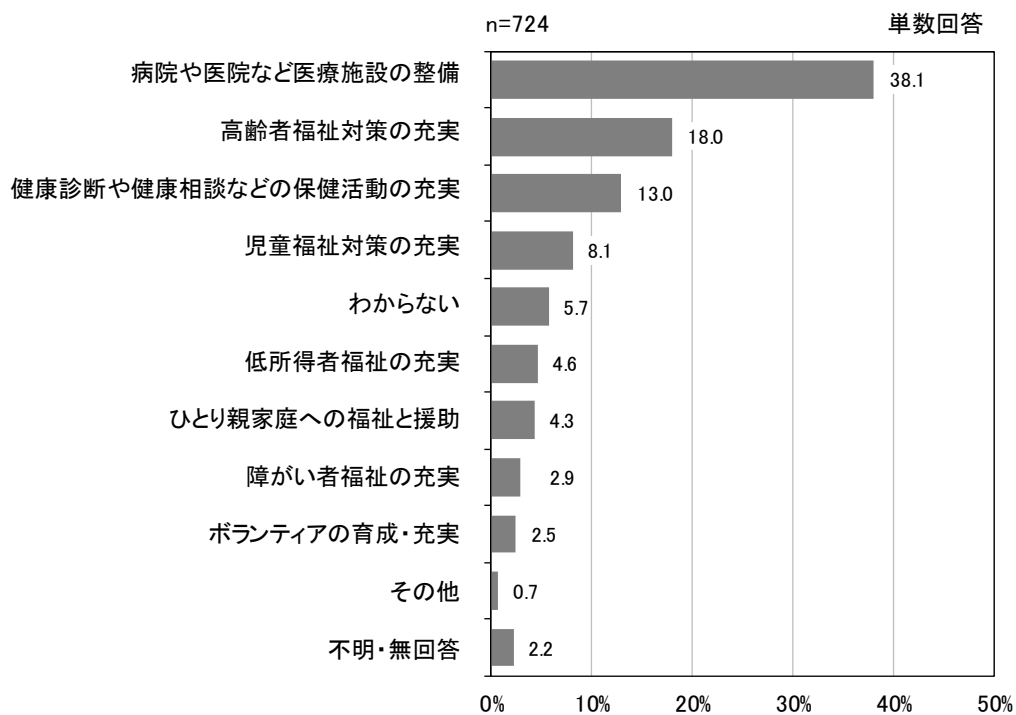
地域別にみると、中部地区で「公共下水道及び集落排水事業の整備」が他の地域に比べ多くなっています。

前回と比較すると、10 歳代と 50 歳代では「身近な道路の整備」、20 歳代では「交通安全対策」が大きく増加し、10 歳代では「地域防災対策」、40 歳代では「公園・緑地の整備」が大きく減少しています。その他の区分では、10 ポイント以上の増減はありませんでした。

単位：%		身近な道路の整備	公園・緑地の整備	地域防災対策	促進の減量化・再資源化の	公共下水道及び集落排水事業の整備	交通安全対策	わからない	住宅及び住宅地の供給確保	公害防止対策	その他	不明・無回答		
全体	今回(n=724)	26.1	13.7	12.4	11.2	9.8	8.1	7.6	4.6	2.3	1.9	2.2		
	前回(n=724)	22.8	15.7	15.5	9.3	12.6	9.7		6.4	2.3	2.5	3.3		
性別	男性	今回(n=342)	27.8	12.6	9.9	12.0	11.1	8.8	4.7	6.1	2.3	2.3	2.3	
		前回(n=330)	21.2	15.5	14.8	8.2	14.2	10.3		8.2	0.6	3.3	3.6	
	女性	今回(n=371)	24.8	14.8	14.8	10.8	8.6	7.5	10.2	2.7	2.4	1.3	1.9	
		前回(n=390)	23.8	15.9	16.2	10.3	11.3	9.2		4.9	3.8	1.8	2.8	
年代別	10歳代	今回(n=25)	36.0	16.0	8.0	4.0	0.0	12.0	20.0	0.0	0.0	0.0	4.0	
		前回(n=26)	15.4	23.1	19.2	11.5	3.8	15.4		3.8	7.7	0.0	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	30.9	16.4	5.5	5.5	3.6	18.2	12.7	3.6	1.8	0.0	1.8	
		前回(n=51)	35.3	19.6	11.8	9.8	2.0	7.8		9.8	2.0	2.0	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	24.4	25.6	11.6	12.8	3.5	12.8	3.5	3.5	1.2	1.2	0.0	
		前回(n=98)	20.4	26.5	12.2	8.2	9.2	9.2		8.2	2.0	1.0	3.1	
	40歳代	今回(n=126)	28.6	11.1	11.1	10.3	7.9	8.7	7.9	4.8	4.8	4.0	0.8	
		前回(n=147)	25.2	23.1	10.2	4.8	6.8	16.3		4.1	2.7	4.1	2.7	
	50歳代	今回(n=158)	26.6	10.1	15.8	9.5	9.5	7.0	8.2	7.6	1.3	3.8	0.6	
		前回(n=103)	14.6	14.6	23.3	8.7	18.4	6.8		4.9	1.9	5.8	1.0	
	60歳代	今回(n=87)	34.5	14.9	12.6	11.5	12.6	3.4	4.6	3.4	2.3	0.0	0.0	
		前回(n=119)	26.9	5.0	16.8	10.1	19.3	6.7		5.9	2.5	1.7	5.0	
	70歳以上	今回(n=180)	18.3	10.6	13.3	15.6	16.1	5.6	6.7	3.9	2.8	1.1	6.1	
		前回(n=177)	21.5	9.0	16.9	13.0	15.8	7.9		7.9	1.7	1.1	5.1	
	地域別	北部地区	今回(n=322)	24.8	12.1	14.6	13.0	5.9	9.3	9.0	5.6	2.5	1.2	1.9
			前回(n=342)	19.3	19.3	16.4	9.4	11.4	11.1		4.7	2.3	2.6	3.5
中部地区		今回(n=210)	29.5	13.3	8.6	8.6	16.7	8.1	6.7	3.3	0.5	2.9	1.9	
		前回(n=210)	26.7	12.9	10.5	9.0	14.3	11.0		8.6	1.9	1.9	3.3	
南部地区		今回(n=169)	25.4	18.3	12.4	12.4	9.5	5.3	4.7	4.7	3.6	4.7	1.8	
		前回(n=164)	24.4	12.2	20.7	9.1	13.4	5.5		6.7	2.4	3.0	2.4	

(3) 福祉と健康の増進

福祉と健康の増進については、「病院や医院など医療施設の整備」が38.1%と最も多く、次いで「高齢者福祉対策の充実」が18.0%、「健康診断や健康相談などの保健活動の充実」が13.0%となっています。



■問 24 (3) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別にみると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別にみると、60歳代では「高齢者福祉対策の充実」、その他の年代では「病院や医院など医療施設の整備」が最も多くなっています。

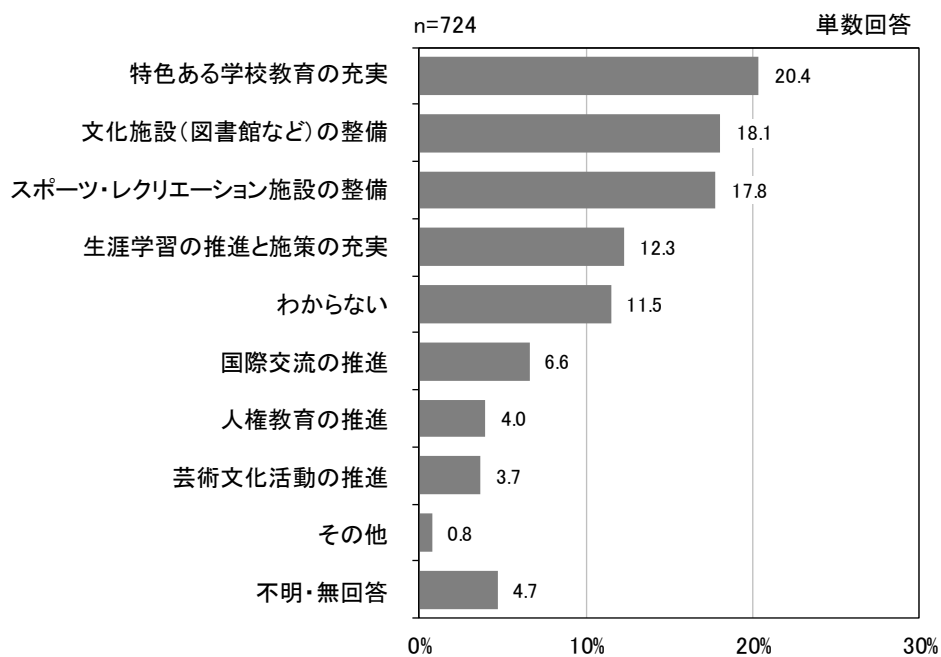
地域別にみると、北部地区では「病院や医院など医療施設の整備」が他の地区と比べて多くなっています。

前回と比較すると、20歳代では「病院や医院など医療施設の整備」「ひとり親家庭への福祉と援助」が大きく増加しています。また、10歳代では「高齢者福祉対策の充実」「障がい者福祉の充実」、20歳代と中部地区では「健康診断や健康相談などの保健活動の充実」、30歳代では「高齢者福祉対策の充実」が大きく減少しています。

単位：%		設 病 院 の 整 備	高 齢 者 福 祉 対 策 の 充 実	ど 健 康 診 断 や 健 康 相 談 な い	健 童 福 祉 対 策 の 充 実	わ か ら な い	低 所 得 者 福 祉 の 充 実	ひ と り 親 家 庭 へ の 福 祉 と 援 助	障 が い 者 福 祉 の 充 実	充 実 ポ ラ ン テ ィ ア の 育 成 ・	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	
全体	今回(n=724)	38.1	18.0	13.0	8.1	5.7	4.6	4.3	2.9	2.5	0.7	2.2	
	前回(n=724)	36.6	21.7	17.0	6.2	5.1	2.3	3.7	3.7	3.7	1.0	2.6	
性別	男性	今回(n=342)	38.3	19.9	11.4	8.2	5.8	5.0	4.7	2.0	2.3	0.3	2.0
		前回(n=330)	35.2	21.5	18.5	6.4	5.8	2.1	2.7	3.9	1.8	2.1	
	女性	今回(n=371)	37.7	16.7	14.6	8.1	5.4	4.0	4.0	3.8	2.7	0.8	2.2
		前回(n=390)	37.9	21.8	15.6	6.2	4.6	2.6	4.6	3.6	0.3	2.8	
年代別	10歳代	今回(n=25)	28.0	4.0	12.0	8.0	16.0	4.0	16.0	0.0	8.0	0.0	4.0
		前回(n=26)	23.1	15.4	19.2	7.7	3.8	11.5	15.4	3.8	0.0	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	38.2	1.8	9.1	10.9	10.9	9.1	12.7	3.6	1.8	0.0	1.8
		前回(n=51)	25.5	7.8	27.5	13.7	7.8	2.0	7.8	5.9	2.0	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	45.3	3.5	12.8	16.3	9.3	4.7	4.7	1.2	1.2	1.2	0.0
		前回(n=98)	39.8	16.3	18.4	10.2	4.1	2.0	4.1	2.0	0.0	3.1	
	40歳代	今回(n=126)	46.8	11.1	19.8	9.5	2.4	1.6	1.6	4.0	0.8	1.6	0.8
		前回(n=147)	56.5	13.6	15.0	6.8	2.0	2.7	2.0	1.4	0.0	0.0	
	50歳代	今回(n=158)	44.9	20.3	9.5	7.0	1.9	5.1	3.8	3.2	3.2	0.6	0.6
		前回(n=103)	40.8	22.3	10.7	5.8	5.8	0.0	5.8	5.8	2.9	0.0	
	60歳代	今回(n=87)	27.6	29.9	12.6	5.7	5.7	4.6	4.6	4.6	3.4	0.0	1.1
		前回(n=119)	35.3	25.2	19.3	2.5	6.7	3.4	1.7	2.5	0.0	3.4	
	70歳以上	今回(n=180)	29.4	28.9	12.8	5.0	6.1	4.4	2.2	2.2	2.8	0.6	5.6
		前回(n=177)	22.0	33.9	16.4	4.0	6.2	1.7	2.3	5.6	1.7	6.2	
地域別	北部地区	今回(n=322)	42.5	16.1	14.0	9.3	4.0	2.5	4.0	3.7	1.9	0.3	1.6
		前回(n=342)	39.8	20.8	14.6	7.3	5.8	2.9	4.4	2.0	0.3	2.0	
	中部地区	今回(n=210)	35.7	21.4	9.0	6.2	8.6	6.2	4.3	2.9	2.9	0.5	2.4
		前回(n=210)	38.1	18.6	19.0	6.7	4.3	1.4	3.3	4.3	1.9	2.4	
	南部地区	今回(n=169)	33.1	18.9	15.4	8.9	4.1	6.5	4.7	1.8	3.6	0.6	2.4
		前回(n=164)	28.7	27.4	20.1	3.0	4.9	1.8	2.4	6.7	1.2	3.7	

(4) 教育・文化の向上

教育・文化の向上については、「特色ある学校教育の充実」が20.4%と最も多く、次いで「文化施設（図書館など）の整備」が18.1%、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が17.8%となっています。



■問 24（４）×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別で見ると、男性では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、女性では「特色ある学校教育の充実」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代では「わからない」、40歳代では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、50歳代では「文化施設（図書館など）の整備」、60歳代では「生涯学習の推進と施策の充実」、その他の年代では「特色ある学校教育の充実」が最も多くなっています。

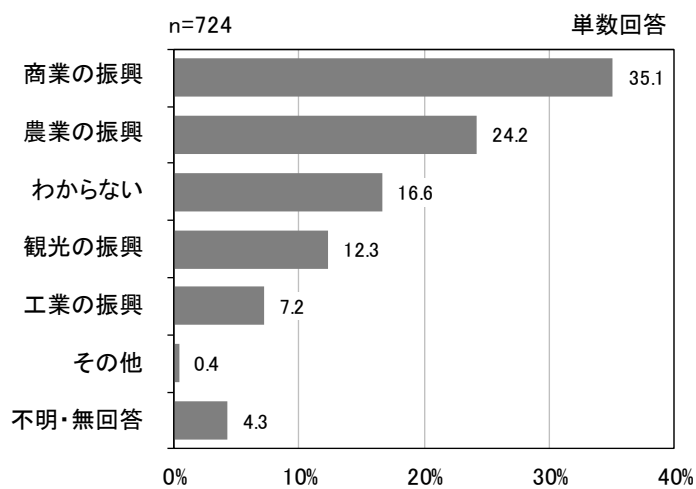
地域別にみると、北部地区では「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、中部地区と南部地区では「特色ある学校教育の充実」が最も多くなっています。

性別、年代別、地域別に前回と比較すると、10歳代では「特色ある学校教育の充実」が大きく増加しています。また、20歳代では「特色ある学校教育の充実」「文化施設（図書館など）の整備」、70歳以上では「生涯学習の推進と施策の充実」が大きく減少しています。

単位：%		特色ある学校教育の充実	文化施設（図書館など）の整備	スポーツ・レクリエーション施設の整備	生涯学習の推進と施策の充実	わからない	国際交流の推進	人権教育の推進	芸術文化活動の推進	その他	不明・無回答		
全体	今回(n=724)	20.4	18.1	17.8	12.3	11.5	6.6	4.0	3.7	0.8	4.7		
	前回(n=724)	20.7	21.1	18.4	18.5	11.5	5.9	3.9	5.5	1.2	4.7		
性別	男性	今回(n=342)	20.2	17.0	20.8	11.7	9.6	8.5	3.8	3.2	1.2	4.1	
		前回(n=330)	20.6	17.6	20.9	19.7	9.6	6.7	3.6	5.8	1.8	3.3	
	女性	今回(n=371)	21.0	19.1	14.8	12.7	13.5	4.9	4.3	4.3	0.5	4.9	
		前回(n=390)	21.0	23.8	16.4	17.7	13.5	5.4	4.1	5.4	0.8	5.4	
年代別	10歳代	今回(n=25)	24.0	20.0	16.0	4.0	16.0	0.0	12.0	0.0	4.0	4.0	
		前回(n=26)	7.7	15.4	34.6	19.2	16.0	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	18.2	12.7	16.4	14.5	20.0	12.7	1.8	1.8	0.0	1.8	
		前回(n=51)	29.4	23.5	21.6	9.8	20.0	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	36.0	16.3	14.0	8.1	4.7	9.3	5.8	3.5	1.2	1.2	
		前回(n=98)	30.6	20.4	20.4	11.2	4.7	5.1	3.1	5.1	2.0	2.0	
	40歳代	今回(n=126)	19.0	22.2	23.0	11.1	10.3	6.3	2.4	3.2	0.8	1.6	
		前回(n=147)	23.1	29.3	17.0	10.2	10.3	8.8	4.8	4.1	1.4	1.4	
	50歳代	今回(n=158)	20.3	22.2	19.6	13.3	10.8	3.2	4.4	3.8	1.3	1.3	
		前回(n=103)	20.4	22.3	18.4	21.4	10.8	7.8	1.0	4.9	2.9	1.0	
	60歳代	今回(n=87)	13.8	14.9	16.1	19.5	9.2	9.2	4.6	10.3	0.0	2.3	
		前回(n=119)	14.3	19.3	18.5	27.7	9.2	3.4	3.4	7.6	0.0	5.9	
	70歳代以上	今回(n=180)	18.3	15.0	16.1	11.1	14.4	6.1	3.3	2.2	0.6	12.8	
		前回(n=177)	16.9	15.8	14.7	24.3	14.4	4.5	5.6	6.2	0.0	11.9	
	地域別	北部地区	今回(n=322)	17.4	18.6	19.6	11.2	11.2	7.1	5.0	5.0	1.2	3.7
			前回(n=342)	20.8	24.9	15.8	17.0	11.2	7.0	5.0	5.6	0.9	3.2
中部地区		今回(n=210)	23.3	15.2	17.1	10.0	13.8	8.1	3.8	3.8	0.5	4.3	
		前回(n=210)	20.0	17.6	22.4	16.2	13.8	4.8	4.3	6.2	1.4	7.1	
南部地区		今回(n=169)	23.1	20.7	16.0	17.8	9.5	3.6	3.0	1.8	0.6	4.1	
		前回(n=164)	21.3	18.9	18.3	25.0	9.5	4.3	1.2	4.9	1.8	4.3	

(5) 地域産業の振興

地域産業の振興については、「商業の振興」が35.1%と最も多く、次いで「農業の振興」が24.2%、「わからない」が16.6%となっています。



■問 24 (5) ×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別で見ると、男女間での回答の傾向に大きな違いは見られませんでした。

年代別にみると、10歳代では「わからない」、20歳代以上では「商業の振興」が最も多くなっています。概ね「農業の振興」「わからない」までが上位3項目となっていますが、第2位に着目すると、10歳代から50歳代と70歳以上では「農業の振興」、60歳代では「わからない」となっています。

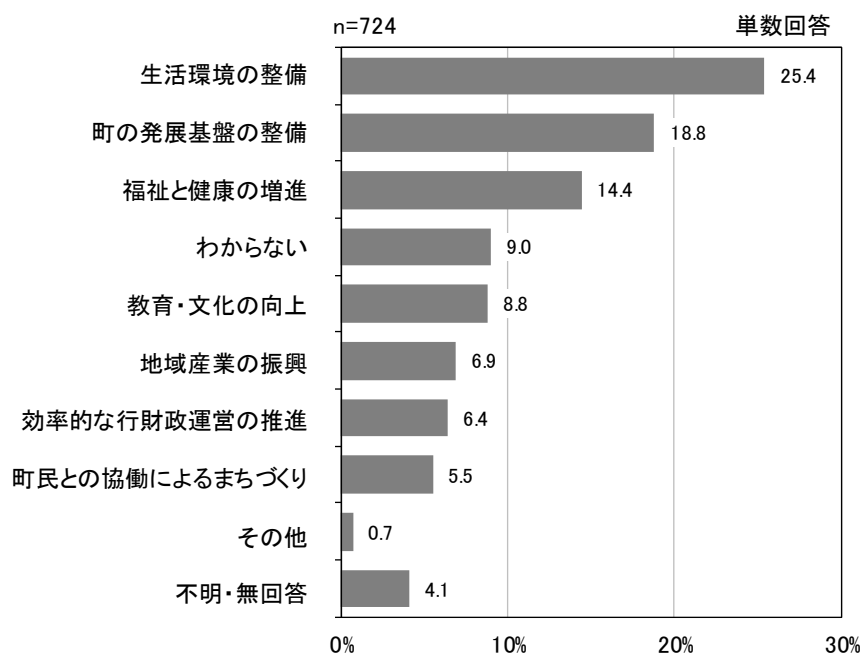
地域別にみると、すべての地区で概ね同様の傾向となっています。

前回と比較すると、10歳代から30歳代では「観光の振興」、50歳代と60歳代では「農業の振興」が大きく減少しています。また、「商業の振興」は10歳代では大きく減少していますが、50歳代では大きく増加しています。

単位：%		商業の振興	農業の振興	わからない	観光の振興	工業の振興	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	35.1	24.2	16.6	12.3	7.2	0.4	4.3	
	前回(n=724)	35.8	27.9		18.0	8.3	3.2	6.9	
性別	男性	今回(n=342)	39.5	25.7	10.8	11.1	9.1	0.3	3.5
		前回(n=330)	38.2	23.3		17.3	12.1	4.2	4.8
	女性	今回(n=371)	30.2	23.2	22.4	13.5	5.7	0.5	4.6
		前回(n=390)	34.1	31.5		18.5	5.1	2.3	8.5
年代別	10歳代	今回(n=25)	16.0	28.0	32.0	16.0	4.0	0.0	4.0
		前回(n=26)	46.2	23.1		26.9	0.0	3.8	0.0
	20歳代	今回(n=55)	38.2	25.5	16.4	14.5	1.8	0.0	3.6
		前回(n=51)	35.3	25.5		31.4	3.9	2.0	2.0
	30歳代	今回(n=86)	38.4	30.2	18.6	10.5	2.3	0.0	0.0
		前回(n=98)	43.9	21.4		21.4	7.1	1.0	5.1
	40歳代	今回(n=126)	37.3	24.6	11.9	15.9	7.9	0.8	1.6
		前回(n=147)	40.8	31.3		17.0	7.5	1.4	2.0
	50歳代	今回(n=158)	40.5	25.9	13.3	12.0	5.1	1.3	1.9
		前回(n=103)	28.2	35.9		20.4	4.9	8.7	1.9
	60歳代	今回(n=87)	36.8	18.4	19.5	14.9	9.2	0.0	1.1
		前回(n=119)	33.6	32.8		11.8	11.8	0.8	9.2
	70歳以上	今回(n=180)	28.3	21.7	18.3	8.3	12.2	0.0	11.1
		前回(n=177)	32.2	22.0		14.7	11.3	4.5	15.3
地域別	北部地区	今回(n=322)	38.2	23.0	14.0	14.9	5.9	0.6	3.4
		前回(n=342)	37.4	28.1		19.6	8.2	1.8	5.0
	中部地区	今回(n=210)	31.9	23.3	19.0	12.4	9.0	0.5	3.8
		前回(n=210)	40.5	26.2		15.2	7.1	3.3	7.6
	南部地区	今回(n=169)	33.7	28.4	17.2	8.9	7.7	0.0	4.1
		前回(n=164)	26.8	29.9		17.7	9.8	6.1	9.8

(6) 特に重点的に進めるべき部門

特に重点的に進めるべき部門については、「生活環境の整備」が25.4%と最も多く、次いで「町の発展基盤の整備」が18.8%、「福祉と健康の増進」が14.4%となっています。



■問 24（6）×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別で見ると、男女ともに「生活環境の整備」が最も多く、次いで、男性では「町の発展基盤の整備」、女性では「福祉と健康の増進」となっています。

年代別にみると、10歳代から50歳代では「生活環境の整備」、60歳代と70歳以上では「町の発展基盤の整備」が最も多くなっています。

地域別にみると、すべての地区で概ね同様の傾向となっています。

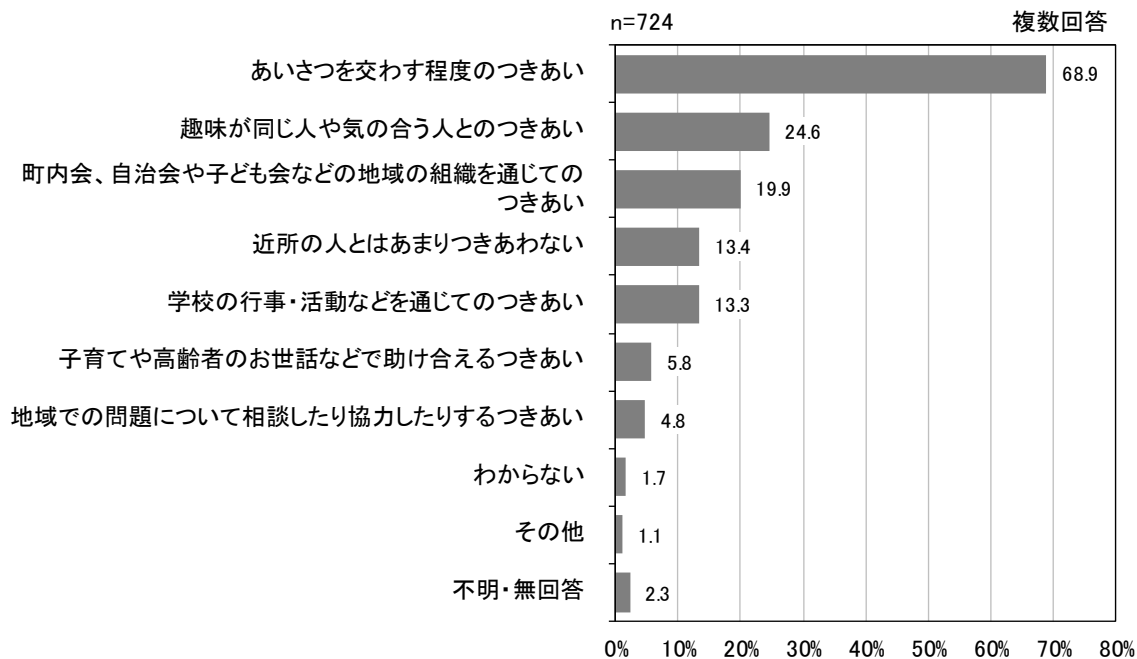
性別、年代別、地域別に前回と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、30歳代では「生活環境の整備」が大きく増加しています。また、10歳代、30歳代、70歳以上では「福祉と健康の増進」が大きく減少しています。

単位：%		生活環境の整備	町の発展基盤の整備	福祉と健康の増進	わからない	教育・文化の向上	地域産業の振興	効率的な行財政運営の推進	まちづくり	町民との協働による	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	25.4	18.8	14.4	9.0	8.8	6.9	6.4	5.5	0.7	4.1		
	前回(n=724)	23.9	19.6	20.7		9.5	7.5	7.3	6.5	1.1	3.9		
性別	男性	今回(n=342)	25.7	22.5	12.9	5.3	7.3	7.3	7.3	7.6	0.9	3.2	
		前回(n=330)	25.5	22.1	19.1		8.8	6.4	7.3	7.3	1.2	2.4	
	女性	今回(n=371)	25.1	15.6	16.2	12.4	10.2	6.5	5.7	3.5	0.3	4.6	
		前回(n=390)	22.3	17.7	22.1		10.3	8.5	7.4	5.9	1.0	4.9	
年代別	10歳代	今回(n=25)	20.0	20.0	4.0	20.0	12.0	8.0	8.0	4.0	0.0	4.0	
		前回(n=26)	26.9	15.4	26.9		3.8	11.5	7.7	3.8	3.8	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	23.6	12.7	10.9	9.1	14.5	12.7	9.1	3.6	1.8	1.8	
		前回(n=51)	27.5	19.6	19.6		7.8	9.8	9.8	3.9	2.0	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	43.0	11.6	8.1	7.0	16.3	3.5	4.7	4.7	1.2	0.0	
		前回(n=98)	23.5	15.3	22.4		17.3	6.1	4.1	5.1	0.0	6.1	
	40歳代	今回(n=126)	28.6	20.6	7.9	7.1	11.9	7.1	6.3	7.9	0.8	1.6	
		前回(n=147)	30.6	19.7	8.8		17.7	6.1	8.8	4.8	1.4	2.0	
	50歳代	今回(n=158)	30.4	15.2	17.7	9.5	6.3	7.0	6.3	5.1	0.6	1.9	
		前回(n=103)	23.3	23.3	18.4		9.7	7.8	7.8	4.9	3.9	1.0	
	60歳代	今回(n=87)	18.4	26.4	21.8	5.7	11.5	4.6	8.0	1.1	0.0	2.3	
		前回(n=119)	21.8	25.2	22.7		4.2	10.9	4.2	6.7	0.0	4.2	
	70歳以上	今回(n=180)	14.4	22.8	17.8	10.6	2.2	7.8	5.6	7.8	0.6	10.6	
		前回(n=177)	18.6	16.9	29.4		2.8	5.6	9.0	10.7	0.0	6.8	
	地域別	北部地区	今回(n=322)	23.6	18.9	16.1	9.0	9.6	7.8	7.1	4.0	0.0	3.7
			前回(n=342)	21.9	19.3	19.6		12.0	8.5	9.1	5.0	1.2	3.5
中部地区		今回(n=210)	23.8	21.9	11.4	9.5	8.1	7.1	5.2	8.6	0.5	3.8	
		前回(n=210)	28.1	20.5	19.5		8.1	5.7	5.2	7.6	1.0	4.3	
南部地区		今回(n=169)	30.2	16.6	15.4	7.1	8.9	5.9	5.9	5.3	1.8	3.0	
		前回(n=164)	23.8	18.9	24.4		5.5	7.9	6.1	8.5	1.2	3.7	

4. まちづくりへの参加と協力について

問 25 あなたは現在、地域でどのようなおつきあいをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在、地域でどのようなおつきあいをしているかについては、「あいさつを交わす程度のつきあい」が68.9%と最も多く、次いで「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」が24.6%、「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じたつきあい」が19.9%となっています。



■問 25×性別、年代別、地域別／前回との比較

性別にみると、女性では「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」「学校の行事・活動などを通じてのつきあい」が男性を大きく上回っています。

年代別にみると、30歳代では「学校の行事・活動などを通じてのつきあい」、70歳以上では「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」が他の年代と比べて多くなっています。

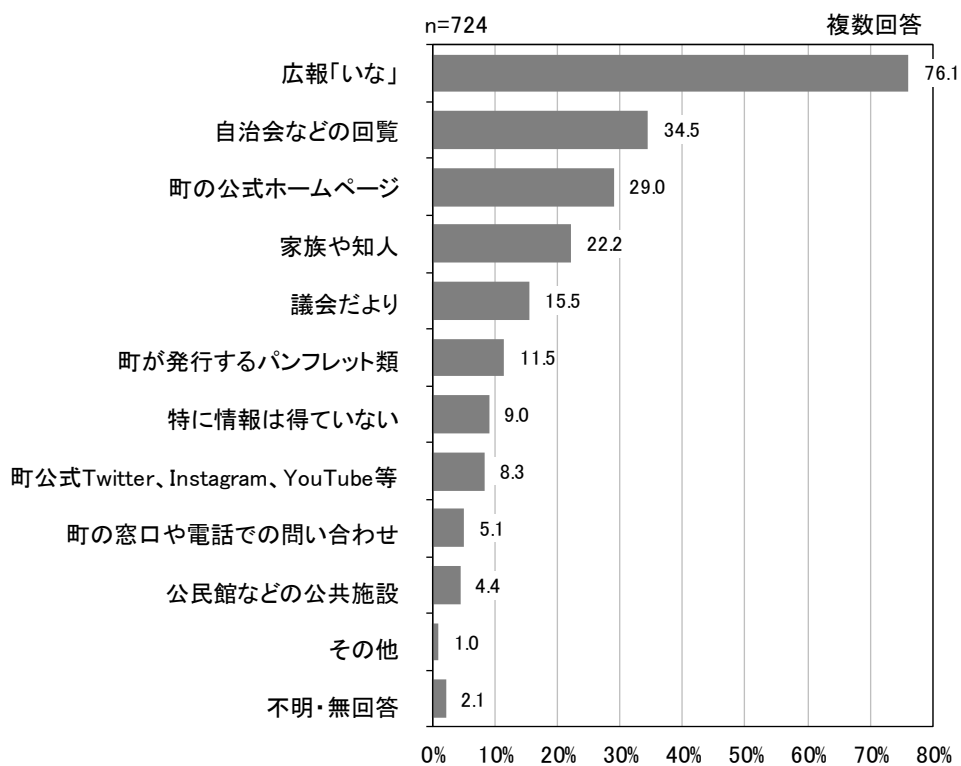
地域別にみると、南部地区では「町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい」が他の地区と比べて多くなっています。

前回と比較すると、10歳代では「近所の人とはあまりつきあわない」、南部地区では「あいさつを交わす程度のつきあい」が大きく増加しています。

単位：%		あいさつを交わす程度のつきあい	趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい	町内会、自治会や子ども会などの地域の組織を通じてのつきあい	近所の人とはあまりつきあわない	学校の行事・活動などを通じてのつきあい	子育てや高齢者のお世話などで助け合えるつきあい	協力したりするつきあい	地域での問題について相談したり	わからない	その他	不明・無回答
全体	今回(n=724)	68.9	24.6	19.9	13.4	13.3	5.8	4.8	1.7	1.1	2.3	
	前回(n=724)	70.0	27.1	27.9	12.2	20.0	8.1	5.1	2.3	2.6	1.1	
性別	男性	今回(n=342)	70.5	18.4	21.3	15.5	6.7	2.9	3.8	2.0	1.5	2.0
		前回(n=330)	72.4	19.7	30.6	14.5	15.2	4.5	4.8	3.3	2.7	0.9
	女性	今回(n=371)	67.9	30.2	18.9	11.3	19.4	8.6	5.9	1.3	0.8	2.2
		前回(n=390)	68.2	33.3	25.9	10.3	23.8	11.0	5.4	1.5	2.6	1.0
年代別	10歳代	今回(n=25)	68.0	4.0	4.0	24.0	8.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
		前回(n=26)	84.6	19.2	11.5	0.0	15.4	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0
	20歳代	今回(n=55)	63.6	10.9	5.5	29.1	5.5	5.5	1.8	3.6	0.0	0.0
		前回(n=51)	62.7	9.8	13.7	25.5	7.8	7.8	2.0	2.0	3.9	0.0
	30歳代	今回(n=86)	74.4	15.1	8.1	20.9	19.8	4.7	2.3	1.2	2.3	0.0
		前回(n=98)	73.5	11.2	16.3	14.3	26.5	9.2	0.0	0.0	0.0	1.0
	40歳代	今回(n=126)	70.6	19.8	15.9	16.7	30.2	7.1	3.2	0.0	0.8	0.8
		前回(n=147)	72.1	17.7	23.1	9.5	49.7	8.8	2.7	0.0	0.7	0.7
	50歳代	今回(n=158)	74.7	18.4	22.8	7.6	16.5	5.7	4.4	2.5	0.0	1.3
		前回(n=103)	76.7	19.4	31.1	11.7	22.3	5.8	2.9	4.9	3.9	1.0
	60歳代	今回(n=87)	77.0	18.4	24.1	9.2	1.1	4.6	5.7	2.3	0.0	1.1
		前回(n=119)	71.4	38.7	32.8	7.6	5.0	9.2	8.4	4.2	2.5	1.7
	70歳以上	今回(n=180)	58.3	47.2	30.6	8.3	4.4	7.2	8.9	1.1	2.2	6.1
		前回(n=177)	62.1	46.3	40.1	14.7	4.5	7.3	10.2	2.8	4.5	1.1
地域別	北部地区	今回(n=322)	70.5	22.4	14.9	12.7	14.9	5.6	2.8	1.9	1.2	2.5
		前回(n=342)	74.0	24.0	19.9	14.0	25.7	8.5	2.6	1.5	1.8	1.2
	中部地区	今回(n=210)	67.1	26.2	19.5	15.2	11.4	8.1	7.6	2.4	1.9	1.4
		前回(n=210)	71.4	28.1	24.8	10.0	14.8	8.6	6.2	2.9	3.8	1.0
	南部地区	今回(n=169)	70.4	27.2	32.0	8.9	12.4	3.6	5.9	0.0	0.0	1.8
		前回(n=164)	59.8	33.5	49.4	10.4	15.9	6.7	9.1	3.7	3.0	0.6

問 26 あなたは、町の行事や行政サービスの情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

町の行事や行政サービスの情報源については、「広報『いな』」が76.1%と最も多く、次いで「自治会などの回覧」が34.5%、「町の公式ホームページ」が29.0%となっています。



■問 26×年代別／前回との比較

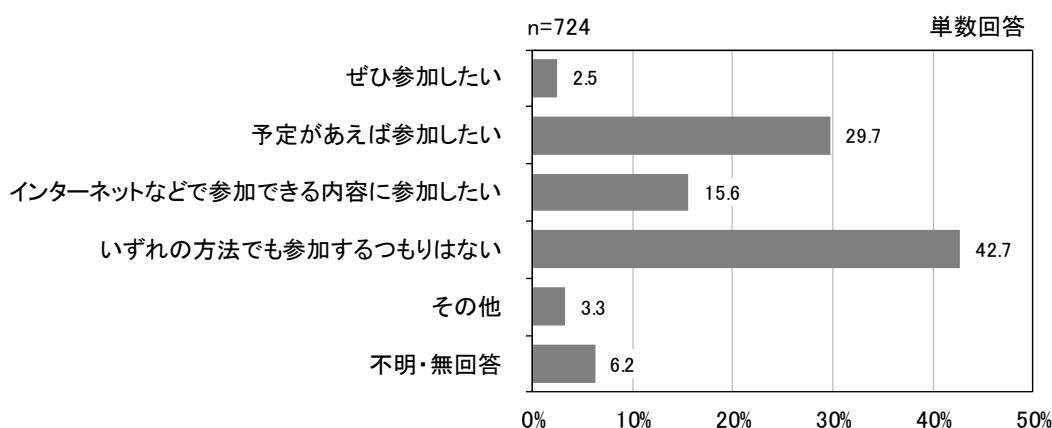
年代別にみると、すべての年代で「広報『いな』」が最も多くなっており、年代が上がるにつれて10歳代の4割台から70歳以上では8割台となっています。また、10歳代と20歳代では「特に情報は得ていない」が2割台、「家族や知人」が3割台、60歳代以上では「自治会などの回覧」が5割程度と他の年代と比べて多くなっています。

前回と比較すると、全体では「町の公式ホームページ」が増加し、特に20歳代と40歳代から60歳代で大きく増加しています。また、20歳代では「特に情報は得ていない」、30歳代では「家族や知人」、40歳代では「広報『いな』」が大きく減少しています。

単位：%		広報「いな」	自治会などの回覧	町の公式ホームページ	家族や知人	議会だより	町が発行するパンフレット類	特に情報は得ていない	I n s t a g r a m、Y o u T u b e等	町の窓口や電話での問い合わせ	公民館などの公共施設	その他	不明・無回答	
全体	今回(n=724)	76.1	34.5	29.0	22.2	15.5	11.5	9.0	8.3	5.1	4.4	1.0	2.1	
	前回(n=724)	84.4	47.5	16.2	23.6	18.4	14.6	6.8	3.6	6.2	1.7	0.6		
年代別	10歳代	今回(n=25)	44.0	4.0	8.0	32.0	0.0	12.0	28.0	8.0	0.0	4.0	4.0	0.0
		前回(n=26)	53.8	15.4	11.5	50.0	0.0	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8	0.0	
	20歳代	今回(n=55)	54.5	18.2	27.3	36.4	3.6	5.5	21.8	7.3	3.6	3.6	0.0	0.0
		前回(n=51)	54.9	15.7	15.7	17.6	2.0	5.9	29.4	2.0	2.0	5.9	0.0	
	30歳代	今回(n=86)	65.1	23.3	33.7	18.6	7.0	9.3	10.5	10.5	7.0	7.0	2.3	0.0
		前回(n=98)	73.5	29.6	28.6	33.7	6.1	7.1	12.2	2.0	7.1	1.0	1.0	
	40歳代	今回(n=126)	73.8	23.0	36.5	26.2	10.3	4.8	11.9	14.3	0.0	1.6	0.8	0.8
		前回(n=147)	93.9	42.9	19.7	28.6	17.0	8.8	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	
	50歳代	今回(n=158)	81.0	34.8	39.2	21.5	11.4	8.2	5.7	12.0	3.2	0.6	0.6	1.9
		前回(n=103)	86.4	53.4	26.2	20.4	18.4	8.7	3.9	4.9	5.8	3.9	0.0	
	60歳代	今回(n=87)	85.1	51.7	32.2	14.9	20.7	8.0	5.7	5.7	10.3	3.4	1.1	0.0
		前回(n=119)	89.1	65.5	4.2	20.2	21.0	23.5	5.0	7.6	5.9	0.8	0.8	
	70歳以上	今回(n=180)	86.1	48.9	15.0	20.0	30.6	23.9	4.4	1.7	8.3	8.9	0.6	5.0
		前回(n=177)	91.5	59.9	9.6	15.8	32.2	24.9	4.0	3.4	11.3	1.1	0.6	

問 27 あなたは、今後のまちづくりに関するワークショップ等への参加についてどうお考えですか。(〇は1つ)

今後のまちづくりに関するワークショップ等に参加することへの考えについては、「いずれの方法でも参加するつもりはない」が42.7%と最も多く、次いで「予定があれば参加したい」が29.7%、「インターネットなどで参加できる内容に参加したい」が15.6%となっています。



■問 27×年代別

年代別にみると、すべての年代で「いずれの方法でも参加するつもりはない」が最も多くなっています。

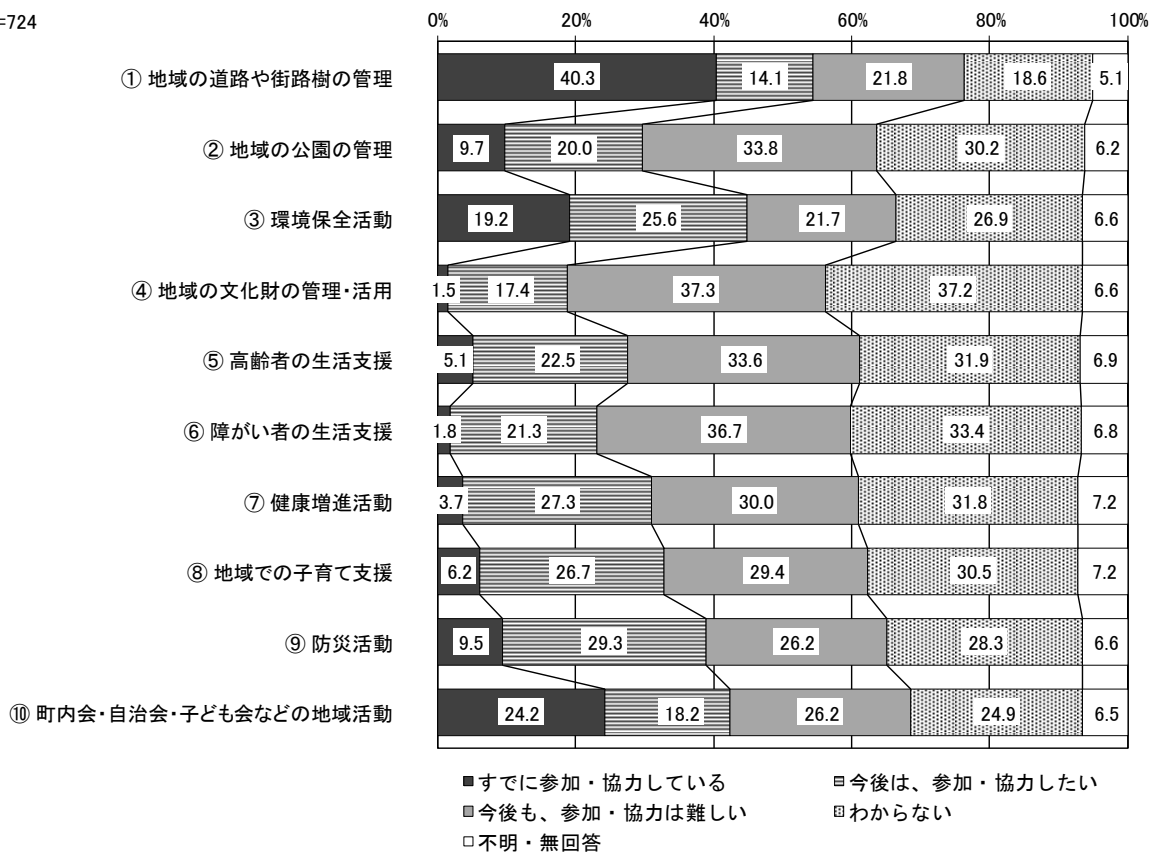
単位: %		ぜひ参加したい	予定があれば参加したい	インターネットなどで参加したい	いずれの方法でも参加する	その他	不明・無回答	
全体	(n=724)	2.5	29.7	15.6	42.7	3.3	6.2	
年代別	10歳代	(n=25)	8.0	36.0	8.0	44.0	4.0	0.0
	20歳代	(n=55)	3.6	25.5	12.7	58.2	0.0	0.0
	30歳代	(n=86)	2.3	29.1	20.9	46.5	1.2	0.0
	40歳代	(n=126)	0.8	29.4	19.0	49.2	0.8	0.8
	50歳代	(n=158)	3.2	23.4	24.1	40.5	5.1	3.8
	60歳代	(n=87)	4.6	33.3	13.8	36.8	3.4	8.0
	70歳以上	(n=180)	1.1	34.4	6.7	36.1	5.6	16.1

問 28 これからの社会では、町民の皆様と町が対等の立場で役割分担しながら、町民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要です。それぞれの項目について、これまでに参加・協力したことはありますか。また、参加・協力されたことがない方は、今後のお考えについてお答えください。（それぞれ「1」～「4」の中から○は1つ）

各種活動への参加経験・参加意向について、「すでに参加・協力している」と「今後は、参加・協力したい」を合わせた『参加の意思がある』は〈①地域の道路や街路樹の管理〉が54.4%と最も多く、次いで〈③環境保全活動〉が44.8%、〈⑩町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が42.4%となっています。

また、「今後も、参加・協力は難しい」では、〈④地域の文化財の管理・活用〉が37.3%と最も多く、次いで、〈⑥障がい者の生活支援〉が36.7%、〈②地域の公園の管理〉が33.8%となっています。

n=724



以下、問 28 について性別・年代別・地域別に、それぞれの中での『参加の意思がある』（「すでに参加・協力している」と「今後は、参加・協力したい」の合計）の割合の上位 5 項目を抜き出して、どのような活動に参加の意思があるのかを集計しました。

なお、同じ値の選択肢について、グラフ上ではアンケート時の項目順に並べています。

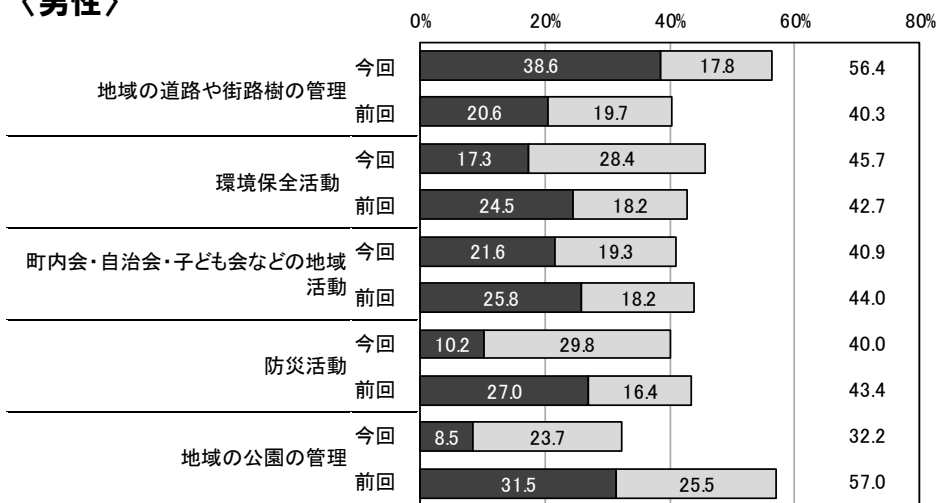
■問 28×性別（上位 5 項目）／前回との比較

性別でみると、男性では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が 56.4%と最も多く、次いで〈環境保全活動〉が 45.7%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が 40.9%となっています。女性では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が 52.5%と最も多く、次いで〈環境保全活動〉が 44.8%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が 44.2%となっています。

性別で比較すると、男性と女性で概ね同様の傾向となっています。

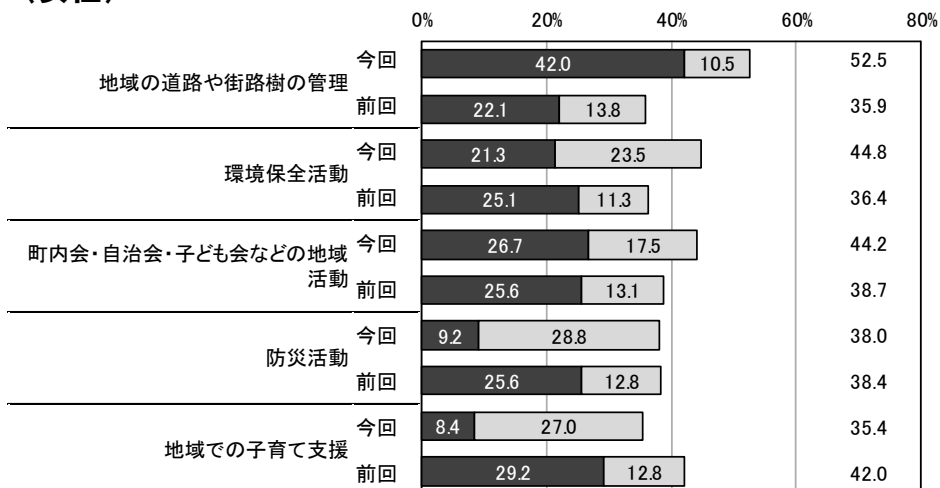
前回と比較すると、『参加の意思がある』は、男性では〈地域の道路や街路樹の管理〉〈環境保全活動〉、女性では〈地域の道路や街路樹の管理〉〈環境保全活動〉〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉で増加しています。

〈男性〉



■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

〈女性〉



■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

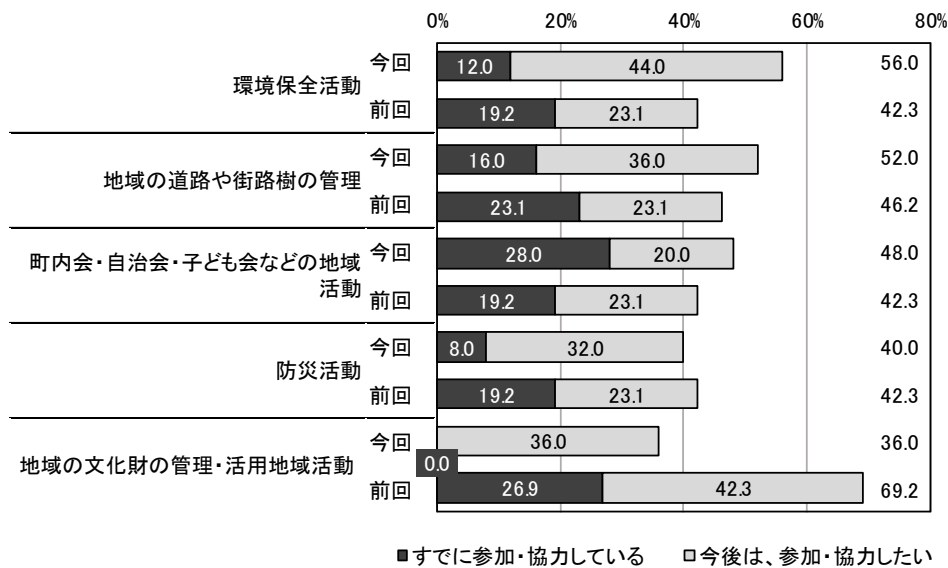
■問 28×年代別（上位5項目）／前回との比較

年代別にみると、『参加の意思がある』は、10歳代と20歳代では〈環境保全活動〉が、30歳代では〈地域での子育て支援〉が、40歳代以上では〈地域の道路や街路樹の管理〉がそれぞれ最も多くなっています。

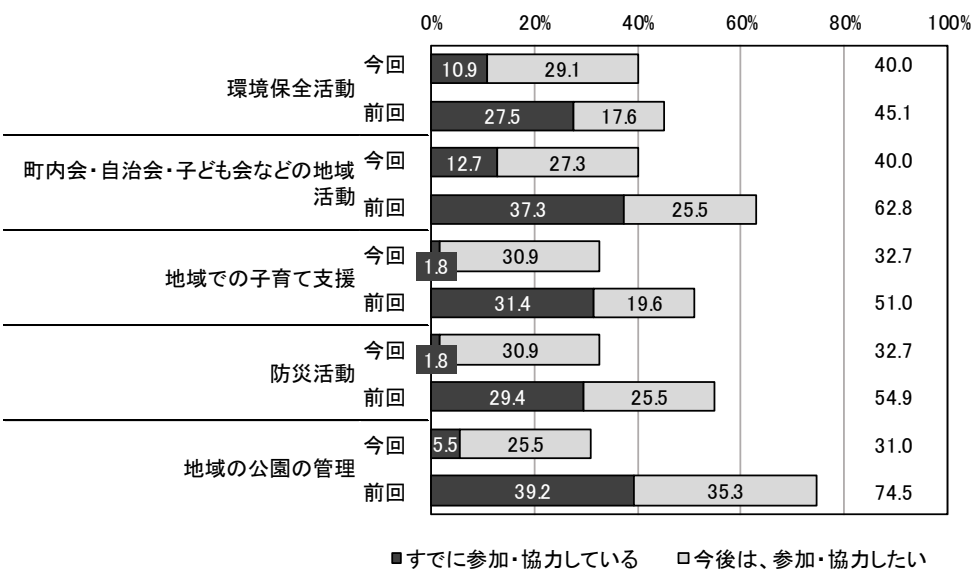
年代間で比較すると、全体的に年代が上がるほど『参加の意思がある』割合が多くなっています。

前回と比較すると、『参加の意思がある』は20歳代ではすべての項目で、40歳代と50歳代では〈地域の道路や街路樹の管理〉を除くすべての項目で減少しています。また、30歳代ではすべての項目で、60歳代では〈地域の公園の管理〉を除くすべての項目で、70歳以上では〈健康増進活動〉を除くすべての項目で増加しています。

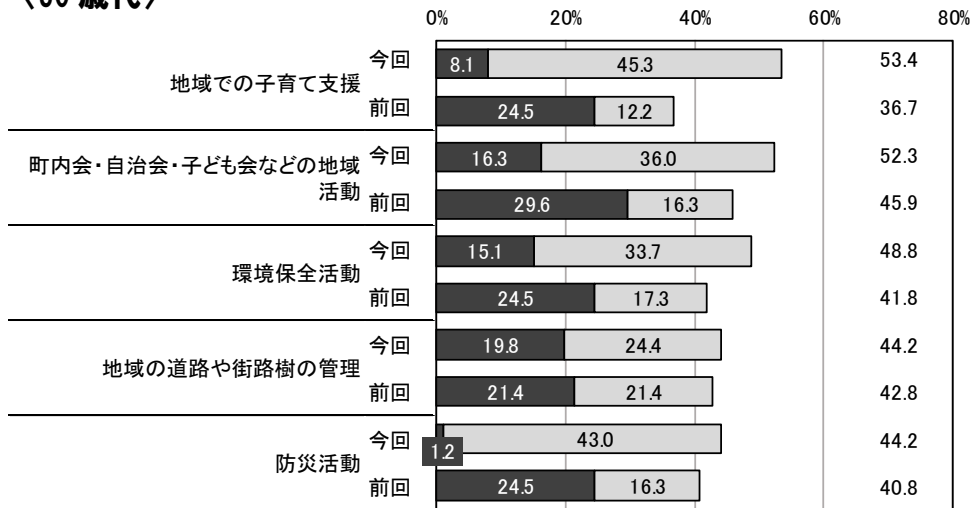
〈10歳代〉



〈20歳代〉

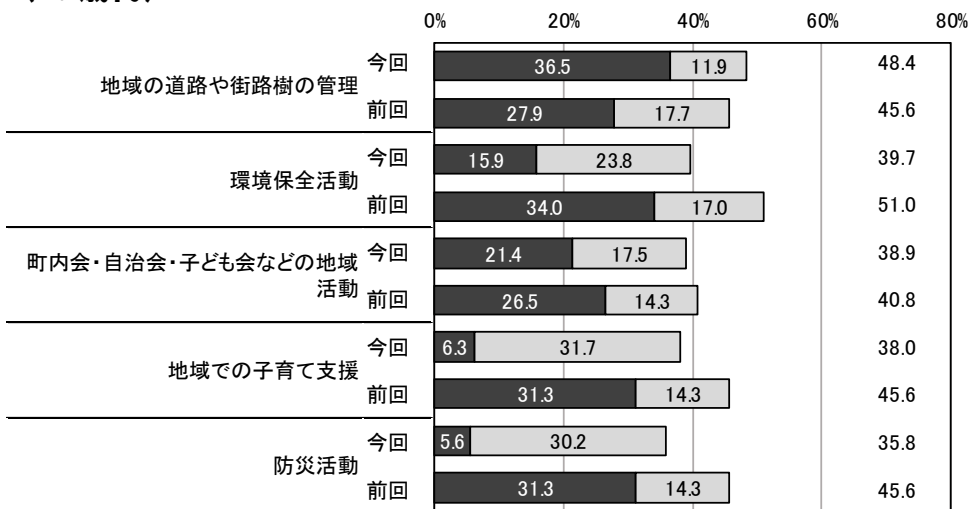


<30 歳代>



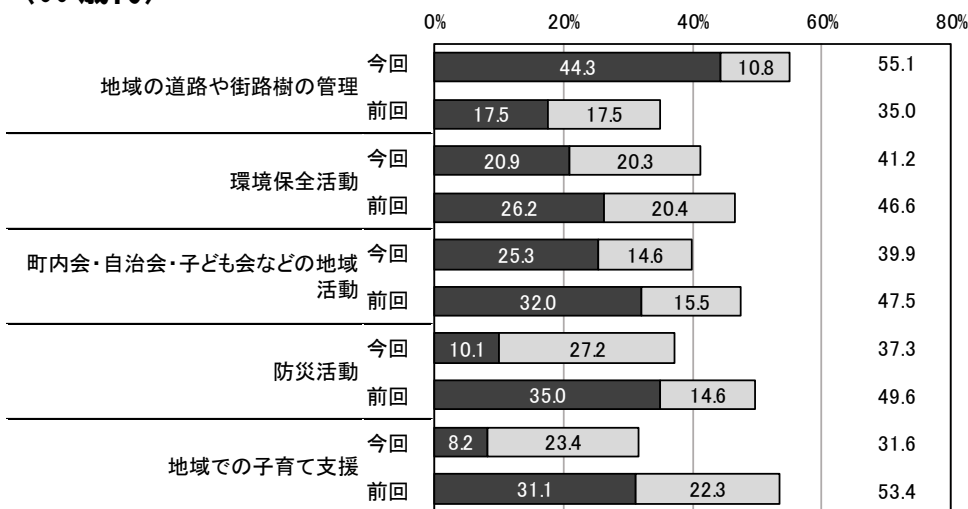
■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

<40 歳代>



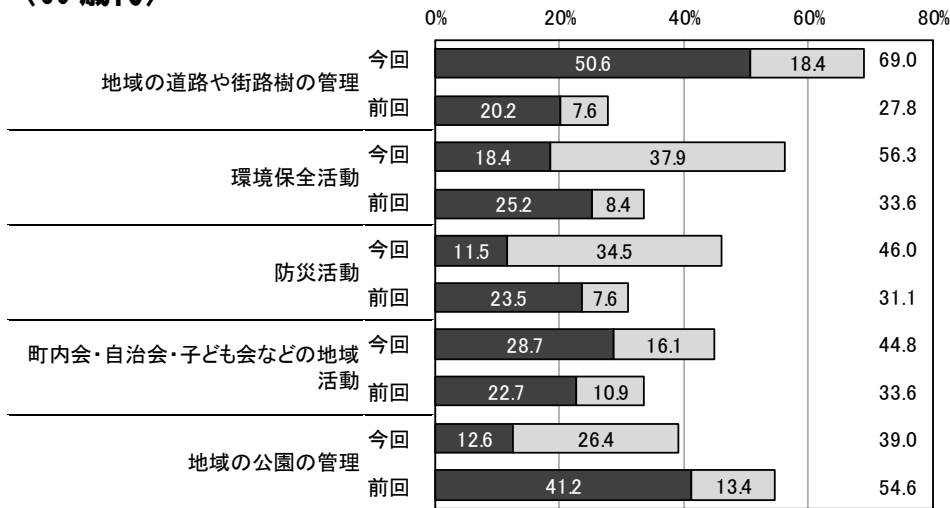
■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

<50 歳代>



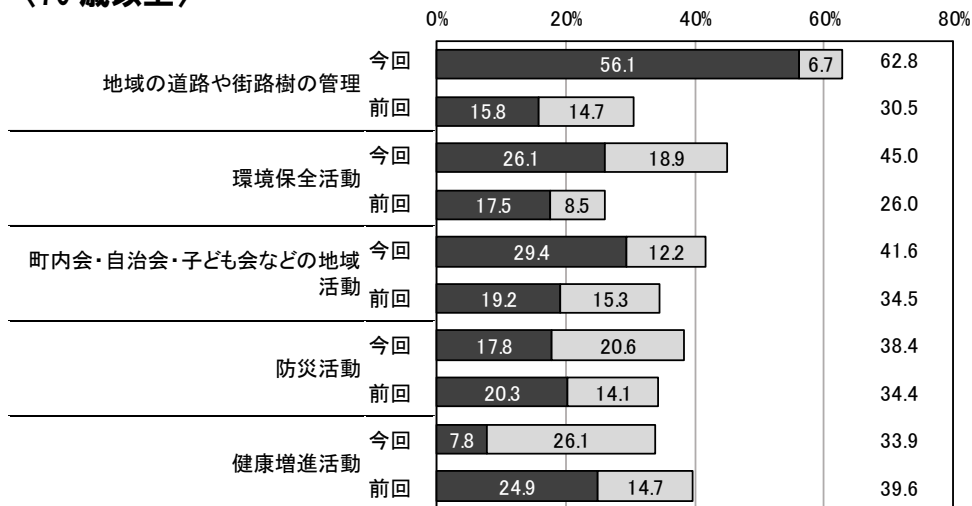
■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

<60 歳代>



■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

<70 歳以上>



■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

■問 28×地域別（上位5項目）／前回との比較

地域別にみると、北部地区では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が54.6%と最も多く、次いで〈環境保全活動〉が46.0%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が39.1%となっています。

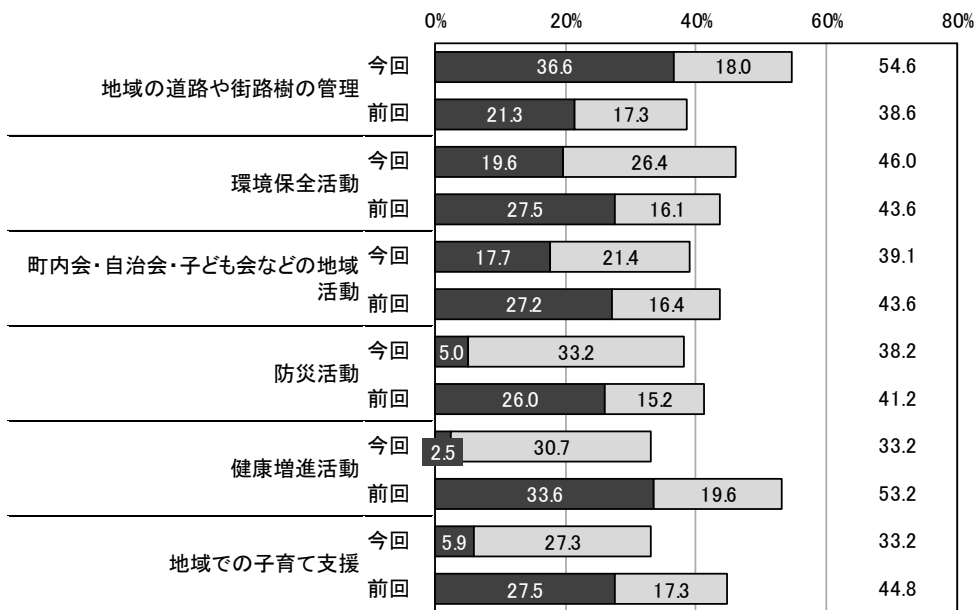
中部地区では、『参加の意思がある』は、〈地域の道路や街路樹の管理〉が56.6%と最も多く、次いで〈環境保全活動〉が42.4%、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が38.0%となっています。

南部地区では、『参加の意思がある』は、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が58.6%と最も多く、次いで〈地域の道路や街路樹の管理〉が55.6%、〈環境保全活動〉が48.5%となっています。

地域間で比較すると、北部地区、中部地区では上位5項目は同じ項目となっています。一方、南部地区では、他の2地区で第1位である〈地域の道路や街路樹の管理〉は第2位である一方、〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉が第1位となっています。

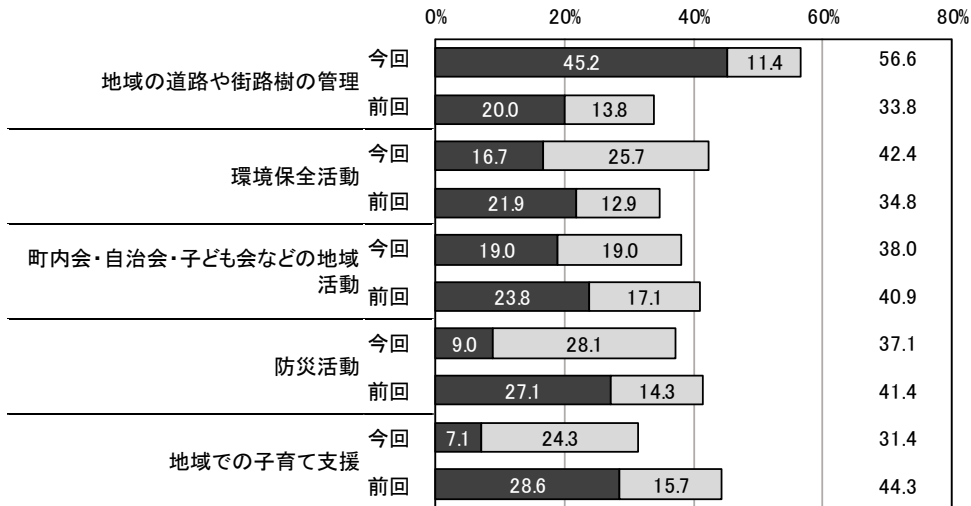
前回と比較すると、『参加の意思がある』は、すべての地区で〈地域の道路や街路樹の管理〉〈環境保全活動〉が増加しています。南部地区では〈町内会・自治会・子ども会などの地域活動〉〈防災活動〉も増加しています。

〈北部地区〉



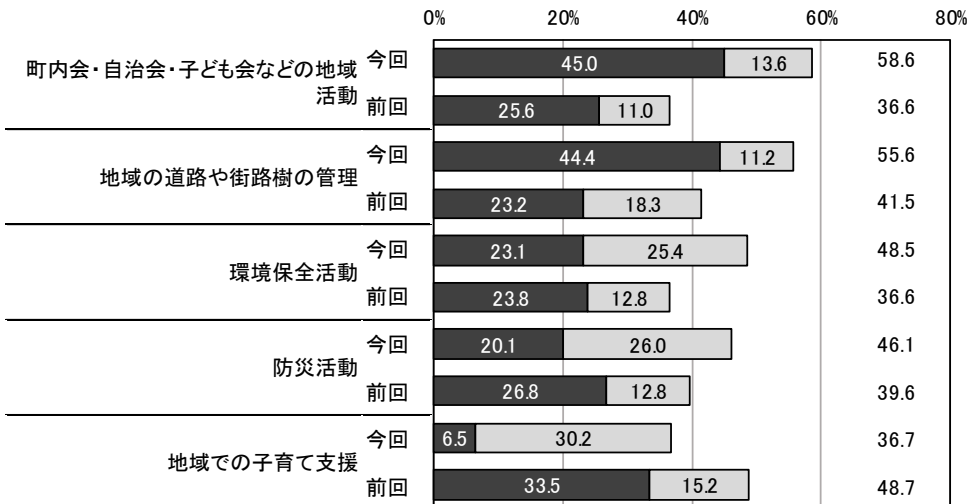
■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

〈中部地区〉



■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

〈南部地区〉



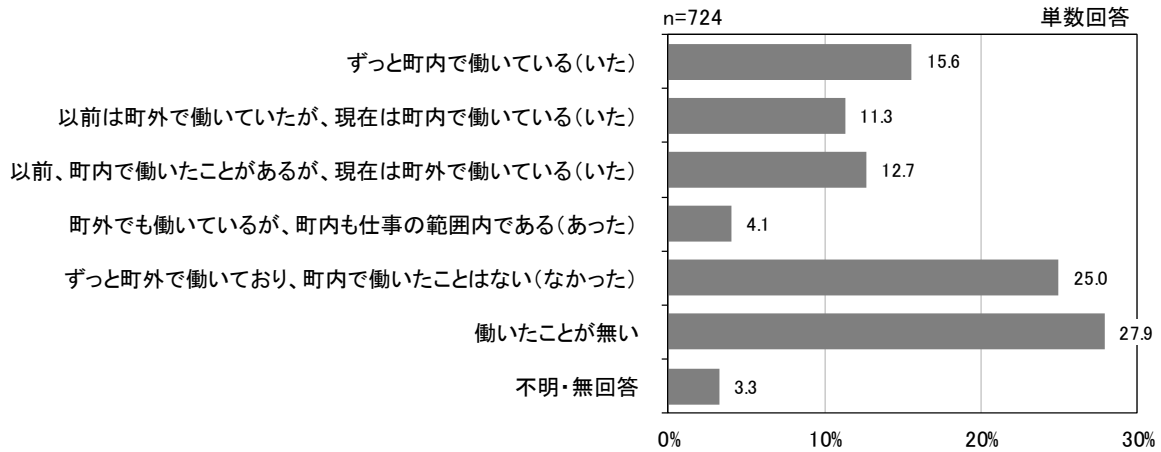
■すでに参加・協力している □今後は、参加・協力したい

5. 就労の様子について

問 29 あなたは、伊奈町内で働いたことがありますか。(○は1つ)

※現在働いていない方は、過去の状況からお選びください。(アルバイト等も含みます。)

伊奈町内で働いたことがあるかについては、「働いたことが無い」が27.9%と最も多く、次いで「ずっと町外で働いており、町内で働いたことはない(なかった)」が25.0%、「ずっと町内で働いている(いた)」が15.6%となっています。



■問 29×性別、年代別

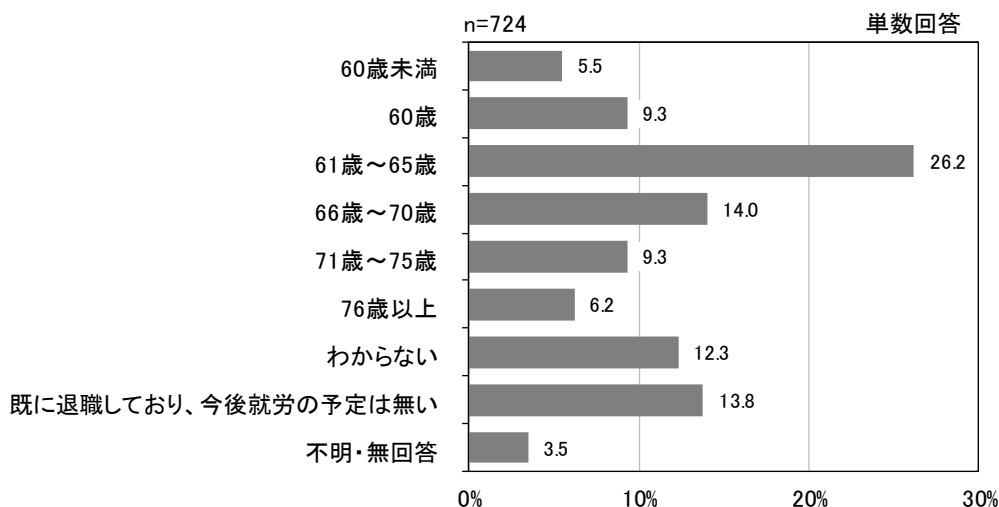
性別にみると、男女ともに「働いたことが無い」が最も多く、次いで「ずっと町外で働いており、町内で働いたことはない（なかった）」となっています。

年代別にみると、20歳代は「以前、町内で働いたことがあるが、現在は町外で働いている（いた）」、50歳代、60歳代は「ずっと町外で働いており、町内で働いたことはない（なかった）」、その他の年代では「働いたことが無い」が最も多くなっています。

単位：%		ずっと町内で働いている（いた）	以前は町外で働いていたが、現在は町外で働いている（いた）	以前は町内で働いていたことがあるが、現在は町外で働いている（いた）	の範囲内である（あった）	町外でも働いている（あった）	いたことではない（なかった）	働いたことが無い	不明・無回答
全体	(n=724)	15.6	11.3	12.7	4.1	25.0	27.9	3.3	
性別	男性	(n=342)	10.5	9.1	10.2	4.7	30.4	32.7	2.3
	女性	(n=371)	20.5	13.2	15.1	3.5	20.2	23.5	4.0
年代別	10歳代	(n=25)	20.0	0.0	12.0	0.0	4.0	64.0	0.0
	20歳代	(n=55)	23.6	10.9	27.3	3.6	20.0	14.5	0.0
	30歳代	(n=86)	11.6	11.6	15.1	1.2	27.9	32.6	0.0
	40歳代	(n=126)	11.9	12.7	19.0	4.0	24.6	27.8	0.0
	50歳代	(n=158)	15.8	11.4	13.9	4.4	31.0	22.8	0.6
	60歳代	(n=87)	14.9	13.8	11.5	3.4	27.6	25.3	3.4
	70歳以上	(n=180)	17.8	10.6	2.8	6.7	21.1	30.6	10.6

問 30 あなたは何歳まで働き続けたいと思いますか。(〇は1つ)

何歳まで働きたいと思うかについては、「61歳～65歳」が26.2%と最も多く、次いで「66～70歳」が14.0%、「既に退職しており、今後就労の予定は無い」が13.8%となっています。



問 30×性別、年代別

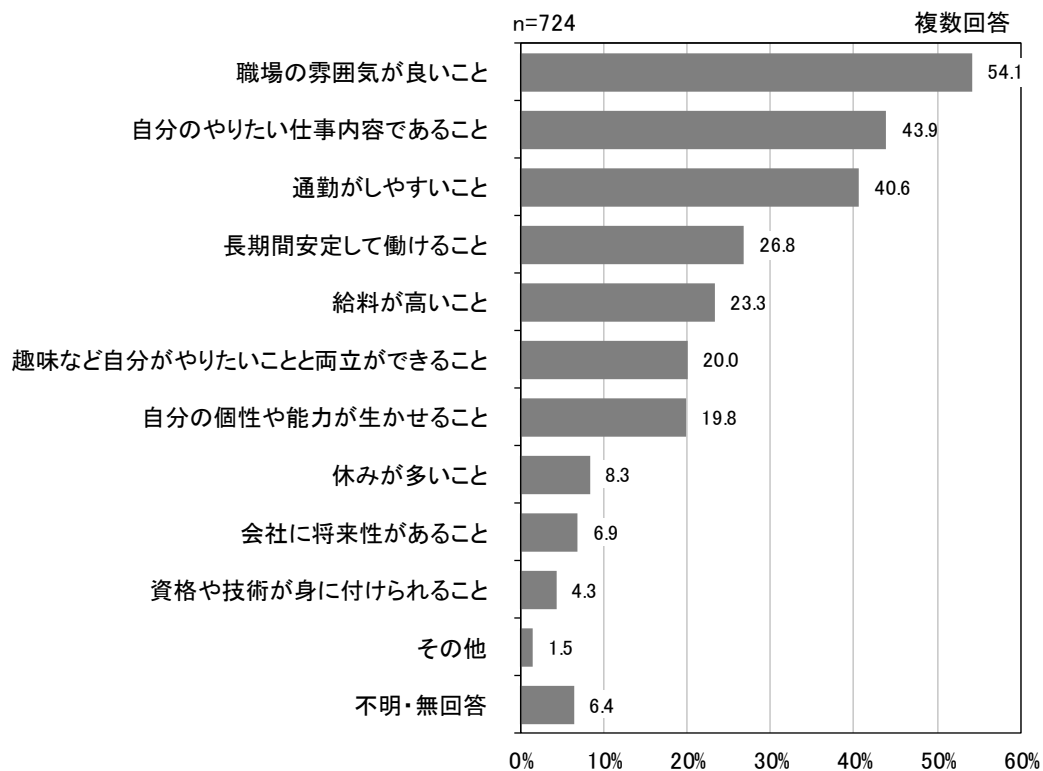
性別にみると、男女ともに「61～65歳」が最も多く、次いで男性では「66歳～70歳」、女性では「既に退職しており、今後就労の予定は無い」となっています。

年代別にみると、10歳代から50歳代は「61～65歳」、60歳代は「66歳～70歳」、70歳以上は「既に退職しており、今後就労の予定は無い」が最も多くなっています。

単位: %		60歳未満	60歳	61歳～65歳	66歳～70歳	71歳～75歳	76歳以上	わからない	就労の予定は無い、既に退職しており、今後	不明・無回答
全体	(n=724)	5.5	9.3	26.2	14.0	9.3	6.2	12.3	13.8	3.5
性別	男性 (n=342)	2.6	8.2	28.4	15.2	11.1	10.8	9.6	12.0	2.0
	女性 (n=371)	8.4	10.2	24.8	12.9	7.3	1.9	14.3	15.6	4.6
年代別	10歳代 (n=25)	20.0	8.0	32.0	8.0	4.0	4.0	24.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=55)	16.4	23.6	25.5	5.5	1.8	5.5	21.8	0.0	0.0
	30歳代 (n=86)	9.3	23.3	33.7	11.6	2.3	3.5	16.3	0.0	0.0
	40歳代 (n=126)	7.1	19.0	32.5	13.5	9.5	3.2	13.5	1.6	0.0
	50歳代 (n=158)	3.8	3.8	47.5	18.4	7.0	6.3	11.4	1.3	0.6
	60歳代 (n=87)	1.1	0.0	17.2	32.2	19.5	2.3	6.9	16.1	4.6
	70歳以上 (n=180)	0.6	1.1	3.9	6.1	12.2	11.7	8.3	45.6	10.6

問 31 あなたが仕事を選ぶ際に重要と思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)

仕事を選ぶ際に重要と思うことについては、「職場の雰囲気が良いこと」が54.1%と最も多く、次いで「自分のやりたい仕事内容であること」が43.9%、「通勤がしやすいこと」が40.6%となっています。



■問 31×性別、年代別

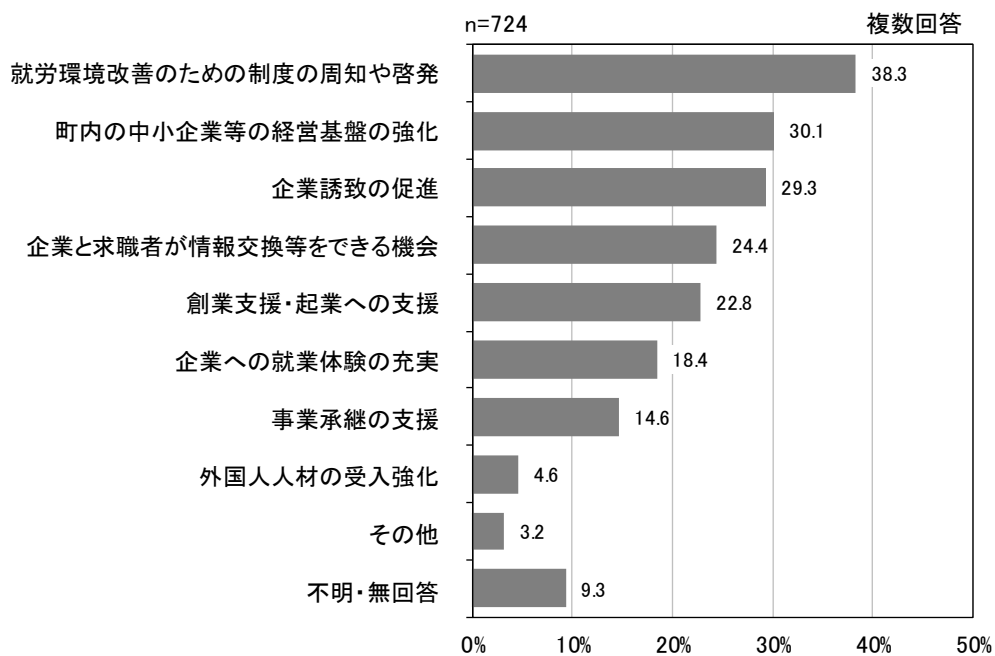
性別にみると、男女ともに「職場の雰囲気が良いこと」が最も多く、特に女性で6割を超えています。また、女性では「通勤がしやすいこと」が男性と比べて特に多くなっています。

年代別にみると、10歳代では「給料が高いこと」、60歳代では「自分のやりたい仕事内容であること」、その他の年代では「職場の雰囲気が良いこと」が最も多くなっています。

単位：%		職場の雰囲気が良いこと	自分のやりたい仕事内容であること	通勤がしやすいこと	長期間安定して働けること	給料が高いこと	趣味など自分がやりたいことと両立ができること	自分の個性や能力が生かせること	休みが多いこと	会社に将来性があること	資格や技術が身に付けられること	その他	不明・無回答	
全体	(n=724)	54.1	43.9	40.6	26.8	23.3	20.0	19.8	8.3	6.9	4.3	1.5	6.4	
性別	男性	(n=342)	44.4	43.9	29.8	27.2	28.1	22.2	24.6	10.2	11.1	7.3	0.6	5.0
	女性	(n=371)	63.1	43.9	50.7	26.7	19.4	18.1	15.6	6.5	3.2	1.6	1.9	7.5
年代別	10歳代	(n=25)	48.0	52.0	28.0	20.0	60.0	12.0	12.0	20.0	0.0	8.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=55)	74.5	49.1	40.0	27.3	29.1	21.8	16.4	9.1	1.8	1.8	1.8	0.0
	30歳代	(n=86)	58.1	48.8	43.0	27.9	38.4	22.1	20.9	12.8	5.8	3.5	1.2	1.2
	40歳代	(n=126)	61.9	38.9	47.6	32.5	31.0	19.0	12.7	10.3	9.5	3.2	3.2	0.0
	50歳代	(n=158)	62.0	48.7	46.2	30.4	24.7	23.4	21.5	10.1	5.7	2.5	1.3	0.6
	60歳代	(n=87)	44.8	51.7	42.5	21.8	6.9	21.8	27.6	3.4	4.6	3.4	1.1	5.7
	70歳以上	(n=180)	38.3	34.4	30.6	21.7	11.7	16.7	21.1	3.9	10.6	7.8	1.1	21.1

問 32 あなたは、地域において雇用を創出するために、どのような支援があると良いと考えますか。(〇は3つまで)

地域において雇用を創出するために、どのような支援があると良いと思うかについては、「就労環境改善のための制度の周知や啓発」が38.3%と最も多く、次いで「町内の中小企業等の経営基盤の強化」が30.1%、「企業誘致の促進」が29.3%となっています。



■問 32×性別、年代別

性別にみると、男性では「企業誘致の促進」、女性では「就労環境改善のための制度の周知や啓発」が最も多くなっています。また、男性では「企業誘致の促進」「創業支援・起業への支援」、女性では「企業と求職者が情報交換等をできる機会」がそれぞれ異性を大きく上回っています。

年代別にみると、10歳代と70歳以上では「就労環境改善のための制度の周知や啓発」「町内の中小企業等の経営基盤の強化」、20歳代から50歳代は「就労環境改善のための制度の周知や啓発」、60歳代は「就労環境改善のための制度の周知や啓発」「企業誘致の促進」が最も多くなっています。

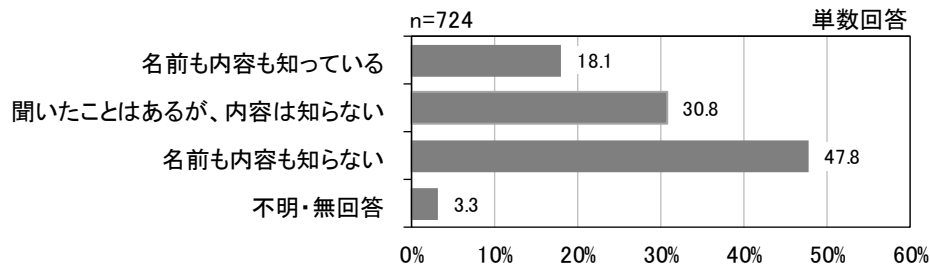
単位：%		就労環境改善のための制度の周知や啓発	町内の中小企業等の経営基盤の強化	企業誘致の促進	企業と求職者が情報交換等をできる機会	創業支援・起業への支援	企業への就業体験の充実	事業承継の支援	外国人材の受入強化	その他	不明・無回答	
全体	(n=724)	38.3	30.1	29.3	24.4	22.8	18.4	14.6	4.6	3.2	9.3	
性別	男性	(n=342)	36.5	34.8	38.6	18.7	30.1	15.8	19.6	5.0	2.9	6.4
	女性	(n=371)	40.4	25.9	20.5	29.4	16.2	20.5	10.5	4.3	3.5	11.9
年代別	10歳代	(n=25)	28.0	28.0	12.0	12.0	8.0	24.0	8.0	24.0	12.0	0.0
	20歳代	(n=55)	54.5	32.7	12.7	21.8	12.7	27.3	14.5	7.3	0.0	3.6
	30歳代	(n=86)	48.8	36.0	30.2	26.7	31.4	19.8	18.6	2.3	4.7	4.7
	40歳代	(n=126)	40.5	39.7	34.1	27.0	20.6	18.3	15.9	5.6	4.0	1.6
	50歳代	(n=158)	44.3	24.1	37.3	28.5	27.2	19.0	17.1	1.9	1.9	2.5
	60歳代	(n=87)	31.0	25.3	31.0	27.6	25.3	18.4	17.2	2.3	0.0	9.2
	70歳以上	(n=180)	27.2	27.2	25.6	17.8	20.6	13.3	10.0	5.0	4.4	25.6

6. デジタル化の推進について

問 33 あなたはDX*を知っていますか。(〇は1つ)

※DX：デジタルトランスフォーメーションの略で、情報通信技術の浸透により人々の生活をより良い方向に変化させること。

DXを知っているかについては、「名前も内容も知らない」が47.8%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が30.8%、「名前も内容も知っている」が18.1%となっています。



■問 33×性別、年代別

性別にみると、男女ともに「名前も内容も知らない」が最も多く、女性では半数を超えています。また、男性では「名前も内容も知っている」が女性と比べ多くなっています。

年代別にみると、60歳代では「聞いたことはあるが、内容は知らない」、その他の年代では「名前も内容も知らない」が最も多くなっています。30歳代では「名前も内容も知っている」が3割を超えています。

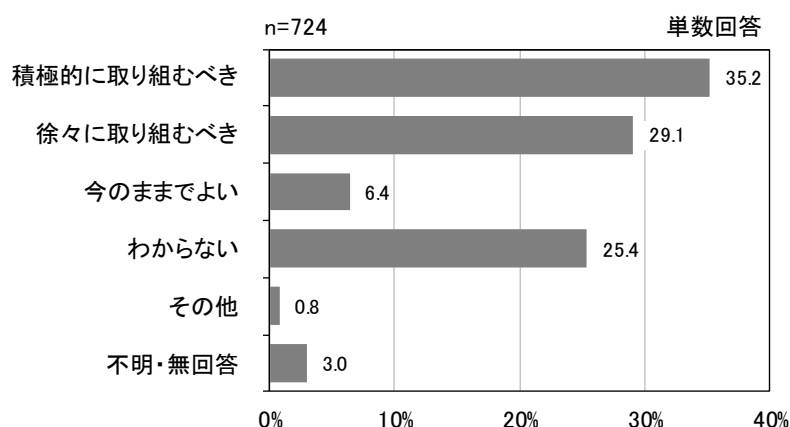
単位：%		名前も内容も知っている	は聞いたことはあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	不明・無回答	
全体	(n=724)	18.1	30.8	47.8	3.3	
性別	男性	(n=342)	26.6	29.2	42.1	2.0
	女性	(n=371)	10.5	31.5	53.6	4.3
年代別	10歳代	(n=25)	0.0	24.0	72.0	4.0
	20歳代	(n=55)	16.4	25.5	58.2	0.0
	30歳代	(n=86)	31.4	17.4	50.0	1.2
	40歳代	(n=126)	20.6	22.2	57.1	0.0
	50歳代	(n=158)	23.4	31.6	43.0	1.9
	60歳代	(n=87)	19.5	39.1	37.9	3.4
	70歳以上	(n=180)	8.3	39.4	43.9	8.3

問 34 今後、自治体における各種デジタル技術*の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取り組みについて、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

※各種デジタル技術の一例

- ・ AI：人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術。画像・音声認識などに活用されている。
- ・ RPA：コンピュータープログラム(ロボット)による業務自動化。人間が行う業務の処理手順をコンピューターに登録すると、業務を自動的に進めてくれる。

行政サービスのデジタル化を推進する取り組みについての考えについて、「積極的に取り組むべき」が35.2%と最も多く、次いで「徐々に取り組むべき」が29.1%、「わからない」が25.4%となっています。



問 34×性別、年代別

性別にみると、男性は「積極的に取り組むべき」、女性は「徐々に取り組むべき」が最も多くなっています。

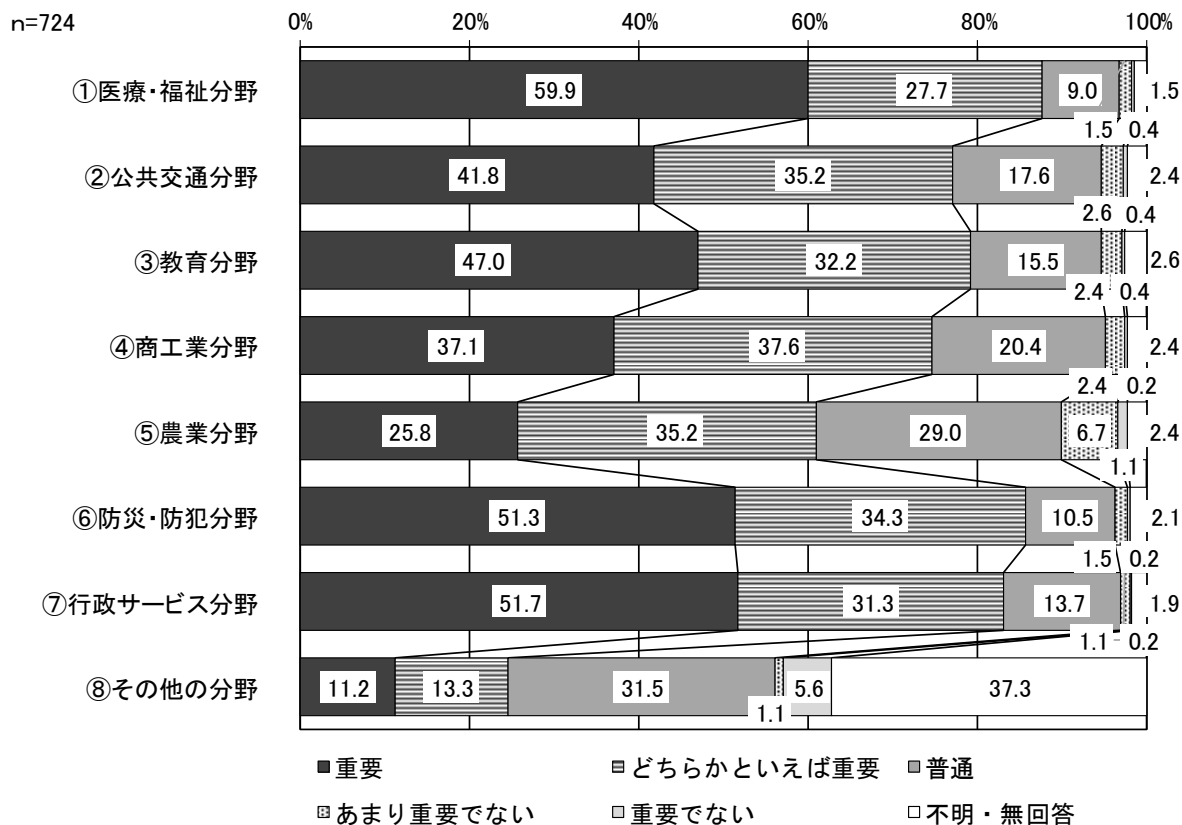
年代別にみると、10歳代では「積極的に取り組むべき」「わからない」、20歳代では「徐々に取り組むべき」、30歳代から60歳代では「積極的に取り組むべき」、70歳以上では「わからない」が最も多くなっています。

単位: %		積極的に取り組むべき	徐々に取り組むべき	今のままでよい	わからない	その他	不明・無回答	
全体	(n=724)	35.2	29.1	6.4	25.4	0.8	3.0	
性別	男性	(n=342)	42.1	26.9	6.4	22.2	0.9	1.5
	女性	(n=371)	29.1	31.0	6.2	28.6	0.8	4.3
年代別	10歳代	(n=25)	32.0	24.0	8.0	32.0	0.0	4.0
	20歳代	(n=55)	34.5	40.0	5.5	20.0	0.0	0.0
	30歳代	(n=86)	50.0	24.4	7.0	17.4	1.2	0.0
	40歳代	(n=126)	45.2	27.8	3.2	22.2	1.6	0.0
	50歳代	(n=158)	41.1	35.4	3.8	17.1	1.3	1.3
	60歳代	(n=87)	33.3	31.0	9.2	23.0	0.0	3.4
	70歳以上	(n=180)	17.8	23.9	8.9	40.6	0.6	8.3

問 34 で「積極的に取り組むべき」「徐々に取り組むべき」を選択された方

問 35 各種デジタル技術の導入・活用において、今後の重要度について、どのようにお考えですか。分野ごとにお答えください。(それぞれ「1」～「5」の中から○は1つ)

各種デジタル技術・活用における、今後の重要度について、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要である』は、「医療・福祉分野」が87.6%と最も多く、次いで「防災・防犯分野」が85.6%となっています。また、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』は、「農業分野」が7.8%となっています。

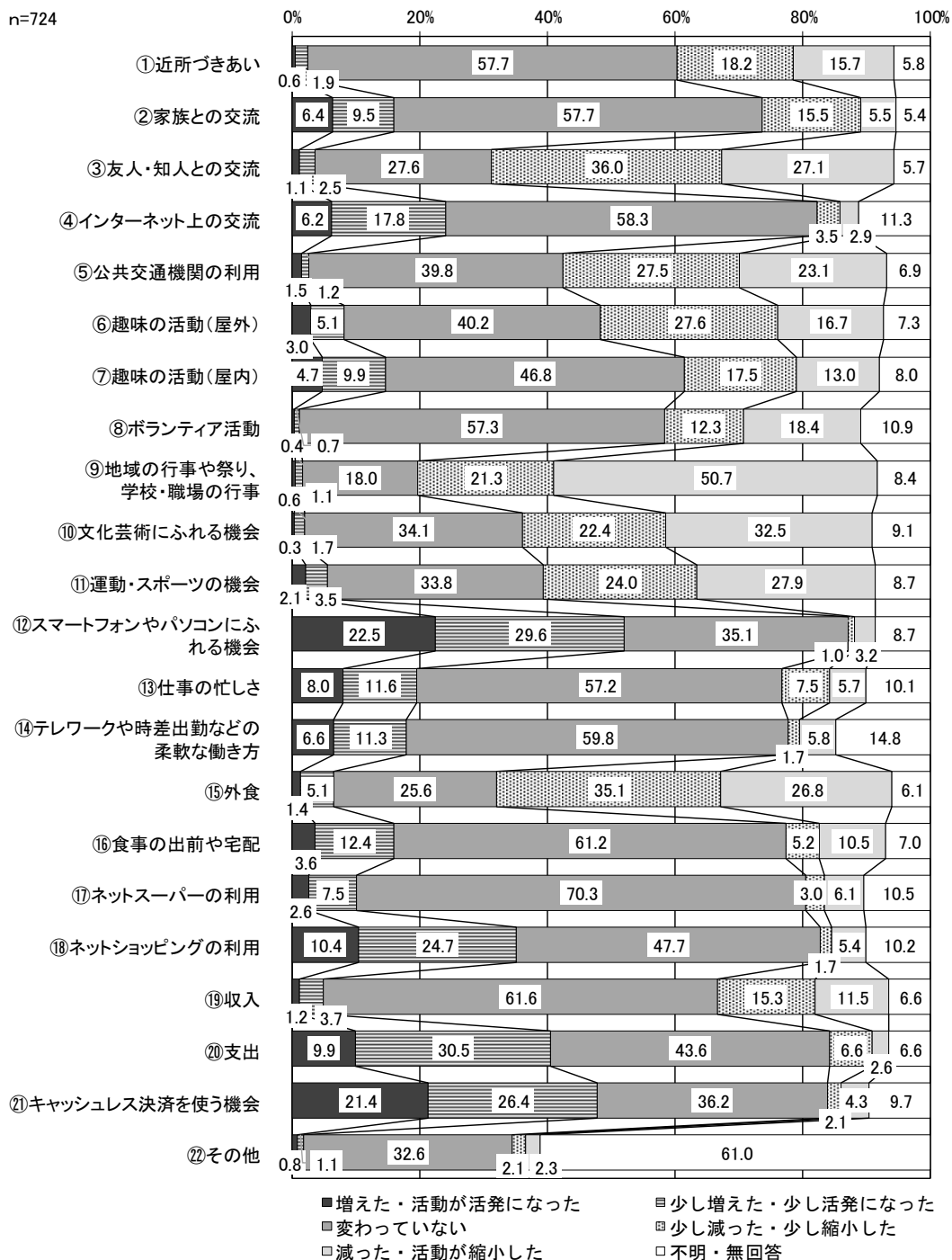


7. 新型コロナウイルス感染症の影響について

問 36 コロナ禍で増えた（活動が活発になった）ものやこと、減った（活動が縮小した）ものやことはそれぞれどんなことですか。（それぞれ「1」～「5」の中から〇は1つ）

コロナ禍で増えたものやこと、減ったものやことはそれぞれどんなことかについて、「増えた・活動が活発になった」と「少し増えた・少し活発になった」を合わせた『活発になった』は、〈⑫スマートフォンやパソコンにふれる機会〉が52.1%と最も多く、次いで〈⑰キャッシュレス決済を使う機会〉が47.8%となっています。

また、「減った・活動が縮小した」と「少し減った・少し縮小した」を合わせた『縮小した』は、〈⑨地域の行事や祭り、学校・職場の行事〉が72.0%となっています。

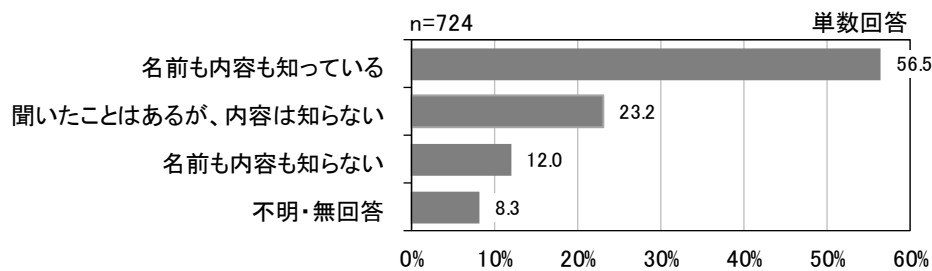


8. SDGsについて

問 37 あなたは 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGs※を知っていますか。(〇は1つ)

※SDGs：貧困、食料・エネルギー・資源の不足、気候変動など、多くの不安要素を抱えた将来へむけて、全ての人
がこれからもずっと平和で豊かな生活を送れるようにするための目標のことで、17の目標と169の達成基準で構成さ
れている。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された。

SDGsを知っているかについては、「名前も内容も知っている」が56.5%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が23.2%、「名前も内容も知らない」が12.0%となっ
ています。



■問 37×性別、年代別

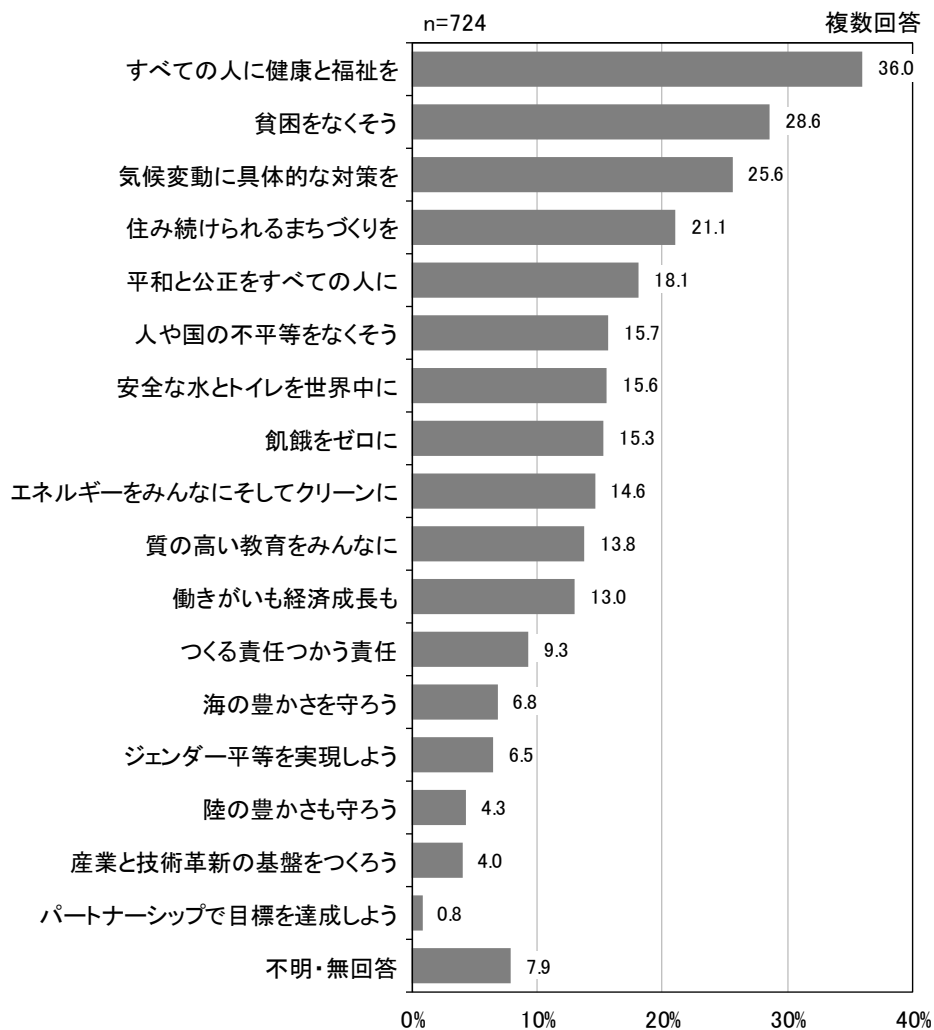
性別にみると、男女ともに「名前も内容も知っている」が最も多く、半数を超えています。

年代別にみると、10歳代から60歳代では「名前も内容も知っている」が最も多く、特に10歳代、30歳代は8割を超えています。70歳以上では「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も多くなっています。

単位：%			名前も内容も知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	不明・無回答
全体	(n=724)	56.5	23.2	12.0	8.3	
性別	男性 (n=342)	57.6	23.7	11.1	7.6	
	女性 (n=371)	55.0	23.2	13.2	8.6	
年代別	10歳代 (n=25)	84.0	12.0	4.0	0.0	
	20歳代 (n=55)	63.6	25.5	7.3	3.6	
	30歳代 (n=86)	80.2	12.8	4.7	2.3	
	40歳代 (n=126)	69.8	17.5	11.1	1.6	
	50歳代 (n=158)	64.6	22.2	7.0	6.3	
	60歳代 (n=87)	52.9	28.7	12.6	5.7	
	70歳以上 (n=180)	24.4	31.7	23.3	20.6	

問 38 SDGs の 17 の目標のうち、特に重要だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

SDGs の 17 の目標のうち、特に重要だと思うものについては、「すべての人に健康と福祉を」が 36.0%と最も多く、次いで「貧困をなくそう」が 28.6%、「気候変動に具体的な対策を」が 25.6%となっています。



■問 38×性別、年代別

性別にみると、男女ともに「すべての人に健康と福祉を」が最も多く、3割を超えています。

年代別にみると、10歳代では「人や国の不平等をなくそう」、20歳代では「すべての人に健康と福祉を」「貧困をなくそう」、30歳代から50歳代と70歳以上では「すべての人に健康と福祉を」、60歳代では「気候変動に具体的な対策を」が最も多くなっています。

単位：%		すべての人に健康と福祉を	貧困をなくそう	気候変動に具体的な対策を	住み続けられるまちづくりを	平和と公正をすべての人に	人や国の不平等をなくそう	安全な水とトイレを世界中に	飢餓をゼロに	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	つくる責任つかう責任	海の豊かさを守ろう	ジェンダー平等を実現しよう	陸の豊かさを守ろう	産業と技術革新の基盤をつくろう	パートナーシップで目標を達成しよう	不明・無回答	
全体	(n=724)	36.0	28.6	25.6	21.1	18.1	15.7	15.6	15.3	14.6	13.8	13.0	9.3	6.8	6.5	4.3	4.0	0.8	7.9	
性別	男性	(n=342)	36.8	27.8	26.9	21.3	17.8	14.0	12.6	14.0	17.0	10.8	16.1	8.8	6.7	5.3	3.8	6.4	1.5	7.6
	女性	(n=371)	35.6	29.1	24.0	21.3	18.6	17.8	18.1	16.4	12.7	16.2	10.2	9.7	6.7	7.5	4.6	1.6	0.3	8.1
年代別	10歳代	(n=25)	24.0	12.0	4.0	16.0	32.0	20.0	20.0	8.0	20.0	8.0	16.0	4.0	20.0	8.0	12.0	0.0	0.0	
	20歳代	(n=55)	34.5	34.5	5.5	29.1	18.2	21.8	20.0	12.7	1.8	23.6	16.4	1.8	5.5	21.8	5.5	5.5	1.8	1.8
	30歳代	(n=86)	43.0	20.9	16.3	27.9	17.4	15.1	11.6	10.5	15.1	29.1	24.4	10.5	8.1	7.0	3.5	2.3	1.2	1.2
	40歳代	(n=126)	34.1	26.2	16.7	24.6	19.0	17.5	15.9	13.5	17.5	16.7	19.8	11.9	5.6	5.6	3.2	6.3	0.8	1.6
	50歳代	(n=158)	36.7	29.1	31.0	20.9	19.6	13.9	14.6	13.3	21.5	10.1	9.5	12.7	10.1	7.0	6.3	3.8	0.6	5.1
	60歳代	(n=87)	35.6	33.3	44.8	13.8	17.2	10.3	16.1	19.5	12.6	12.6	14.9	12.6	6.9	1.1	4.6	2.3	0.0	8.0
	70歳以上	(n=180)	36.7	31.1	30.6	18.3	16.7	15.0	15.6	18.3	11.7	4.4	5.0	3.9	4.4	2.8	2.2	2.8	1.1	20.6

9. 自由回答

問 39 今後の伊奈町のまちづくりについて、あなたのご意見、ご提案やご要望などございましたら、ご自由に記入ください。

1. 今後の伊奈町のまちづくりに対するお考えについて

今回の住民意識調査の中で、伊奈町のまちづくりについて 215 人の方から延べ 235 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると以下のようになります。

分野	件数
防災・防犯・安全について	21
健康・福祉・医療について	17
教育・文化・スポーツについて	33
自然環境について	24
都市基盤について	87
産業について	17
協働・地域コミュニティについて	7
行財政運営について	9
その他	20
合計	235

防災・防犯・安全について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	70 歳以上	北部地域	歩道をつけてほしい。
女性	30 歳代	南部地域	夜の高架下の治安の悪さにびっくりします。不審者多発、どうかしてほしい。
女性	40 歳代	中部地域	防災対策の強化。
女性	60 歳代	北部地域	大型トラックの通行量が多くなり危険です。自宅の震動が激しく渡るのも危ないです。時間を決めるとか大型トラックは大きな道路のみを走らせるなどの規則があるといいと思う。
男性	50 歳代	南部地域	綾瀬川活断層が震源となる可能性が明らか。耐震や減災の取り組みを。南地区の浸水対策を。ハザードマップで示されている（明確）のだから早々に動くべき。
男性	60 歳代	中部地域	街灯は明らかに不足、社会資本の整備に注力

健康・福祉・医療について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	30 歳代	中部地域	伊奈町の中でも場所によってはスーパーなどが遠く高齢の人が車で移動せざるを得ない。今後スーパーに行けない人も増えてくると思う。
男性	70 歳以上	北部地域	伊奈町内に拠点となる医療施設を建設する必要がある。
男性	70 歳以上	南部地域	シルバーワークを身近に参加できる方法はないか。土手を散歩しているシニアが多いと感じている。
女性	70 歳以上	南部地域	高齢者の多い昨今、医療福祉の充実も大事と思う。

教育・文化・スポーツについて

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	50 歳代	中部地域	スポーツを通して町を元気に（スポーツ施設の充実）。
女性	30 歳代	中部地域	子育てしやすい町づくりをお願いしたい。
女性	50 歳代	北部地域	企業誘致を実現させ、税収を増やし子育て支援や教育の無償化などにもっと力を入れてほしい。子育ての町としてもっともっとアグレッシブに変化して行ってほしい。
女性	70 歳以上	南部地域	子供達が健康で安全に教育が受けられるよう町づくりをお願いしたい。
女性	40 歳代	北部地域	大学進学時の奨学金などを低所得世帯のみではなく、全ての世帯に平等にしてほしい。
女性	30 歳代	南部地域	町立図書館や学校図書館の予算を増やしより充実させてほしいです。図書館の充実した町は子供たちの学力向上、生涯学習、個々人の豊かな生活を作ってくれると思います。町立図書館やゆめくるに、独立した机を使用できる学習室を作ってほしいです。
男性	60 歳代	中部地域	新しいゴミのクリーンセンターができて、温水プールや広い運動公園などができて、スポーツがさかんになったらな…と思います。

自然環境について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	20 歳代	北部地域	伊奈町は自然豊かであることで落ち着ける環境であったり、帰って来た時にほっとするような安心感のある町になっているのではと思う。少しずつ家や建物も増えているが、豊かな自然もそのまま守り続けていってほしい。
女性	50 歳代	中部地域	私は伊奈町の自然が大好き。子ども達と散歩に行く里山公園では子ども達がキラキラした目をして林の中で走り回っている。伊奈屋敷跡の森は高齢の方々がハイキングをし、野鳥、野草観察をしたり色々ガイドしてくれたりする。小さい子からお年寄りまで交流できる場や自然に親しめるまちづくりを期待したい。
男性	70 歳以上	中部地域	自然豊かで安全で生活しやすい町。
男性	50 歳代	中部地域	自然環境を生かした散歩、ジョギング、サイクリングなどの道路の整備にもう少し力を入れても良いのではないかと考える。

都市基盤について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	70 歳以上	南部地域	免許返納を考えるにあたり、もう少しスーパー、役場、病院等のシャトルバスを使いやすくしてほしい。今は不便で返納を考えてしまう。
女性	40 歳代	中部地域	志久周辺には、伊奈病院も移転されたり、国際学院や薬科大学もあるのに道路整備が悪い。通勤、通学で志久へ向かうたくさんの方がいるので、歩行用通路を広く取って整備してもらいたい。薬科大周辺も同じことが言える。とにかく歩道が狭い。
男性	70 歳以上	中部地域	公園等をもっと増やし、子供たちが集う場所を造って欲しい。老後、車を使えなくなった時、買い物等の不安があるのでスーパーなど買い物ができる所ができればいいと思う。
女性	40 歳代	中部地域	交通量が増えた為、安全に歩ける歩道の整備。自然豊かで健康増進を意識したまちづくり。バラ園、公園。川沿いのウォーキング道をもっと利用しやすくすると観光も増えてまちのためになると思う。
男性	10 歳代	中部地域	商業施設を少し増やしてほしい。少しでも増えれば転入者も増えると思う。
女性	60 歳代	中部地域	ニューシャトルでエレベーターがついていないのがとても辛い。志久駅だけがついていないのでこれから年を取ると体にこたえるのでぜひエレベーターをつけてもらいたい。

男性	60歳代	北部地域	ショッピングモール、チェーン店だけではなく、国内外のショップ（主に個人店がメイン）が集まる区域、又は通り等を作ってはどうか？面白い町になると思う。
女性	50歳代	中部地域	自然と調和があるが、きちんと整備開発された町になってほしいと思う（空家、荒れたままの土地がそのままになっており街灯も少ない。子供を安心して育てられる環境がほしい）。
男性	70歳以上	南部地域	高齢化で空き家が増えているので町でも解決に取り組んでほしい。

産業について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	60歳代	北部地域	「イナ王国と秘密のローズガーデン」の謎解きのイベントは楽しかったので、定期的開催してほしい。
女性	50歳代	北部地域	歴史的資源や観光資源などが少ない伊奈町だが、様々なことに幅広くチャレンジするのではなく、何か1つに特化して地域を活性化させてはどうか。なんとなく中途半端なような印象がある。
女性	30歳代	中部地域	町内の仕事は専門職が多く、求人が多くても限られてしまう。働ける環境が増えると助かる。
男性	60歳代	北部地域	農業をしていない、あるいは使われていない農地を有効に利用できるようにできないか。農業委員会などを含めて方向性を考えてほしい。
男性	70歳以上	北部地域	商工業を殖やし住民の雇用。

協働・地域コミュニティについて

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	70歳以上	中部地域	人の交流をもっと多く、身近にコミュニティの場の増設。
男性	60歳代	南部地域	現在、町の行事である運動会は、以前は町づくりの一角で私達も力を注いでいました。しかしながら私をはじめ先輩方ももう運動会は出来ないとの声が多々あります。体力の面と運動会の中身の面で今のままであれば今後はかなり参加が難しいと考えます。
女性	40歳代	北部地域	非常に住みやすいと感じています。子育て世帯が多くなった印象ですが、子育てが一段落してくる際にその世帯が街に魅力を感じるようなまちづくりをイメージできるとよいのではと考えます。具体的には地域貢献、地域交流などが活発にされていくと地域愛が強まるのではと思います。

行財政運営について

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	30 歳代	南部地域	HP 等を確認すると、多くの立派な計画があるが、その進行度がとても遅い。住み始めて 5 年経ったが当時見た内容と変わらないものが多い。
男性	40 歳代	北部地域	DX 推進に向けた地域のネット掲示板などが有ると良い。5G 対応エリアの拡大を推進してほしい。
男性	70 歳以上	北部地域	誇りを持って住める町を目指し、歴史・文化・各種社会資源（医療・教育・産業等）や行政の先駆的展開等を特に転入世帯に周知して町への帰属心を育む必要がある。公共施設の近隣自治体住民の相互利用や各種行政サービスの広域化によって生活圏の拡大に即した生活スタイルを発信してはどうか。

その他

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	70 歳以上	北部地域	現在の人口を減少させない。高齢者が今後多くなる、色々な問題が出ると思う。
男性	50 歳代	北部地域	人口の年齢分布を平準化するために、急激な人口流入につながる様な施策に対する配慮をするべきだと思う。
男性	70 歳以上	南部地域	町の発展が見られない（感じられない）。人口増、住宅増、公共施設の充実、公共交通の充実。
女性	50 歳代	北部地域	『バラの町』『伊奈忠次』『子育てしやすい町』など観光誘致したり、教育・環境のよさを謳っていますが、全てが弱い。伊奈町とは？と言われて即答できない状態だと思う。核になるものをしっかり根付かせてはどうだろうか。

2. 協働（町と住民が協力してまちづくり活動に取り組むこと）について

今回の住民意識調査の中で、協働に対する考えについて 120 人の方から延べ 126 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると以下のようになります。

分野	件数
協働への考え方について	55
交流活動について	15
ボランティアについて	8
防災、見守り・防犯活動について	10
情報について	5
行政の役割について	16
その他	17
合計	126

協働への考え方について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	中部地域	今は高齢化が進み、まちづくり活動に取り組むことは難しいです。共働き社会で子育てと仕事でいっぱいである。他の県からもっと若い人が来て生活してくれたら活動者も増えると思う。高齢者のケアだけでもいっぱいの思いをみなさんしている。元気な高齢者ばかりではない。
女性	30 歳代	中部地域	いい考えだと思う。もっと住民の声を聞く機会を増やしてほしい。
女性	40 歳代	中部地域	住民が参加して楽しめる体制があると取り組みやすいと思う。
女性	50 歳代	中部地域	コロナ禍において協働の場面が減っている。様子を見ながらの対応が必要だと考える。一方コロナ禍において孤立は進んでいるとも考える。町外ではあるが高齢、障害、母子、低所得と誰もが見える居場所作りに取り組んでいる。伊奈町でもこの様な活動に取り組みたいと少しは考えている。
男性	60 歳代	北部地域	アイデアを取り入れる事も必要かと思う。住民には様々な職業、知識を持つ方がいるので。簡単に意見を聞き出す方法を考えて取り込む事がより良い町造りには必要かと思う。どこにでもある同じ様な町から特色のある伊奈町造りを期待したい。
男性	30 歳代	北部地域	近所は高齢者だらけで今後町内会が成り立つのか不安がある。
男性	40 歳代	北部地域	働き世代が多いかと思しますので、Web 等を使った活動であれば時間制約せずに、多くの世帯に参加してもらえないかと考えます。

交流活動について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	50 歳代	中部地域	コロナ禍でなかなか活動も難しいが、年代別で集まれるサークルがあったり、文化祭ももっとコミュニティーがあるものであればいいと思う。カフェ、お花、スポーツなどインスタなど伊奈町の魅力発信も大切だと思う。
女性	40 歳代	中部地域	町役場の新庁舎に食堂を併設して職員の方や一般の方も利用でき、一部にワークショップや子供が遊べるスペースを設け町民の憩いの場になるような場所ができれば良いと思う。
女性	30 歳代	中部地域	外国人の日本語教育交流の機会を組織したい。

ボランティアについて

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	60 歳代	南部地域	蓮田の河川敷で草取りや花壇のお手入れのボランティアを蓮田の人達と一緒にさせて頂いている。月に 2 回程度だが、そのお花を愛でながらの雑談がとても楽しみになっている。伊奈町にもそんな場所があったら是非参加をしたいと思う。
女性	40 歳代	南部地域	きれいな町づくりとして月 1 回のゴミひろいや清掃など。
男性	60 歳代	中部地域	クリーンデーなどみんなと協力してきれいになるのが好き。進んであいさつが出来る子どもたちになってほしいので、自分たちからやろうと思う。
女性	30 歳代	中部地域	気軽に行えるボランティアの充実や、世代を超えての交流の機会を町が主体となって作って頂けると嬉しい。スキマ時間を活用したい、高齢者と交流できたらと思っているが、自分で活動を開始するにはハードルが高い。その様な取り組みがあれば、参加するうちに自分たちで新たな活動を始められたり、身の回りの問題点に気が付いたり、伊奈町や伊奈町の町民を大切にしたいという気持ちが増したりするのではないかと思う。

防災、見守り・防犯活動について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	40 歳代	南部地域	地域コミュニティの形成。高齢者の集い。災害時の避難場所や避難ルートの確認。
女性	60 歳代	南部地域	首都直下型地震も懸念される中、町全体でいざという時の訓練や役割の見える化、どのような所に気をつけるといいのかなど、共有できるといいのではと思う。
女性	30 歳代	南部地域	自治会の防犯、防災活動の皆さんから住民に対して挨拶や声かけしているのを見たことがない。

情報について

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	60 歳代	中部地域	このアンケートがきて協働ということを知りました。いい活動だと思えますがもっとアピールをした方が良くと思います。
女性	30 歳代	北部地域	良いと思う。情報が来ない為、LINE や SNS を使って発信してほしい。
女性	40 歳代	北部地域	どんな活動をしているのかあまり良く知らない。
女性	30 歳代	南部地域	具体的に自分がまちにどう貢献できるのかわからない。Instagram もフォローしているので、もっと我々が協働できることを積極的にアピールしていただけるとわかりやすい。

行政の役割について

性別	年代	居住地域	ご意見
男性	70 歳以上	北部地域	納税者意識の高まりに応じ行政サービスの住民転嫁と受け止められぬように行政の限界を示し、協働でなければ出来ぬ事や協働によって住民の意識を反映させ満足度の高い町づくりが出来ることを、丁寧に理解を求めるべきである。協働を考える場合個人情報保護が壁になることが多い。この見直しが必要である。旧来の区を中心にした方法はリセットして新たなシステムを検討すべきと思う。
男性	30 歳代	中部地域	協働のためには、協働するひとが集まらないと始まりません。町から色々なことを企画したり、町民から提案してもらったりして、提案と募集をしあえる機会の創出が必要だと思います。マッチングアプリのようなシステムは有効だと思います。
男性	60 歳代	南部地域	最近は、個々の家庭が昔のように近所付き合い、自治会などのつながりを重視しない傾向に有ります。本来行政がやるべき事業を単純に住民側に押し付けるのはよくありません。結局、自治会の役員が苦勞しているのが現状です。町と住民が協力するとは、どういうことなのかを理解する上でも、町役場の方がいろいろ自治会の会合に参加してみてもいいかですか。

その他

性別	年代	居住地域	ご意見
女性	30 歳代	南部地域	雑木林残してほしいけどあととりのない農地、家屋の今後が心配。雑草や樹木がのびほうだい。歩道もおおってしまっている場所を見ると、なんとかしなくてはと思う。
女性	40 歳代	中部地域	協力といえば聞こえがいいが、町内会などは無理やり参加させられ、本来町がやることを押し付けられてるように感じる
男性	70 歳以上	南部地域	町が率先して活動しているとは思えない。住民にそのチャンスを与えていない。

Ⅲ 総評

(1) 定住意向

定住意向は8割弱で、前回と同程度
自分の土地や家があることが主たる理由

- 伊奈町に住もうと思った理由について、「その他」を除くと、「家賃（土地）が安い」が23.3%と最も多く、次いで「自然環境が豊かである」が20.0%、「親兄弟（姉妹）や親戚が住んでいる」が18.0%となっています。「生まれた時から住んでいる」は12.7%となっています。
- 伊奈町に住もうと思った理由について、「家賃（土地）が安い」「自然環境が豊かである」が上位2項目に挙げられており、前回と同様の傾向となっています。また、今後の定住意向は76.4%で前回と同程度となっています。住み続けたい理由としては、「自分の土地や家がある」が40歳以上でいずれの年代も6割を超えています。
- 町外へ移りたいと思う人に理由を聞いたところ、「交通が不便である」が53.8%と最も多くなっています。

(2) 健康づくり、医療、高齢者福祉、障がい者福祉

住みやすさに関する満足度（平均評価点）の中では福祉に関する項目は低い
高齢者福祉対策、医療施設の整備が求められる

- 健康づくり、医療、高齢者福祉、障がい者福祉については、住みやすさに関する満足度（平均評価点）の中で、「病院や保健センター、老人福祉センターなど福祉・保健・医療施設の利用しやすさ」が3番目に低くなっています。また、豊かさに関する満足度（平均評価点）の中で、「高齢者や障がい者に配慮してバリアフリー化されている施設や歩道の多さ」は前回から平均評価点の向上が見られるものの、最も低くなっています。
- 今後重点的に取り組むこととして、福祉と健康の増進に関して、「病院や医院など医療施設の整備」が最も多く、次いで「高齢者福祉対策の充実」が挙げられています。また、伊奈町のまちづくりの将来像として、「病院など医療機関が充実したまち」は2位になっています。
- 今後は、高齢化社会の到来を見据えた高齢者福祉対策や、病院や医院など医療施設の整備が求められています。

(3) 子育て、教育、いじめ、生涯学習、スポーツ

子育て・教育環境の満足度（平均評価点）は向上が見られる
特色ある学校教育の充実をはじめ、文化施設やスポーツ・レクリエーション施設の整備等が
求められる

- 子育て、教育、いじめ、生涯学習、スポーツについては、住みやすさに関する満足度（平均評価点）の中で、「就学前の子育て環境」「小中学校の教育環境」がともに前回から満足度の平均評価点が上がっています。
- 今後重点的に取り組むこととして、教育・文化の向上に関して、「特色ある学校教育の充実」「文化施設（図書館など）の整備」「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が上位3項目となっています。また、特に重点的に進めるべき部門の中では「教育・文化の向上」が5番目に多くなっており、特に20歳代から30歳代では他の年代と比べて要望が高い項目となっています。
- 今後は、特色ある学校教育の充実をはじめとして、文化施設の整備やスポーツ・レクリエーション施設の整備等が求められています。

(4) 町民参画、コミュニティ、国際化、行財政運営、人権・平和意識、男女共同参画

公共窓口の利用しやすさや職員の対応の良さが高評価
町民が関わりやすい町政参加の方法の提示、町民の意見・要望の反映が求められている

- 町民参画、コミュニティ、国際化、行財政運営、人権・平和意識、男女共同参画については、町政に関する満足度（平均評価点）の中で、「公共窓口（役場・出張所）の利用しやすさ」については平均評価点が下がりましたが、他の4項目については平均評価点が上がっています。
- また、今後のまちづくりに関するワークショップへの参加意向については、「いずれの方法でも参加するつもりはない」が全体では4割を超えているものの、30歳代と50歳代では「インターネットなどで参加できる内容に参加したい」が2割を超えており、忙しい中でも関わられる町政参加に意欲を示している人達も多く見られます。
- また、コミュニティに関して、地域でのつきあいの程度は性別、地域別にみると、いずれも「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も多くなっています。年代別にみると、いずれも「あいさつを交わす程度のつきあい」が最も多くなっていますが、年代が上がるにつれて「趣味が同じ人や気の合う人とのつきあい」は多くなる傾向にあります。年代別に前回と比較すると、10歳代で「近所の人とはあまりつきあわない」が特に増加しています。また、地域別に前回と比較すると、南部地区で「あいさつを交わす程度のつきあい」が特に増加しています。
- 今後は、町民が関わりやすい町政参加の方法の提示や地域活動のあり方の再検討、町民の意見・要望の反映の推進が求められています。

(5) デジタル化推進

医療・福祉分野のデジタル化推進が求められている
デジタル化については全体的に積極的に取り組むべきとの意向

- DX を知っているかについては、60 歳代を除くすべての年代で「名前も知らない」が最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 30 歳代を除くすべての年代で多く、30 歳代では「名前も内容も知っている」が 31.4%になっています。
性別では、男女ともに「名前も内容も知らない」が4割を超えて最も多くなっています。
- 各種デジタル技術の導入・活用において、今後の重要性については、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要である』は、「医療・福祉分野」が 87.6%と最も多く、次いで「防災・防犯分野」が 85.6%と多くなっています。また、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』は、「農業分野」が 7.8%となっています。
- 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進する取り組みについて、10 歳代では「積極的に取り組むべき」「わからない」、20 歳代では「徐々に取り組むべき」、30 歳代から 60 歳代では「積極的に取り組むべき」、70 歳以上では「わからない」が最も多くなっています。

(6) 新型コロナウイルス感染症の影響

コロナ禍での市民の暮らしの変化をとらえた取り組みの充実が求められる

- コロナ禍で増えた（活動が活発になった）ものやこと、減った（活動が縮小した）ものやことについて、「増えた・活動が活発になった」と「少し増えた・少し活発になった」を合わせた『活発になった』は、「スマートフォンやパソコンにふれる機会」が 52.1%と最も多く、次いで「キャッシュレス決済を使う機会」が 47.8%と多くなっています。また、「減った・活動が縮小した」と「少し減った・少し縮小した」を合わせた『縮小した』は、「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が 72.0%となっています。

(7) SDGs

よりよい世界をみんなで目指すため、健康と福祉の充実、貧困をなくすなどの
取り組みの充実が求められている

- 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsを知っているかについては、70歳以上を除くすべての年代で「名前も内容も知っている」が最も多く、特に10歳代、30歳代は8割以上となっています。70歳以上は「聞いたことはあるが、内容は知らない」が最も多く、31.7%となりました。
- SDGsの17の目標のうち、特に重要だと思うものについて、10歳代では「人や国の不平等をなくそう」、20歳代では「すべての人に健康と福祉を」「貧困をなくそう」、30歳代から50歳代と70歳以上では「すべての人に健康と福祉を」、60歳代では「気候変動に具体的な対策を」が最も多くなっています。
- 今後は、町民が関わりやすいSDGsの参加方法の提示や地域活動のあり方の再検討、町民の意見・要望の反映の推進が求められています。

**伊奈町のまちづくりに関するアンケート調査
結果報告書**

発行年月：令和5年3月

発行：伊奈町役場 企画課 政策企画担当

〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町中央四丁目355

電話 048-721-2111

FAX 048-721-2136